

黒島分団センター新築工事（災害復旧）

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	建 築	
A 0 0	表紙、図面リスト	No Scale
A 0 1	建築工事仕様書 その1	No Scale
A 0 2	建築工事仕様書 その2	No Scale
A 0 3	建築工事仕様書 その3	No Scale
A 0 4	建築工事仕様書 その4	No Scale
A 0 5	建築工事仕様書 その5	No Scale
A 0 6	建築工事仕様書 その6	No Scale
A 0 7	配置図、付近見取図	1／100
A 0 8	面積算定図・表	1／100
A 0 9	設計概要、内部仕上表	No Scale
A 1 0	各 階 平 面 図	1／100
A 1 1	立 面 図	1／100
A 1 2	断面図 No-1、外部仕上表	1／100
A 1 3	断面図 No-2	1／100
A 1 4	A 部 矩 計 図	1／30
A 1 5	B 部 矩 計 図	1／30
A 1 6	階 段 詳 細 図	1／30
A 1 7	WW-1 詳細図	1／50、1／10
A 1 8	建具枠（WD-1・2）、床組み詳細図	1／10
A 1 9	消防車庫 木タナ詳細図	1／50
A 2 0	各階天井伏図・屋根伏図	1／100
A 2 1	展開図 No-1（消防車庫）、木部の内装制限検討	1／50
A 2 2	展開図 No-2	1／50
A 2 3	展開図 No-3	1／50
A 2 4	展開図 No-4	1／50

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	建 築	
A 2 5	各 階 建 具 配 置 図	1／100
A 2 6	建 具 表 No-1	1／50
A 2 7	建 具 表 No-2	1／50
A 2 8	24時間換気経路 各階平面図	1／100
	木 組	
WO 1	各 階 木 伏 図	1／100
WO 2	木 軸 組 図	1／100
	構 造	
S 0 1	構造設計標準仕様書	No Scale
S 0 2	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図（1）	No Scale
S 0 3	鉄筋コンクリート 構造配筋標準図（2）	No Scale
S 0 4	鉄骨構造標準図	No Scale
S 0 5	ベースパッキ柱脚工法設計施工標準図	No Scale
S 0 6	QL デッキ合成スラブ設計 施工標準図	No Scale
S 0 7	基礎伏図、1 階伏図	1／100
S 0 8	2 階伏図、R 階伏図	1／100
S 0 9	Y 1通り 軸組図、Y 2 通り 軸組図	1／100
S 1 0	X 1通り 軸組図、X 2 通り 軸組図	1／100
S 1 1	RC部材リスト	1／50
S 1 2	鉄骨部材リスト、継手リスト	1／50
S 1 3	Y 2 通り 架構詳細図	1／40

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
	電 気 設 備	
E 0 1	工事仕様書（電気設備）1／3	No Scale
E 0 2	工事仕様書（電気設備）2／3	No Scale
E 0 3	工事仕様書（電気設備）3／3	No Scale
E 0 4	電気設備 分電盤結線図	No Scale
E 0 5	電灯設備 照明器具姿図	No Scale
E 0 6	コンセント設備 1・2 階平面図	1／100
E 0 7	電灯設備 1・2 階平面図	1／100
E 0 8	弱気設備 1・2 階平面図	1／100
	機 械 設 備	
MO 1	工事仕様書（機械設備）1／3	No Scale
MO 2	工事仕様書（機械設備）2／3	No Scale
MO 3	工事仕様書（機械設備）3／3	No Scale
MO 4	給排水衛生設備 機器表・器具表・樹一覧表	No Scale
MO 5	給排水衛生設備 1 階詳細図	1／50
MO 6	給排水衛生設備 2 階詳細図	1／50
MO 7	空調換気設備 器具表	No Scale
MO 8	給排水衛生設備 1・2 階平面図	1／100

- ・質疑のある者は、指定日時までにまちづくり推進課へ提出すること。
- ・現場説明なし

輪 島 市 建 設 部 ま ち づ く り 推 進 課

監 修

年 月 日

	審査	担当	製図	記事	年月日	工 事 名	図 面 名	縮尺	図面番号
輪島市建設部まちづくり推進課				_____	R8. 3	黒島分団センター新築工事(災害復旧)	表題	A-3	A-0 0

最終改訂 令和8年4月1日		建築工事仕様書	
Ⅰ 工事概要		②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ)からヘ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けるものとする。 イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ハ) 安定的な供給が可能であること。 ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。 ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りではない。	
1 工事場所 輪島(市) 門前町 黒島 地内		2 請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。	
2 工事内容 (1)○木体工事 (種別 棟別 構造 階 面積) 工事種別：新築工事 構造：消防施設 鉄骨造 2階建て、瓦葺き 床面積：1階 50.63㎡、2階 50.63㎡、延べ床面積 101.26㎡ (2)○屋外付帯工事 犬走り、U字溝、雨水排水桝 (3)○電気設備工事 (4)○給排水衛生設備工事 (5)・解体工事		3 請負契約約款第13条第2項に定める監督員等の検査を受けて使用すべき工事材料は次のものとする。 ※杭 ・型枠類 ・防水材料 ・石材 ・木材 但し、杭以外のJIS規格品は除く。	
3 完成期日 令和 年 月 日 (概成工期 令和 年 月 日) (余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。)		4 請負契約約款第14条第1項に定める監督員等の立会いのうえ調査等をし使用するべき工事材料は次のものとする。 ※高強度コンクリート試練り ・地盤改良材の調査 ・土壁仕上げ材調査	
4 別契約関連工事 ・屋外付帯工事 ・舗装工事 ・電気設備工事 ・給排水衛生設備工事 ・暖房設備工事 ・冷房設備工事 ・昇降機設備工事 ・空調設備工事 ・浄化槽設備工事 ・電話設備工事 ・ケーブルテレビ設備工事		5 請負契約約款第14条第3項に定める見本は次のものとする。 ・金属製品 ・合成樹脂製品 ・木製建具 ・塗装 ・土壁仕上げ材調査 ・家具及び家具の金物 ・畳 ・内外装材料 ・屋根材料 なお、監督員が承諾した材料は、証明となる資料と使用箇所を付し、工事完成まで現場事務所に掲示する。ただし、掲示が困難な材料等はカタログ、その他に代えることができる。	
Ⅱ 建築工事仕様		6 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。(「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」(厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月)参照)。安全データシート(SDS)等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。	
1 共通仕様		「標仕」に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。	
2 特記仕様		適用する技能士等及び技能士の適用工事種別及び作業の種別は次の通りとする。 ※技能士 (1.5.2)	
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。		適用工事種別 技能検定作業	
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。		仮設工事 ○とび作業 鉄筋工事 ○鉄筋組立作業 コンクリート工事 ○コンクリート圧送工事作業 鉄骨工事 ○構造物鉄工作業 ○とび作業 ブロック・ALCパネル工事 ○コンクリートブロック工事作業 ・エーエルシーパネル工事作業 押出成形セメント板工事	
3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。		防水工事 ・アスファルト防水工事作業 ・塩化ビニルシート防水工事作業 ・改質アスファルトシート・トーチ工法防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・FRP防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・石材加工作業 ・石張り作業 ・石積み作業	
4) 特記事項に記載の(別図) は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。		石工事 ・タイル張り作業 タイル工事 ○大工工事作業 木工事 ○内外装板金作業 ○内外装板金作業 屋根及びとい工事 ○内外装板金作業 ○かわらぶき作業 金属工事 ○鋼製下地工事作業 ○内外装板金作業 左官工事 ○左官作業 建具工事 ・ビル用サッシ施工作業 ・自動ドア施工作業 ・ガラス工事作業 カーテンウォール工事 ・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	
5) 特記事項に記載の[] 内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版」(以下「改修標仕」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。		塗装工事 ○建築塗装作業 内装工事 ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ○股張作業	
6) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)の特記調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。		排水工事 ○建築配管作業 植栽工事 ・造園工事作業	
7) 製造所名は、五音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。		・「石川の伝統的建造技術を伝える会」のうち、金沢城公園整備工事従事者の認定を受けた者。	
8) 斜線で消去した章は適用しない。		(1.5.7)	
1 章 一般共通事項		⑩ 総合試運転調整	
項目 特記事項		⑪ 完成図等	
① 適用基準等	設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。 ・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ・建築構造設計基準の資料(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年通知)のうち第3章 ・営繕工事写真撮影要領(令和3年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部) ・営繕工事電子納品要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年度版) ・建築物解体工事共通仕様書(令和4年度版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・公共建築木造工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版) ・屋根瓦工事共通仕様書(石川県土木部営繕課監修 令和5年版) ・鉄筋鉄骨コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ・型式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(石川県土木部営繕課監修) ・鉄骨構造標準図(石川県土木部営繕課監修) ・石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準(施設整備の手引き) ・石川県公共事業景観形成ガイドライン	⑫ 工事写真等の記録	
② 工事実績情報の登録	※登録する(但し工事請負代金額500万円以上の工事。)	⑬ 責任施工	
③ 情報共有システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領(営繕工事編)に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・利用する(発注者指定型) ※現場着手前に発注者と協議し、利用することができる(施工者希望型)	1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(令和3年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。 各区分の写真はA4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。 ※写真構成	
④ 発生材の処理	1) 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。 また、処分に際しては産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。 2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調査を添えて監督員に引き渡す。 イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・引渡を要するもの ・引渡し場所 ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 ・有 ・無 ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図面 番 図参照	2) 完成写真の撮影 ・専門業者の撮影(撮影者を明記) ○専門業者以外の撮影	
⑤ 電気保安技術者	※ 適用する	3) 原版の使用権を次の者に移譲する。 ※発注者 ・設計者 移譲を受けた者は、写真は撮影者の了解なしに撮影者名を表示しないで自由に使用できる。 撮影者が写真を使用する場合は、発注者、設計者の承諾を必要とする。	
6 施工条件	・	4) 中間検査または、監督員の指示により手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添え提出する。	
⑦ 建築材料等	1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。(1.4.1)(1.4.2)(1.4.4) ①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿(最新年版)」(社)公共建設協会)によるほか、これらと同等のものとする。 ただし、同等のものとする場合は、次の2)に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価者の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。	特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下負請人の連帯責任とし保証書を提出する。	
5 設計		24 保 険	
1 工事概要		25 室内空気汚染対策	
1 工事場所 輪島(市) 門前町 黒島 地内		26 名札の着帯	
2 工事内容 (1)○木体工事 (種別 棟別 構造 階 面積) 工事種別：新築工事 構造：消防施設 鉄骨造 2階建て、瓦葺き 床面積：1階 50.63㎡、2階 50.63㎡、延べ床面積 101.26㎡ (2)○屋外付帯工事 犬走り、U字溝、雨水排水桝 (3)○電気設備工事 (4)○給排水衛生設備工事 (5)・解体工事		27 施工体制台帳の作成等	
3 完成期日 令和 年 月 日 (概成工期 令和 年 月 日) (余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。)		28 名札の着帯	
4 別契約関連工事 ・屋外付帯工事 ・舗装工事 ・電気設備工事 ・給排水衛生設備工事 ・暖房設備工事 ・冷房設備工事 ・昇降機設備工事 ・空調設備工事 ・浄化槽設備工事 ・電話設備工事 ・ケーブルテレビ設備工事		29 設計	
5 請負契約約款第6条の2第7項に基づき調達する石川県産の工事材料については、「使用材料確認願」により監督員の確認を受け、工事完了後は地元産品について「使用材料報告書」を提出する。		30 設計	
6 本工事に使用する建築材料等は、アスベスト含有建材を使用しないものとする。(「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び石綿障害予防規則等の一部を改正する省令の施行等について」(厚生労働省労働基準局長通達平成18年8月)参照)。安全データシート(SDS)等により確認を行った場合は、その写しを監督員に提出すること。		31 設計	
7 製造所名は、五音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。		32 設計	
8 斜線で消去した章は適用しない。		33 設計	
1 章 一般共通事項		34 設計	
項目 特記事項		35	

28	排出ガス対策型建設機械	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 1) バックホウ 2) トラクターショベル 3) 発動発電機 4) 空気圧縮機 5) ローラ類 6) ホイールクレーン	2) 建枠・布枠の寸法等 <table><tr><td>建 枠</td><td>・1200枠</td><td>・300枠</td><td>・600枠</td></tr><tr><td>布 枠</td><td>・500布枠×2枚</td><td>※500+240布枠</td><td>・500布枠×1枚</td></tr></table> 3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	建 枠	・1200枠	・300枠	・600枠	布 枠	・500布枠×2枚	※500+240布枠	・500布枠×1枚	4) 鉄筋の最小かぶり厚さ 1) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは目地底から算定する。(5.3.5) 2) 塩害を受ける恐れのある部分等、耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。 <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>「標仕」表5.3.6の値に加える寸法 (mm)</th></tr><tr><td>柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面</td><td>※10 ・20 ・25</td></tr></table> 5) 帯筋 ※H形 ・S P形 (別図2.2) 6 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない (別図2.1) 7 壁開口部の補強 一般壁 ※A形 ・B形 ・図示 (別図4.3) (別表4.3～4) 耐震壁 ※図示 8 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・MH形 ・M形 (別図7.1) (別表7.1～3) 9 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.4.10)	施 工 箇 所	「標仕」表5.3.6の値に加える寸法 (mm)	柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10 ・20 ・25	4) 普通ボルト ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.2.3) (7.3.2) 5) 高力ボルト 1) ボルトの区分 ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.1～9) 2) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 3) すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等（ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
建 枠	・1200枠	・300枠	・600枠																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
布 枠	・500布枠×2枚	※500+240布枠	・500布枠×1枚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施 工 箇 所	「標仕」表5.3.6の値に加える寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
29	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 2) 摩擦面の処理 ※ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・ リン酸塩処理 3) すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示	6 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1) ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 2) 摩擦面の処理 ※ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) ・ リン酸塩処理 3) すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
30	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む） 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	7 完全溶込み溶接部の試験 1) 現場溶接 ※全て (7.6.12) 2) 工場溶接 A O Q L 検査水準 ※第6水準 ※レベルⅡ (4.0%以下) ・図示 (7.6.12) (表7.6.2～3)	7 完全溶込み溶接部の試験 1) 現場溶接 ※全て (7.6.12) 2) 工場溶接 A O Q L 検査水準 ※第6水準 ※レベルⅡ (4.0%以下) ・図示 (7.6.12) (表7.6.2～3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
31	電子納品	※行う（「電子納品仕様書」による。） ・行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでいう電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th>名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領 (令和3年版)</td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年度版)</td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にC D－R、D V D－R又はB R－Dで1部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うC A L S／E C電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	名 称	営繕工事電子納品要領 (令和3年版)	官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年度版)	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	8 耐火被覆 7.9.2～8) <table><tr><th>種 別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td></td></tr></table>	種 別	所要性能及び適用構造区分	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		・耐火板張り		・耐火材巻付け		・耐火塗料		8 耐火被覆 7.9.2～8) <table><tr><th>種 別</th><th>所要性能及び適用構造区分</th></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材巻付け</td><td></td></tr><tr><td>・耐火塗料</td><td></td></tr></table>	種 別	所要性能及び適用構造区分	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール		・耐火板張り		・耐火材巻付け		・耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
名 称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
営繕工事電子納品要領 (令和3年版)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 (令和3年度版)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	所要性能及び適用構造区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火板張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火材巻付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	所要性能及び適用構造区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火板張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火材巻付け																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・耐火塗料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
32	騒音振動の防止	低騒音（図）、低振動型建設機械を使用する。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	9 アンカーボルトの保持及び埋込み方法 ・構造用アンカーボルト（ ） ・建方用アンカーボルト（・A種 ※B種 ・C種） (7.10.3) (表7.10.1)	9 アンカーボルトの保持及び埋込み方法 ・構造用アンカーボルト（ ） ・建方用アンカーボルト（・A種 ※B種 ・C種） (7.10.3) (表7.10.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
33	隣接建物又は工作物の調査	※行う ・行わない	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	10 柱底均しモルタル工法 ※A種 ・B種 (7.10.3) (表7.10.2)	10 柱底均しモルタル工法 ※A種 ・B種 (7.10.3) (表7.10.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
34	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電話ケーブル、給排水管及び架設物がなければ関係機関の協力を得て確認し、監督員に報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	11 溶融亜鉛めっき工法 亜鉛めっきの種類 A種 最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト	11 溶融亜鉛めっき工法 亜鉛めっきの種類 A種 最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
35	ダンプトラック等による過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生土の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年8月2日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	12 スカラップ ・改良型スカラップ ・ノンスカラップ (7.6.7)	12 スカラップ ・改良型スカラップ ・ノンスカラップ (7.6.7)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
36	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	3) 防護シート等による養生 イ) 防護シート等の有無 ※設置する ・設置しない ロ) 防護シート種類 ※ネット養生シート又は養生シート（出入口等上部は必要に応じて防護柵を設ける。）	13 溶接条件 1) 入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 2) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 <table><tr><th>鋼材の種類</th><th>溶接材料の規格</th><th>溶接材料の種類</th><th>入 熱</th><th>バス間温度</th></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>YGW-18, YGW-19</td><td>30kJ/cm以下</td><td>450℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>450℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">490N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-15</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">520N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3312</td><td>YGW-18, YGW-19</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yCA-U</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>T490Tx-yMA-U</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3211</td><td>引張強さが570MPa以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td rowspan="4">400N級炭素鋼</td><td rowspan="4">JIS Z 3214</td><td>引張強さが570N/mm2以上のものを除く。</td><td>40kJ/cm以下</td><td>350℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3315</td><td>YGW-50W, YGA-50P</td><td>30kJ/cm以下</td><td>250℃以下</td></tr><tr><td>JIS Z 3312</td><td>YGW-11, YGW-1</td></tr></table>	鋼材の種類	溶接材料の規格	溶接材料の種類	入 熱	バス間温度	400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	40kJ/cm以下	350℃以下	YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	450℃以下	T490Tx-yCA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下	520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下	T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下	T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下	JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-1
鋼材の種類	溶接材料の規格	溶接材料の種類	入 熱	バス間温度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
400N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		YGW-18, YGW-19	30kJ/cm以下	450℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	30kJ/cm以下	450℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
490N級炭素鋼	JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-15	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
520N級炭素鋼	JIS Z 3312	YGW-18, YGW-19	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yCA-U	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		T490Tx-yMA-U	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3211	引張強さが570MPa以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
400N級炭素鋼	JIS Z 3214	引張強さが570N/mm2以上のものを除く。	40kJ/cm以下	350℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		JIS Z 3315	YGW-50W, YGA-50P	30kJ/cm以下	250℃以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		JIS Z 3312	YGW-11, YGW-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

8 章

コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事

項 目

特 記 事 項

1

建築用コンクリートブロック

1）補強コンクリートブロック造

(8.2.2)

断面形状及び圧縮強さによる区分

厚さ（mm）

適用箇所

※空洞ブロックC(16)

※空洞ブロックC(16)-W

2）コンクリートブロック帳壁及び塀

※「標仕」表8.3.1及び下表による。

適用箇所

厚さ（mm）

・外壁

・間仕切壁

・地下二重壁

・塀

高さ

2 m以下

・120

2 mを超える

・150

2

ALCパネル

(8.4.2～6) (表8.4.2～4)

種 類

単位荷重（N/㎡）

厚さ（mm）

取付け工法種別等

・外壁パネル

※平パネル

・意匠パネル

・間仕切壁パネル

※平パネル

・屋根パネル

・960

・100

・

※F種

・床パネル

・2350

・3530

・100

・150

・1時間

・2時間

外壁と間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合いの目地幅

※ 20

・ 図示による

(8.5.2～5) (表8.5.1～2)

施工箇所

表面形状

厚さ（mm）

幅（mm）

ロック材充填

工法

耐火性能

・外壁パネル

※F

・50

・60

・有・無

・A種

・有（ ）

・D

・50

・60

・有・無

・B種

・無し

・T

・有・無

・間仕切壁

※F

・有・無

・B種

・有（ ）

・D

・有・無

・C種

・無し

・T

・有・無

製造所 JIS A 5441による

(8.4.3) (8.5.3)

外壁パネルの取り付け工法

パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

3

押出成形セメント板（ECP）

(8.5.2～5) (表8.5.1～2)

施工箇所

表面形状

厚さ（mm）

幅（mm）

ロック材充填

工法

耐火性能

・外壁パネル

※F

・50

・60

・有・無

・A種

・有（ ）

・D

・50

・60

・有・無

・B種

・無し

・T

・有・無

・間仕切壁

※F

・有・無

・B種

・有（ ）

・D

・有・無

・C種

・無し

・T

・有・無

製造所 JIS A 5441による

(8.4.3) (8.5.3)

外壁パネルの取り付け工法

パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

4

外壁パネル工法

(8.4.3) (8.5.3)

外壁パネルの取り付け工法

パネルの取り付け工法は図示による。なお、建築基準法に定める風圧力に対応した工法（建設省告示第109号による）を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

9 章

防水工事

項 目

特 記 事 項

1

アスファルト防水

1）種別及び施工箇所

(9.2.2～3) (表9.2.3～9)

種 別

施 工 箇 所

※AⅠ－2

・A－2

・D－2

※BⅠ－2

床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ

・

・

2）アスファルト

※3種

・4種

(9.2.2)

3）断熱工法の断熱材

厚さ（mm）

※25

・

ただし、オゾン層破壊物質を含まないもの。

(9.2.2)

4）立ち上り部の保護材

・乾式保護材

・れんが

※市販品れんが、又は市販品のれんが形コンクリートブロック（見え隠れ部分）

乾式保護材の種類

厚さ（mm）

適 用

・押出成形セメント板

※Ⅰ類

・Ⅱ類

・約15×300

・約26×600

・

※無石綿に限る

・金属複合板

・約12×900

製造所 JIS規格又は「評価名簿」による

(9.2.2)

2

改質アスファルトシート防水

(9.3.2～3) (表9.3.1～3)

種別及び施工箇所

種 別

施 工 箇 所

・AS－TⅠ

・AS－TⅡ

・

3

合成高分子シート防水

(9.4.2～3) (表9.4.1～2)

1）種別及び施工箇所

種 別

厚さ（mm）

施 工 箇 所

仕上げ塗料塗り

使用分類

・S－FⅠ

※1.2

・

・シルバ－

・カラー

※非歩行

・S－FⅡ

※2.0

・

・シルバ－

・カラー

※軽歩行

・S－MⅠ

※1.5

・

・シルバ－

・カラー

・S－MⅡ

※1.5

・

・

2）PCコンクリート部材下地

目地処理（接着工法）

※図示

入隅部の増張り（S-FⅠ、SⅠ-FⅠ及びS-CⅠ工法の場合）

※行わない

・行う（幅 mm程度）

(9.4.4)

4

塗膜防水

(9.5.2～3) (表9.5.1～2)

1）種別及び施工箇所

種 別

施 工 箇 所

備 考

・X－1

仕上り塗料塗り

・X－2

・シルバ－

・カラー

・Y－1

地下外壁防水

Y－2工法の保護シート

・Y－2

屋内防水

※適用する

・適用しない

2）種別X－1の脱気装置

・設ける

5

シーリング

(9.7.2) (表9.7.1)

1）下表以外は、「標仕」表9.7.1による。

施 工 箇 所

シーリング材の種類（記号）

2）接着性試験

※簡易接着性試験

・引張接着性試験（施工部位）

(9.7.5)

6

防水工事保証年限

防水工事は責任施工とし、下記により保証書を提出する。

施工箇所

種 別

保証年限

備 考

・10年

・

・10年

・

・10年

・

10 章

石 工 事

項 目

特 記 事 項

1

天然石張り

(10.2.1)

1）石の品質

イ）床用石材

※2等品

・1等品（施工箇所）

ロ）壁及びその他の石材

※1等品

・2等品（施工箇所）

2）石の種類・表面仕上げ

(10.2.1) (表10.2.1～2)

施 工 箇 所

種 類

産地・名称

厚さ（m）

仕上げの種類

2

テラゾ張り

(10.2.1)

1）種石の種類

※大理石

・

(10.2.1)

2）表面仕上げ

※本磨き

・

(表10.2.2)

3

壁の石張り工法

(10.2.2) (10.3.2～3)

1）外壁石張り

①工法

・外壁湿式工法（※流し筋工法）

・

・外壁乾式工法（・スライド方式・ロッキング方式）

※外壁乾式工法の場合は、「建築基準法に基づき指定する条件」により、建築基準法に基づき定める風圧力に対応した工法を、1.2.2（施工計画書）による品質計画で定める。

②あと施工アンカー

材質

※ステンレス（SUS304）

・

③石裏面処理

※行う（・小口共）

・行わない

④裏打ち処理

※行う

・行わない

⑤ドレインパイプ

※樹脂ネット製パイプ25～30φ（クロスメッシュ巻）

・ステンレス（SUS304）

(10.2.2) (10.4.2～3) (10.5.2～3)

2）内壁石張り

①工法

・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法）

・乾式工法（・スライド方式・ロッキング方式）

②あと施工アンカー

材質

※ステンレス（SUS304）

・

③石裏面処理

※行う（・小口共）

・行わない

④裏打ち処理

※行う

・行わない

(10.6.2)

1）床石張りの石裏面処理

※行う

・行わない

(10.6.2)

2）階段石張りの表面の処理

※行う

・行わない

(10.6.3)

3）屋内のワックス掛け

※行う

・行わない

(10.1.5)

4

床及び階段の石張り

(10.6.2)

1）床石張りの石裏面処理

※行う

・行わない

(10.6.2)

2）階段石張りの表面の処理

※行う

・行わない

(10.6.3)

3）屋内のワックス掛け

※行う

・行わない

(10.1.5)

11 章

タ イ ル 工 事

項 目

特 記 事 項

1

セラミックタイル

(11.2.2) (11.3.2)

1）タイルの種類

施工箇所

形状寸法

再生材の

吸水率による区分

釉薬

役物

色

標準

特注

備 考

形状（mm）

適用

Ⅰ類

Ⅱ類

Ⅲ類

施釉無釉

有

無

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

<

16 章 建 具 工 事																																									
特 記 事 項																																									
①	見本の製作等	・特殊な建具の仮組等（建具番号：（16.1.4））																																							
②	防犯建物部品	※建具表による（16.1.6）																																							
3	アルミニウム製建具	1）外部に面する建具の性能値等（16.2.2）（16.2.4）（表16.2.1） <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・A種</td><td>S－4</td><td>※A－3</td><td>※W－4</td><td>※70（注）共</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td>S－5</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>S－6</td><td>・A－4</td><td>・W－5</td><td>・100</td><td></td></tr></table> （注）引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの時は、100mmとする。 2）表面処理（16.2.4）（表14.2.1） <table><tr><th>施工箇所</th><th>種 別</th><th>色合い等</th></tr><tr><td rowspan="2">外部建具</td><td>※BB－1種</td><td>無着色</td></tr><tr><td>・BB－2種</td><td>※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）</td></tr><tr><td rowspan="2">内部建具</td><td>※AC－1種又はBB－1種</td><td>無着色</td></tr><tr><td>・AC－2種又はBB－2種</td><td>※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）</td></tr></table> 3）防音ドアセット ※適用は建具表による 4）断熱ドアセット ※適用は建具表による 5）耐震ドアセット ※適用は建具表による			種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所	・A種	S－4	※A－3	※W－4	※70（注）共		・B種	S－5	・	・	・		・C種	S－6	・A－4	・W－5	・100		施工箇所	種 別	色合い等	外部建具	※BB－1種	無着色	・BB－2種	※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）	内部建具	※AC－1種又はBB－1種	無着色	・AC－2種又はBB－2種	※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所																																				
・A種	S－4	※A－3	※W－4	※70（注）共																																					
・B種	S－5	・	・	・																																					
・C種	S－6	・A－4	・W－5	・100																																					
施工箇所	種 別	色合い等																																							
外部建具	※BB－1種	無着色																																							
	・BB－2種	※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）																																							
内部建具	※AC－1種又はBB－1種	無着色																																							
	・AC－2種又はBB－2種	※標準色（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー）																																							
④	樹脂製建具	1）外部に面する建具の性能値等（16.3.2）（16.3.4）（表16.3.1） <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み（mm）</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・A種</td><td>S－4</td><td>・A－4</td><td>・W－5</td><td>・60・80</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td>S－5</td><td>・</td><td>・</td><td>・100</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td>S－6</td><td>・</td><td>・</td><td>・125</td><td></td></tr></table> 2）表面色 ※白色（・） 3）ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス（16.3.3）			種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所	・A種	S－4	・A－4	・W－5	・60・80		・B種	S－5	・	・	・100		・C種	S－6	・	・	・125														
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所																																				
・A種	S－4	・A－4	・W－5	・60・80																																					
・B種	S－5	・	・	・100																																					
・C種	S－6	・	・	・125																																					
⑤	網戸	防虫網（16.2.3） イ）網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316） ロ）形 式 ※外部可動式 ・固定式																																							
6	鋼製建具	1）簡易気密型ドアセット性能値（16.4.2）（表16.4.1） ※適用する（適用箇所は建具表による） 2）外部に面する建具の耐風圧性（16.4.2）（表16.2.1） ・S－4 ・S－5 ・S－6 ※施工箇所は建具表による 3）銅板類の厚さ（1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さ2,400mmを超える場合）（16.4.4）（表16.4.2） ※下表以外は表16.4.2による。 <table><tr><th>区 分</th><th>使用箇所</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td rowspan="2">窓</td><td>枠類</td><td>外部の下枠、水切り板</td></tr><tr><td>枠類</td><td>外部に面するスイングドアの建具</td></tr><tr><td rowspan="2">出入口</td><td>戸</td><td>2.3</td></tr><tr><td>中骨</td><td>2.3</td></tr></table> ・図示			区 分	使用箇所	厚さ（mm）	窓	枠類	外部の下枠、水切り板	枠類	外部に面するスイングドアの建具	出入口	戸	2.3	中骨	2.3																								
区 分	使用箇所	厚さ（mm）																																							
窓	枠類	外部の下枠、水切り板																																							
	枠類	外部に面するスイングドアの建具																																							
出入口	戸	2.3																																							
	中骨	2.3																																							
7	標準型鋼製建具	1）簡易気密型ドアセット性能値（16.4.2）（16.4.6）（表16.4.1） ※適用する（適用箇所は建具表による） 2）外部に面する建具の耐風圧性（16.4.2）（16.4.6）（表16.2.1） ・S－4 ・S－5 ・S－6 ※施工箇所は建具表による																																							
8	鋼製軽量建具	1）簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による（16.5.2） 2）防音性能を高める場合の充填材 ・グラスウール ・ロックウール（16.5.3）																																							
9	標準型鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセット性能値の適用は建具表による（16.5.2）（16.5.6）																																							
10	ステンレス製建具	1）簡易気密型ドアセット性能値（16.4.2）（16.6.2）（表16.4.1） ※適用する（適用箇所は建具表による） 2）外部に面する建具の耐風圧性（16.2.2）（16.6.2）（表16.2.1） ・S－4 ・S－5 ・S－6 ※施工箇所は建具表による 3）表面仕上げ ※H L仕上げ ・No8鏡面仕上げ（16.6.4） 4）曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）（16.6.5）																																							
⑪	木製建具	1）建物内部の木製建具に使用する表面剤及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量（16.7.2） ※規制対象外 ・第三種 2）フラッシュ戸の表面材の種類（16.7.2）（表16.7.2）（表16.7.6） ※難燃合板 3）かまち戸の樹種 かまち（） 鏡板（） 4）ふすまの上張り ※新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 5）枠及び靴ずりの材料 枠 ※木枠 ・ 靴ずり ※ステンレス ・木製																																							
⑫	建具用金物	1）マスターキー ※製作する ・製作しない（16.8.4） 2）建具用金物（表16.8.1） <table><tr><th>金物の種類</th><th>製造所</th></tr><tr><td>シリンドー箱錠</td><td>シリンドー本締まり錠</td></tr><tr><td colspan="2">「評価名簿」による</td></tr><tr><td colspan="2">ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ</td></tr></table>			金物の種類	製造所	シリンドー箱錠	シリンドー本締まり錠	「評価名簿」による		ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ																														
金物の種類	製造所																																								
シリンドー箱錠	シリンドー本締まり錠																																								
「評価名簿」による																																									
ドアクローザ、ヒンジクローザ、フロアヒンジ																																									
13	自動ドア開閉装置	1）自動ドアの開閉機構（16.9.2～3）（表16.9.1～6） <table><tr><th>開閉方法</th><th>検出装置の種類</th></tr><tr><td>※スライディングドア ・スイングドア</td><td>※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・光電センサー</td></tr></table> 2）凍結防止措置 ※行わない ・行う（16.9.3） 3）製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。			開閉方法	検出装置の種類	※スライディングドア ・スイングドア	※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・光電センサー																																	
開閉方法	検出装置の種類																																								
※スライディングドア ・スイングドア	※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・光電センサー																																								
14	自閉式上吊り引戸装置	製造所「評価名簿」による（16.10.2）																																							

15	重量シャッター	1）外部に面するシャッターの耐風圧強度（16.11.2） 耐風圧性能（）N/m ² 2）開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式（16.11.2）（表16.11.1） 3）危害防止機構 ※危害防止装置（16.11.2） 4）一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない（16.11.2） 1）開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）（16.12.2）（表16.12.1） 2）外部に面するシャッターの耐風圧強度（16.12.2） 耐風圧性能（）N/m ² 3）電動式の場合の安全装置（16.12.2） 急降下停止装置 ・設置する（適用箇所は建具表による） ・設置しない 4）スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8（表16.12.2） 材質 ※JISG3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び銅板）（16.12.3） ・JISG3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び銅板）（16.12.4） ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 形状 5）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（表16.12.2） 厚さ ※1.0 ・1.5																													
16	軽量シャッター	1）開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）（16.12.2）（表16.12.1） 2）外部に面するシャッターの耐風圧強度（16.12.2） 耐風圧性能（）N/m ² 3）電動式の場合の安全装置（16.12.2） 急降下停止装置 ・設置する（適用箇所は建具表による） ・設置しない 4）スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8（表16.12.2） 材質 ※JISG3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び銅板）（16.12.3） ・JISG3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び銅板）（16.12.4） ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 形状 5）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（表16.12.2） 厚さ ※1.0 ・1.5																													
17	オーバーヘッドドア	<table><tr><th>セクション材料</th><th>開閉方式</th><th>収納形式</th><th>ガイドレール</th></tr><tr><td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ</td><td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td><td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バチカル形</td><td>・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）</td></tr></table> 耐風圧性能（）N/m ² （16.13.2）			セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）																			
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																												
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板（SUS304）																												
18	ガラス	ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ－1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス <table><tr><th>材料板ガラスによる種類</th><th>衝撃特性による種類（JIS R 3206）</th></tr><tr><td>※フロート強化ガラス ・型板強化ガラス</td><td>皿類（曲面はⅠ類）</td></tr></table> 3）熱線吸収板ガラス <table><tr><th>板ガラスによる種類</th><th>日射熱取得率</th><th>色 調</th></tr><tr><td>・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス</td><td>※2種</td><td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン</td></tr></table> 4）複層ガラス <table><tr><th>種 類</th><th>断熱性、日射遮へ性による区分（JIS R 3209）</th></tr><tr><td>※断熱複層ガラス ・日射熱遮へ複層ガラス</td><td>※U3－1 ・U3－2 ・U1 ・U2 ・E4 ・E5</td></tr></table> 5）熱線反射板ガラス <table><tr><th>品 質</th><th>反射皮膜面</th><th>材料板ガラスの種類</th><th>映像調整</th></tr><tr><td>※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス</td><td>※内面・外面 内面</td><td>・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・</td><td>※行わない ・行う ただし、メタルカーテンウォール工事は17章による</td></tr></table> 6）倍強度ガラス <table><tr><th>材料板ガラスによる種類の名称</th><th>色 調</th></tr><tr><td>※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス</td><td>・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・</td></tr></table> 7）ガラスの小口処理 ガラス端部に枠にのみ込まない部分の小口加工 ※適用は建具表による（16.14.4）			材料板ガラスによる種類	衝撃特性による種類（JIS R 3206）	※フロート強化ガラス ・型板強化ガラス	皿類（曲面はⅠ類）	板ガラスによる種類	日射熱取得率	色 調	・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	※2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン	種 類	断熱性、日射遮へ性による区分（JIS R 3209）	※断熱複層ガラス ・日射熱遮へ複層ガラス	※U3－1 ・U3－2 ・U1 ・U2 ・E4 ・E5	品 質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整	※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	※内面・外面 内面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・	※行わない ・行う ただし、メタルカーテンウォール工事は17章による	材料板ガラスによる種類の名称	色 調	※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・	
材料板ガラスによる種類	衝撃特性による種類（JIS R 3206）																														
※フロート強化ガラス ・型板強化ガラス	皿類（曲面はⅠ類）																														
板ガラスによる種類	日射熱取得率	色 調																													
・熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	※2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン																													
種 類	断熱性、日射遮へ性による区分（JIS R 3209）																														
※断熱複層ガラス ・日射熱遮へ複層ガラス	※U3－1 ・U3－2 ・U1 ・U2 ・E4 ・E5																														
品 質	反射皮膜面	材料板ガラスの種類	映像調整																												
※熱線反射ガラス ・高性能熱線反射ガラス	※内面・外面 内面	・フロート板ガラス ・熱線吸収フロート板ガラス ・強化ガラス ・倍強度ガラス ・	※行わない ・行う ただし、メタルカーテンウォール工事は17章による																												
材料板ガラスによる種類の名称	色 調																														
※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・																														
19	ガラス留め材及び溝	ガラス留め材（16.14.2）（表9.7.1） <table><tr><th>建具の種類</th><th>材 種</th></tr><tr><td>アルミニウム製</td><td>※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）</td></tr><tr><td>鋼製及び軽量鋼製</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>ステンレス製</td><td>※シーリング材</td></tr><tr><td>樹脂製</td><td>※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）</td></tr></table> ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。 板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.14.3）（図16.14.1） ※「標仕」図16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。			建具の種類	材 種	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	樹脂製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）																	
建具の種類	材 種																														
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）																														
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材																														
ステンレス製	※シーリング材																														
樹脂製	※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材）																														
20	ガラスブロック積み	ガラスブロック（16.14.5） <table><tr><th>寸法（mm）</th><th>表面形状</th><th>性能等</th></tr><tr><td rowspan="2">呼び寸法</td><td>厚さ</td><td>色調</td></tr><tr><td>厚さ</td><td>色調</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>※クリア</td><td>※無し</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> <table><tr><th>壁用金属枠及び補強材</th><th>規格及び補強材等</th></tr><tr><td>壁用金属枠の種類</td><td>※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td></tr><tr><td>※アルミニウム製</td><td>・</td></tr></table> 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）（表9.7.1） <table><tr><th>被着体の組合せ</th><th>記号</th><th>主成分による区分</th><th>耐久性による区分</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。			寸法（mm）	表面形状	性能等	呼び寸法	厚さ	色調	厚さ	色調		※クリア	※無し	・	・	壁用金属枠及び補強材	規格及び補強材等	壁用金属枠の種類	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	※アルミニウム製	・	被着体の組合せ	記号	主成分による区分	耐久性による区分				
寸法（mm）	表面形状	性能等																													
呼び寸法	厚さ	色調																													
	厚さ	色調																													
	※クリア	※無し																													
	・	・																													
壁用金属枠及び補強材	規格及び補強材等																														
壁用金属枠の種類	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																														
※アルミニウム製	・																														
被着体の組合せ	記号	主成分による区分	耐久性による区分																												
21	ガラス用フィルム	<table><tr><th>名 称</th><th>記 号</th><th>張 り 面</th></tr><tr><td>・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td><td>G I</td><td rowspan="2">※内張り ・外張り</td></tr><tr><td>・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td><td>G D</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 品質 J I S A 5 7 5 9による。			名 称	記 号	張 り 面	・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G I	※内張り ・外張り	・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G D	・	・																	
名 称	記 号	張 り 面																													
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G I	※内張り ・外張り																													
・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	G D																														
・	・																														

特 記 事 項																																																																								
17 章	カーテンウォール工事																																																																							
1	メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。（17.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>規格等</th></tr><tr><td>※アルミニウム製</td><td>※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr></table> カーテンウォール方式 ・方立方式 ・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法 ・SSG構法） ・スバンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式 ・ユニット方式） シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（17.2.2）（9.7.2）（表9.7.1） <table><tr><th colspan="2">被着体の組合せ</th><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><td rowspan="2">金属</td><td>ガラス</td><td>記号</td><td>主成分による区分</td><td>耐久性による区分</td></tr><tr><td>石、タイル</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ガラス</td><td>ガラス</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 構造ガasket ※適用しない（17.2.2） ・適用する（施工箇所：） 断熱材 ☒ ※適用しない（17.2.2） ・適用する（種類： 厚さ（mm）： 施工箇所※図示） 製品の寸法許容差 ※下記以外は「標仕」表17.2.1による。（17.2.3）（表17.2.1） ・製造所標準製作規定寸法許容差による。 アルミニウムの表面処理（17.2.3）（表17.2.1） <table><tr><th>種 別</th><th>色合い等</th></tr><tr><td>・AB－1種 ・BB－1種</td><td>無着色</td></tr><tr><td>・AB－2種 ・BB－2種</td><td>※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・</td></tr><tr><td>・着色塗装</td><td>塗装材料（） 焼付け方法（） コート（） ベーク</td></tr></table> 耐風圧性能（17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m ² 以上及び負圧 N/m ² 以上に対して安全であること。 主要部材のたわみ <table><tr><th>支点間距離（h）</th><th>たわみ量</th><th>状 態</th></tr><tr><td>※4m以下</td><td>※±（1/150）× h</td><td rowspan="2">※各部の破損、残留変形 有害な変形が起らないこと</td></tr><tr><td>・4mを超える</td><td>かつ絶対量20mm以下</td></tr></table> 耐震性能（17.1.3） 設計用震度 水平方向（K _H ） ※1.0 ・ 垂直方向（K _V ） ※0.5 ・ <table><tr><th>構造種別</th><th>許容層間変位量（h＝支点間距離）</th><th>変位後の状態</th></tr><tr><td>鉄骨造</td><td>※±（1/100）× h以上</td><td rowspan="2">※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと 主要部材に有害な変形が起らないこと シーリングの損傷は補修程度</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造</td><td>※±（1/200）× h以上</td></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td><td>・</td><td></td></tr></table> 水密性 ・W－4 ・W－5（17.1.3）（表16.2.1） 気密性 ・A－3 ・A－4（17.1.3）（表16.2.1） 耐火性能 ※適用しない ・適用する（ 時間、施工箇所：図示） 映像調整 ※行わない ・行う（建具表による）			種 類	規格等	※アルミニウム製	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	・	・	被着体の組合せ		シーリング材の種類			金属	ガラス	記号	主成分による区分	耐久性による区分	石、タイル				ガラス	ガラス				種 別	色合い等	・AB－1種 ・BB－1種	無着色	・AB－2種 ・BB－2種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・	・着色塗装	塗装材料（） 焼付け方法（） コート（） ベーク	支点間距離（h）	たわみ量	状 態	※4m以下	※±（1/150）× h	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起らないこと	・4mを超える	かつ絶対量20mm以下	構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態	鉄骨造	※±（1/100）× h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと 主要部材に有害な変形が起らないこと シーリングの損傷は補修程度	鉄筋コンクリート造	※±（1/200）× h以上	鉄骨鉄筋コンクリート造	・																	
種 類	規格等																																																																							
※アルミニウム製	※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																																																							
・	・																																																																							
被着体の組合せ		シーリング材の種類																																																																						
金属	ガラス	記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																				
	石、タイル																																																																							
ガラス	ガラス																																																																							
種 別	色合い等																																																																							
・AB－1種 ・BB－1種	無着色																																																																							
・AB－2種 ・BB－2種	※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・																																																																							
・着色塗装	塗装材料（） 焼付け方法（） コート（） ベーク																																																																							
支点間距離（h）	たわみ量	状 態																																																																						
※4m以下	※±（1/150）× h	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起らないこと																																																																						
・4mを超える	かつ絶対量20mm以下																																																																							
構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態																																																																						
鉄骨造	※±（1/100）× h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと 主要部材に有害な変形が起らないこと シーリングの損傷は補修程度																																																																						
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）× h以上																																																																							
鉄骨鉄筋コンクリート造	・																																																																							
2	P Cカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。（17.3.2） コンクリートの種類及び品質 ※「標仕」17.3.2による。 ・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。 <table><tr><th>コンクリートの種類</th><th>設計基準強度（F_o）</th><th>所要スランプ（cm）</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 鉄筋 ※SD295 ・ 取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。（17.3.2）（14.2.2）（表14.2.2） <table><tr><th>金物種類及び部位</th><th>内 部</th><th>外 部</th></tr><tr><td>PC板打込み金物</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>PC板打込み取付けボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※ステンレスボルト</td></tr><tr><td>2次ファスナー</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>取付けボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td>レベル調整ボルト</td><td>※E種 ・</td><td>※A種 ・</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td></tr></table> シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（17.2.2）（9.7.2）（表9.7.1） <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="3">シーリング材の種類</th></tr><tr><th>記号</th><th>主成分による区分</th><th>耐久性による区分</th></tr><tr><td>カーテンウォール板間目地</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 断熱材 ☒ ※適用しない（17.1.3） ・適用する（種類： 厚さ（mm）： 施工箇所※図示） 製品の寸法許容差 ※下記以外は「標仕」表17.3.1による。（17.3.3）（表17.3.1） ・製造所標準製作規定寸法許容差による。 表面仕上げ（） 耐火材料 <table><tr><th>施工部位</th><th>種 別</th><th>規格等</th></tr><tr><td>・ファスナー部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・取付けブラケット</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・パネル目地部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・層間ふさぎ</td><td></td><td></td></tr></table> 耐風圧性能（17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/m ² 以上及び負圧 N/m ² 以上に対して安全であること。 耐震性能（17.1.3） 設計用震度 水平方向（K _H ） ※1.0 ・ 垂直方向（K _V ） ※0.5 ・ <table><tr><th>構造種別</th><th>許容層間変位量（h＝支点間距離）</th><th>変位後の状態</th></tr><tr><td>鉄骨造</td><td>※±（1/100）× h以上</td><td rowspan="2">※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと シーリングの損傷は破損程度</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造</td><td>※±（1/200）× h以上</td></tr><tr><td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td><td>・</td><td></td></tr></table>			コンクリートの種類	設計基準強度（F _o ）	所要スランプ（cm）				金物種類及び部位	内 部	外 部	PC板打込み金物	※E種 ・	※A種 ・	PC板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト	2次ファスナー	※E種 ・	※A種 ・	取付けボルト	※E種 ・	※A種 ・	レベル調整ボルト	※E種 ・	※A種 ・		・	・	施工箇所	シーリング材の種類			記号	主成分による区分	耐久性による区分	カーテンウォール板間目地								施工部位	種 別	規格等	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態	鉄骨造	※±（1/100）× h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと シーリングの損傷は破損程度	鉄筋コンクリート造	※±（1/200）× h以上	鉄骨鉄筋コンクリート造	・	
コンクリートの種類	設計基準強度（F _o ）	所要スランプ（cm）																																																																						
金物種類及び部位	内 部	外 部																																																																						
PC板打込み金物	※E種 ・	※A種 ・																																																																						
PC板打込み取付けボルト	※E種 ・	※ステンレスボルト																																																																						
2次ファスナー	※E種 ・	※A種 ・																																																																						
取付けボルト	※E種 ・	※A種 ・																																																																						
レベル調整ボルト	※E種 ・	※A種 ・																																																																						
	・	・																																																																						
施工箇所	シーリング材の種類																																																																							
	記号	主成分による区分	耐久性による区分																																																																					
カーテンウォール板間目地																																																																								
施工部位	種 別	規格等																																																																						
・ファスナー部																																																																								
・取付けブラケット																																																																								
・パネル目地部																																																																								
・層間ふさぎ																																																																								
構造種別	許容層間変位量（h＝支点間距離）	変位後の状態																																																																						
鉄骨造	※±（1/100）× h以上	※部材・ガラス等の損傷、破損及び脱落が起らないこと シーリングの損傷は破損程度																																																																						
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）× h以上																																																																							
鉄骨鉄筋コンクリート造	・																																																																							

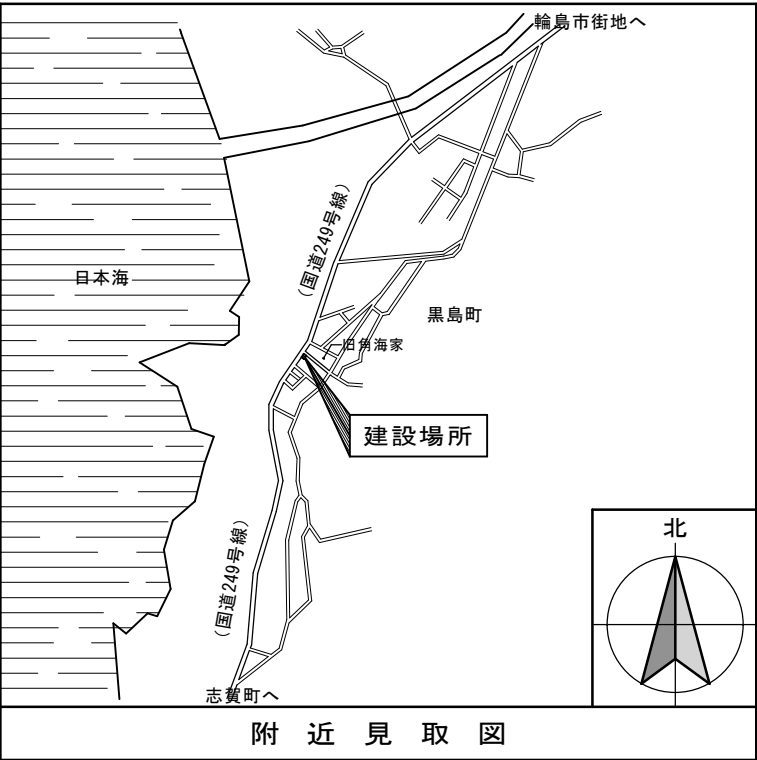
特 記 事 項																								
18 章	塗 装 工 事																							
①	材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量（18.1.3） ※規制対象外 ・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。																						
②	素地ごしらえ	木部の素地ごしらえ 不透明塗料塗り ※A種 ・B種（18.2.2）（表18.2.1） 透明塗料塗り ・A種 ※B種 鉄鋼面の素地ごしらえ ・A種 ・B種 ※C種（表18.2.2） 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ ・A種 ・B種 ・C種（表18.2.3） モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種（表18.2.4） コンクリート面、A L Cパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ（表18.2.5～6） ・A種 ※B種（表18.2.7） せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ ・A種 ※B種																						
③	錆止め塗料塗り	錆止め塗料種別（18.3.2） ・鉄鋼面（A s種 ・B s種 ・C s種 ・D s種（表18.3.1） ・亜鉛めっき鋼面（A z種 ・B z種 ・C z種（表18.3.2） 錆止め塗料塗り（18.3.3） ・鉄鋼面（SOP、EP-G、錆止め塗装のままの場合） 見え掛り ※A種 ・B種（表18.3.3） 見え隠れ ・A種 ※B種 ・亜鉛めっき鋼面（SOP、EP-Gの場合） 鋼製建具 ※A種 ・B種（表18.3.5） その他 ・A種 ※B種																						
④	合成樹脂調合ベイント塗り（SOP）	塗料の種類 ※1種 ・2種（18.4.2） ・鉄鋼面種別 ・A種 ※B種（18.4.3）（表18.4.2）																						
5	クリヤラッカー塗り（CL）	種別 ・A種 ※B種（18.5.2）（表18.5.1）																						
6	アクリル樹脂系水分散形塗料塗り（NAD）	種別 ・A種 ※B種（18.6.2）（表18.6.1）																						
7	耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面（18.7.2～3） 等級 ・1級 ・2級 ・3級 コンクリート面及び押出成形セメント板面（18.7.4）（表18.7.3） 種別 ・A種 ・B種 ・C種																						
8	つや有合成樹脂エポキシベイント塗り（EP-G）	種別 ・A種 ※B種（18.8.2）（表18.8.1） （18.8.4）（表18.8.3）																						
9	合成樹脂エポキシベイント塗り（EP）	種別 ・A種 ※B種（18.9.2）（表18.9.1）																						
10	ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	種別 ・A種 ※B種（18.10.2）（表18.10.1）																						
11	木材保護着色塗料塗り（WP）	種別 ・A種 ※B種（18.12.2）（表18.12.1）																						
19 章 内 装 工 事																								
特 記 事 項																								
①	材料	（19.2.2）（19.3.2）（19.4.2）（19.5.2）（19.7.2）（19.8.2）（19.9.2） 壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤、塗料、フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。																						
②	ビニル床シート張り ☒	（19.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>J I S の記号</th><th>色 柄</th><th>厚さ（mm）</th></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※F S ・</td><td>※無地 ・マーブル</td><td>※2.0 ・2.5</td></tr><tr><td>・発泡層のあるもの</td><td>・H S</td><td>※柄物 ・無地</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。（K Sの場合を除く） 工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所：）（19.2.3）			種 類	J I S の記号	色 柄	厚さ（mm）	※発泡層のないもの	※F S ・	※無地 ・マーブル	※2.0 ・2.5	・発泡層のあるもの	・H S	※柄物 ・無地		・							
種 類	J I S の記号	色 柄	厚さ（mm）																					
※発泡層のないもの	※F S ・	※無地 ・マーブル	※2.0 ・2.5																					
・発泡層のあるもの	・H S	※柄物 ・無地																						
・																								
3	ビニル床タイル張り ☒	（19.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ（mm）</th><th>寸法（mm）</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル 〔接着形〕</td><td>K T</td><td>※2.0</td><td>・300×300 ・450×450</td><td></td></tr><tr><td>・複層ビニル床タイル 〔接着形〕</td><td>F T</td><td>※2.0</td><td>・300×300 ・450×450</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が、製品の総重量比で15%以上使用されていること。			種 類	JISの記号	厚さ（mm）	寸法（mm）	備 考	※コンポジションビニル床タイル 〔接着形〕	K T	※2.0	・300×300 ・450×450		・複層ビニル床タイル 〔接着形〕	F T	※2.0	・300×300 ・450×450						
種 類	JISの記号	厚さ（mm）	寸法（mm）	備 考																				
※コンポジションビニル床タイル 〔接着形〕	K T	※2.0	・300×300 ・450×450																					
・複層ビニル床タイル 〔接着形〕	F T	※2.0	・300×300 ・450×450																					
4	帯電防止床タイル張り	（19.2.2） <table><tr><th>種 類</th><th>厚さ（mm）</th><th>性 能</th></tr><tr><td>・コンポジションビニル床タイル</td><td>※2</td><td rowspan="2">体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0×10⁹Ω以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A 14541による） 1.0×10¹⁰Ω未満</td></tr><tr><td>・ホモジニアスビニル床タイル</td><td>※4.0又は5.0</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>			種 類	厚さ（mm）	性 能	・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0×10 ⁹ Ω以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A 14541による） 1.0×10 ¹⁰ Ω未満	・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は5.0	・	・		・	・							
種 類	厚さ（mm）	性 能																						
・コンポジションビニル床タイル	※2	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0×10 ⁹ Ω以下、または、 漏洩抵抗値（JIS A 14541による） 1.0×10 ¹⁰ Ω未満																						
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は5.0																							
・	・																							
・	・																							
5	ビニル幅木	高さ（mm） ※60 ・（19.2.2）</																						

6	カーペット敷き G	防火性能は、消防法で定める防火性能を有し、登録されているものとする。 (19.3.1) ・織じゅうたん (19.3.2～3) (表19.3.1)	浴室天井材	市販品	移動間仕切り	(20.2.4)	遮音性能による区分	厚さ (mm)	表面材	表面仕上げ (注2)	操作方法	施工箇所	21	床点検口	本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法 (mm)																							
		※アルミ製													※アルミ・ステンレス・黄銅	下記以外全て	※600×600																								
		・ステンレス製															・																								
		品質及び性能等																																							
		材 質													品質・規格及び性能																										
		アルミ合金押出型材													JIS H 4100 A6063S1による				表面処理																						
		アルミニウム板													JIS H 4000 A1100P24による				A－1種又はA－2種による																						
		ステンレス製													JIS G 4305 (目地材はG 4308も含む) のSUS304による				表面処理 H L又はN o 2 B程度																						
		寸法許容差 (mm)													受け枠寸法の許容差				±0.5																						
															蓋枠寸法の許容差				±0.5																						
耐荷重性能				荷重 P n=1,000Nにおける蓋中央部の残留たわみ				2.0以内																																	
				耐破壊荷重				荷重値 P nの2倍以上																																	
7	合成樹脂塗床	(19.4.2～3) (表19.4.1～8)	吸音材	乾式耐火間仕切り壁	表示標識	タラップ	29	敷地境界石標	30	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		種 別																																仕上の種類							
		・弾性ウレタン樹脂系塗床材																																※平滑仕上げ		・防滑仕上げ					
		・エポキシ樹脂系塗床材																																※薄膜流し展べ工法 (※平滑・防滑)		・厚膜流し展べ工法 (※平滑・防滑)					
		・エポキシ樹脂系塗床材																																※平滑仕上げ		・樹脂モルタル工法 (※平滑・防滑)					
		材 質																																ウレタン樹脂系塗料 (※標準色)							
		仕上種類																																※平滑仕上げ		・防滑仕上げ					
		塗布量																																プライマー塗のうす主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする。							
		材 質																																水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)							
		仕上種類																																コーティング (ローラー刷毛塗り)							
塗布量	主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。																																								
10	フローリング張り	(19.5.2～6) (表19.5.1～6)	誘導用及び注意喚起用床材	20 章 ユニットの及其他工事	17	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		品 名																																樹 種	工 法	種 別	仕上塗装等				
		※天然木化粧複合フローリング																																・なら	※釘どめ工法 (根太張工法)	・A種	※塗装品				
		○本実板																																・ひのき	・釘どめ工法 (直張り工法)	・B種	○無塗装品				
																																		○能登ひば	・接着工法 (直張り)	・C種	・合成樹脂発泡シート				
		下地の種類																																畳の種類							
		「標準」表12.6.1による床組																																・A種 (畳表：・J S ・ J 1)							
																																		※B種							
	・C種 (畳床：・P S C 2 0 ・ P S C 2 5 ・ P S C 3 0)																																								
	・D種 (畳床：・K T - I ・ K T - II ・ K T - III ・ K T - K ・ K T - N)																																								
ポリスチレンフォーム床下地	・C種 (畳床：・P S C 2 0 ・ P S C 2 5 ・ P S C 3 0)																																								
	※D種 (畳床：・K T - I ・ K T - II ・ K T - III ・ K T - K ・ K T - N)																																								
12	ポリスチレンフォーム床下地材	畳下地	厚さ (mm)	※40	・65	・80																																			
		フローリング類下地	厚さ (mm)	※80	・95																																				
		特殊合板の仕上の種類などは、下記による。 (19.7.2)	フリーアクセスフロア	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		施工箇所																																壁紙の種類							
		仕上げの種類		・天然木化粧合板 (・)																														・特殊加工化粧合板 (・)							
		防火性能		・難燃																														・難燃							
		表面の品質		・1等																														・2等							
		接着剤の種類		・1種																														・2種							
		工 法		・A種																														・B種							
		目地処理		・目透し・突付け・V目地・底目地																														・目透し・突付け・V目地・底目地							
素地ごしらえ	(19.8.3) (表19.8.1～3)																																								
モルタル面及びせつこうプラスター面	※B種			・A種 (施工箇所：)																																					
コンクリート面	※B種		・A種 (施工箇所：)																																						
せつこうボード面及びけい酸カルシウム板面	※B種		・A種 (施工箇所：)																																						
15	断熱材 G	断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量	可動間仕切り	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		(19.9.2)																																							
		種 類	施工箇所	厚さ (mm)																														品質等							
		・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種 b	※一般部																														・25							
		・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	・一般部																														・15							
		・断熱材兼用型枠	製造所 JIS A 9526又は「評価名簿」による	・壁 (図示の範囲)																														・40以下							
																																		断熱抵抗							
																																		＝厚さ/熱伝導率							
																																		※B種							
																																		・A種 (施工箇所：)							
16	体育館のフローリング張り	体育館のフローリング張りは、下記による。 (イ) 材 種 下張り (組床式の場合) ・1類ラワン合板 (厚15) ・構造用合板1類2級 (厚15) 上張り ・かば板18mm (ロ) 工 法 下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。 上張り材と他の材料との取合いは、ネオプレンゴムとし、コートラインは、上塗り前に、監督員の指示により施工する。	可動間仕切り	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		材 質																																アルミニウム製		・鋼製					
		スロープ及びボデー																																※製造所の標準仕様 (ただし、構成材は「標準」による)		・図示					
		コンセント等の取付け対応																																※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事)							
		コンセントの箇所数は図示																																							
		配線用取り出しパネル																																※配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上							
		フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合																																※20～30パーセント							
		空調用吹き出しパネル																																※無し		・有り (※固定式 ・可変式 ・施工箇所は図示)					
		構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種																														厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料の認定				
		※パネル式	・	※鋼板																														(※0.5	・)	・メラミン樹脂	・15dB程度				
・スタッ式					又はアクリル樹脂焼付け	・30dB程度																																			
・スタッ式						・36dB以上																																			
製造所等 JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの																																									

設計	石川県土木部営繕課	工事名 黒島分団センター新築工事 (災害復旧) 図面名 建築工事仕様書 その5 図面番号 A 0 5																																							
			種 別	仕上の種類																																					
			・弾性ウレタン樹脂系塗床材	※平滑仕上げ		・防滑仕上げ																																			
			・エポキシ樹脂系塗床材	※薄膜流し展べ工法 (※平滑・防滑)		・厚膜流し展べ工法 (※平滑・防滑)																																			
			・エポキシ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ		・樹脂モルタル工法 (※平滑・防滑)																																			
			材 質	ウレタン樹脂系塗料 (※標準色)																																					
			仕上種類	※平滑仕上げ		・防滑仕上げ																																			
			塗布量	プライマー塗のうす主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/㎡以上とする。																																					
			材 質	水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)																																					
			仕上種類	コーティング (ローラー刷毛塗り)																																					
塗布量	主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする。																																								
10	フローリング張り	(19.5.2～6) (表19.5.1～6)	誘導用及び注意喚起用床材	20 章 ユニットの及其他工事	17	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		品 名																																樹 種	工 法	種 別	仕上塗装等				
		※天然木化粧複合フローリング																																・なら	※釘どめ工法 (根太張工法)	・A種	※塗装品				
		○本実板																																・ひのき	・釘どめ工法 (直張り工法)	・B種	○無塗装品				
																																		○能登ひば	・接着工法 (直張り)	・C種	・合成樹脂発泡シート				
		下地の種類																																畳の種類							
		「標準」表12.6.1による床組																																・A種 (畳表：・J S ・ J 1)							
																																		※B種							
	・C種 (畳床：・P S C 2 0 ・ P S C 2 5 ・ P S C 3 0)																																								
	・D種 (畳床：・K T - I ・ K T - II ・ K T - III ・ K T - K ・ K T - N)																																								
ポリスチレンフォーム床下地	・C種 (畳床：・P S C 2 0 ・ P S C 2 5 ・ P S C 3 0)																																								
	※D種 (畳床：・K T - I ・ K T - II ・ K T - III ・ K T - K ・ K T - N)																																								
12	ポリスチレンフォーム床下地材	畳下地	厚さ (mm)	※40	・65	・80																																			
		フローリング類下地	厚さ (mm)	※80	・95																																				
		特殊合板の仕上の種類などは、下記による。 (19.7.2)	フリーアクセスフロア	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		施工箇所																																壁紙の種類							
		仕上げの種類		・天然木化粧合板 (・)																														・特殊加工化粧合板 (・)							
		防火性能		・難燃																														・難燃							
		表面の品質		・1等																														・2等							
		接着剤の種類		・1種																														・2種							
		工 法		・A種																														・B種							
		目地処理		・目透し・突付け・V目地・底目地																														・目透し・突付け・V目地・底目地							
素地ごしらえ	(19.8.3) (表19.8.1～3)																																								
モルタル面及びせつこうプラスター面	※B種			・A種 (施工箇所：)																																					
コンクリート面	※B種		・A種 (施工箇所：)																																						
せつこうボード面及びけい酸カルシウム板面	※B種		・A種 (施工箇所：)																																						
15	断熱材 G	断熱材は、原則として「グリーン購入法」における特定調達品目を使用する。 ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量	可動間仕切り	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		(19.9.2)																																							
		種 類	施工箇所	厚さ (mm)																														品質等							
		・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種 b	※一般部																														・25							
		・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分	・一般部																														・15							
		・断熱材兼用型枠	製造所 JIS A 9526又は「評価名簿」による	・壁 (図示の範囲)																														・40以下							
																																		断熱抵抗							
																																		＝厚さ/熱伝導率							
																																		※B種							
																																		・A種 (施工箇所：)							
16	体育館のフローリング張り	体育館のフローリング張りは、下記による。 (イ) 材 種 下張り (組床式の場合) ・1類ラワン合板 (厚15) ・構造用合板1類2級 (厚15) 上張り ・かば板18mm (ロ) 工 法 下張りとは、鋼製下地にタッピングビス止め。上張りは、下張り材に接着剤と釘打ち併用とする。 上張り材と他の材料との取合いは、ネオプレンゴムとし、コートラインは、上塗り前に、監督員の指示により施工する。	可動間仕切り	20 章 ユニットの及其他工事	18	カーテン及びカーテンレール	31	旗竿受金物	32	旗竿	旗竿受金物	フェンス	33	屋外掲示板	照明器具	※有り	無し	施 錠	※有り	無し	製造所	34	車止め支柱	35	建築銘板	建築銘板の設置等は、下記による。 (イ) 設置	・設置する	・設置しない	(ロ) 材料、大きさ	・黒又は白御影石水磨き仕上げ (450×600×25) ・アクリル樹脂板 (450×600×10)	(ハ) 記入内容 (参考)	45 (60)	工事名 完成 (監修) 設計 監理 建築 (業者名を記入する) 電気 (業者名を記入する) 給排水 (業者名を記入する) 空調 (業者名を記入する) 合併処理 (業者名を記入する) 昇降機 (業者名を記入する)								
		材 質																																アルミニウム製		・鋼製					
		スロープ及びボデー																																※製造所の標準仕様 (ただし、構成材は「標準」による)		・図示					
		コンセント等の取付け対応																																※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事)							
		コンセントの箇所数は図示																																							
		配線用取り出しパネル																																※配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上							
		フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合																																※20～30パーセント							
		空調用吹き出しパネル																																※無し		・有り (※固定式 ・可変式 ・施工箇所は図示)					
		構造形式	パネル部の総厚さ (mm)	表面材種																														厚さ (mm)	仕上げ	遮音性 (透過損失)	不燃材料の認定				
		※パネル式	・	※鋼板																														(※0.5	・)	・メラミン樹脂	・15dB程度				
・スタッ式					又はアクリル樹脂焼付け	・30dB程度																																			
・スタッ式						・36dB以上																																			
製造所等 JIS A 6512によるもの又は「評価名簿」によるもの																																									

36	リサイクル製品の 使用	(1)リサイクル製品は、「石川県エコ・リサイクル認定製品」を優先的に使用すること。 石川県エコ・リサイクル認定製品 ・使用する	5	アスファルト 舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)	7	芝張り	種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)					
		使用箇所 製 品 備考	部位 舗装の厚さ (mm) 基層 表層		枯補償 ※1年 ・ (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)								
37	伝統産業工芸品 の使用	「石川県エコ・リサイクル認定製品」は、石川県のホームページを参照する。 http://www.pref.ishikawa.jp/ (石川県 生活環境部 資源循環推進課) (2)その他、リサイクル製品の使用に努めるものとする。 (3)建設副産物リサイクル製品を使用した場合、下記提示板を設置する。(但し、工事請負代金が1,000万円以上のもの) 看板の寸法は90cm×60cm程度とする。	6	コンクリート 舗装	アスファルト ※再生アスファルト [G] ・ストレートアスファルト (22.4.3) 再生加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4) 区分 ・一般地域 ※寒冷地域 表層 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ※密粒度アスファルト混合物 (13F) ・細粒度アスファルト混合物 (13)	8	吹付けは種	種子の種類 ※洋芝類又はクローバー (採取後2年以内) (23.4.2) 種子の量 ※発芽率80%以上					
		この建築工事ではリサイクル製品として ○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○ を使用しています。 石 川 県 土 木 部 営 繕 課 建設副産物リサイクル シンボルマーク (注) 建設副産物シンボルマークのデザインは監督員に確認すること			シールコート ※行わない ・行う (施工範囲:) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)			植栽基盤及び材料 (23.5.2～3) ・屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・図示 保水・排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ:) ・板状成型品 補込み用土 ※改良土 ・人工軽量土 樹木の材種、寸法、株立数、寸法等 ※図示 ・屋上緑化軽量システム (23.5.3) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 (23.5.4) 固定方法は、「建築基準法に基づき指定する条件」により。建築基準法に基づき定める風圧力に 対応した工法を1.2.2 (施工計画書) による品質計画で定める。 支柱 ・設置する (種類 ・図示 ・) かん水装置 ・設置する (工事区分は図示による)					
24 章 そ の 他													
1	排水管	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1) 材 種 管の種類 管形状 (接合方法) ※通心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管 (※1種 ・2種) B形 (ゴム接合) ・硬質ポリ塩化ビニル管 ※V P ・V U ・中ふた付密閉形 (ターバー・パッキン式) [G] ※R S・V U	2	排水樹及びふた	種 類 適用荷重 鍵 ・水封形 ・密閉形 (ターバー・パッキン式) ・T-2用 ・あり ・簡易気密形 (パッキン式) ・T-6用 ・なし ・中ふた付密閉形 (ターバー・パッキン式) ・T-20用	9	ブロック系舗装	カラー舗装の種類 (22.6.2～4) (表22.6.1～2) 種 類 車道部の基層 着色骨材等 顔料の添加量等 カラー舗装の厚さ (mm) ※アスファルト混合物 ※なし ・有色骨材 (焼成) ・5～7% ※50 ・石油樹脂系混合物 ・あり ・着色骨材 (樹脂被覆) ・% ・30 ・樹脂系混合物 ・自然石 5～10 ・ニート工法 ・エメリー 3～5 ・塗布工法 1程度以下					
		埋戻し土 ※B種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] (21.2.1)											
22 章 舗 装 工 事													
項 目 特 記 事 項													
1	盛土に用いる 材料	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] (22.2.3) (表3.2.1)	2	凍上抑制層の 材料	※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 (22.2.3)	3	路床	1) 路床安定処理 (22.2.2～3) (表22.2.1) ※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 [G] ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m ² (目標CBR ※5以上) ・ジオテキスタイルによる安定処理 ジオテキスタイルの品質 単位面積質量 60g/m ² 以上 厚さ (mm) 0.5～1.0 引張り強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水計数 1.5×10cm/sec以上					
		2) 透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ (22.2.2) 車道部 ※150mm ・ () 歩道部 ※50mm ・ ()			3) 路床土の支持力比試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) (22.2.5)								
4	路盤	4) 路床締固め度の試験 ※行う (22.2.5)	5	路盤の厚さ (22.3.2)	1) 材料 [G] (22.3.3) (表22.3.1) ※再生クラッシュラン (RC-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40)	6	路盤の締固め度試験 ※行う (22.3.5)	舗装の種類 路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部 アスファルト舗装 ・100 ・150 ・250 ・300 ・100 コンクリート舗装 ・150 ・100 カラー舗装 ・100 ・150 ・250 ・300 ・100 透水性アスファルト舗装 ・100 インターロッキングブロック舗装 ・100 ・150 ・250 ・100					
		5) 砂の粒度試験 ※行う (22.2.5)			2) 路盤の厚さ (22.3.2)			3) 路盤の締固め度試験 ※行う (22.3.5)					
23 章 植 栽 工 事													
項 目 特 記 事 項													
1	土壌の酸度、 塩分量試験	※行う (23.1.3)	2	樹木の植栽基盤 整備	芝及び地被類 (23.2.2～3) (表23.2.1～2) 適 用 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ※行う ・行わない ※30 ・ ※B種 ・ ※植栽範囲 ・図示 樹木 (23.2.2～3) (表23.2.1～2) 樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ・12以上 ※100 ・ ※A種 ※葉張りの範囲 ・7以上～12未満 ※80 ・ ・B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3以上～7未満 ※60 ・ ・C種 ・図示 ・3未満 ※50 ・ ・D種 工法D種以外の工法で現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層と する。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。	3	植込み用土	※現場発生土の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3)					
		3 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ・客土 (※畑土 ・黒土) (23.2.3)			4 土壌改良材 [G] (23.2.3～4) ※適用する 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 ・バークたい肥 有機物の含有量 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5～7.5 水分 : 55～65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常が認められない 窒素全量 (現物) : 0.5%以上 りん酸全量 (現物) : 0.2%以下 カリ全量 (現物) : 0.1%以上 ・発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を 使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする。 ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下 有機物の含有量 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以下 窒素全量 (現物) : 0.8%以上 りん酸全量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現								

敷地面積表			
(A)	11.25	4.88	54.9000
(B)	11.25	4.60	51.7500
(C)	11.12	2.82	31.3584
(D)	11.96	1.26	15.0696
(E)	11.96	5.32	63.6272
倍面積			216.7052
面積			108.3526 m ²
			32.77 坪

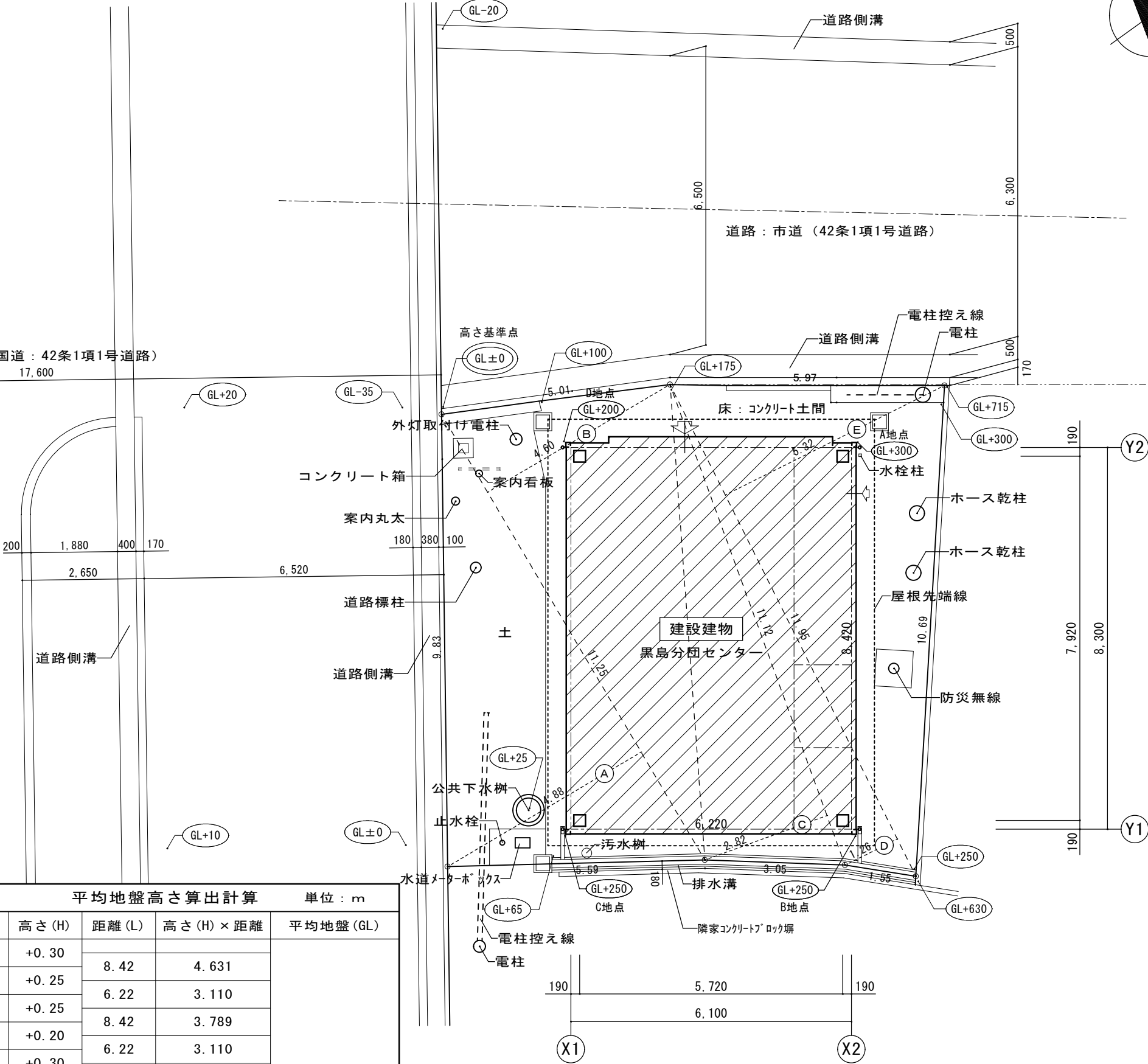


附近見取図

建設場所：石川県 輪島市 門前町黒島町口-95-甲番地

平均地盤高さ算出計算 単位：m				
地点	高さ(H)	距離(L)	高さ(H) × 距離	平均地盤(GL)
A地点	+0.30	8.42	4.631	
B地点	+0.25	6.22	3.110	
C地点	+0.25	8.42	3.789	
D地点	+0.20	6.22	3.110	
A地点	+0.30			
合計		29.28	14.640	+0.25 ⇒ GL+250

※ 平均地盤(GL)=各地点(高さ(H)×距離距離(L))の合計÷外周の長さ÷2



配置図 S=1:100



山谷忍 一級建築士事務所

1級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号
1級建築士 第175682号 山谷 忍

担当

年月日

2026. 3.

工事名

黒島分団センター新築工事(災害復旧)

図面名

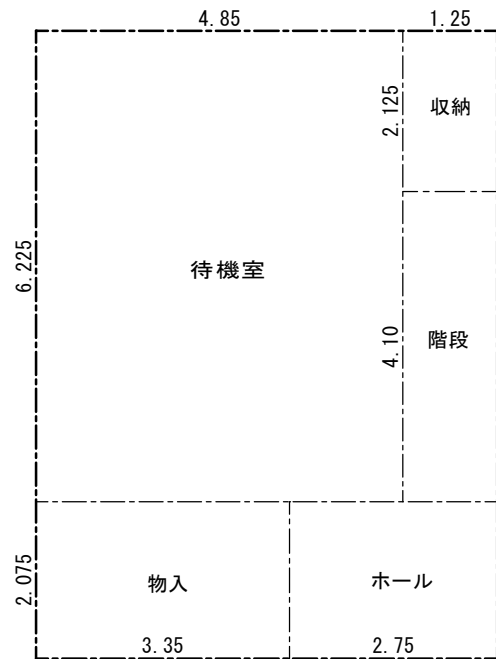
配置図、付近見取図

縮尺

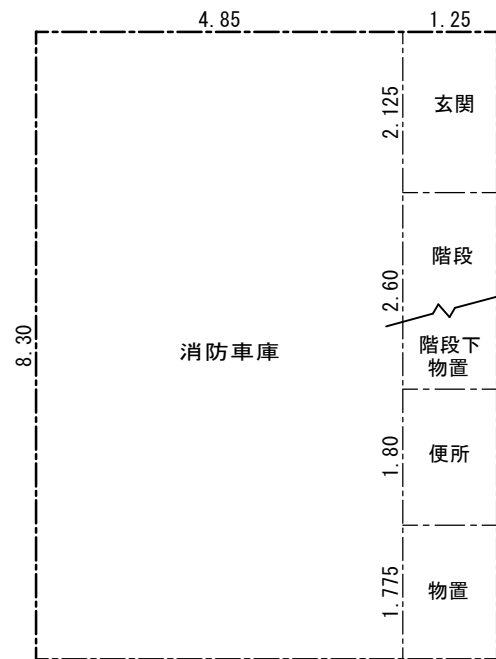
S=1:100

図面番号

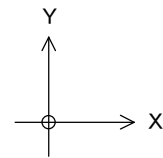
A 0 7



2 階 床面積算定図 S=1:100



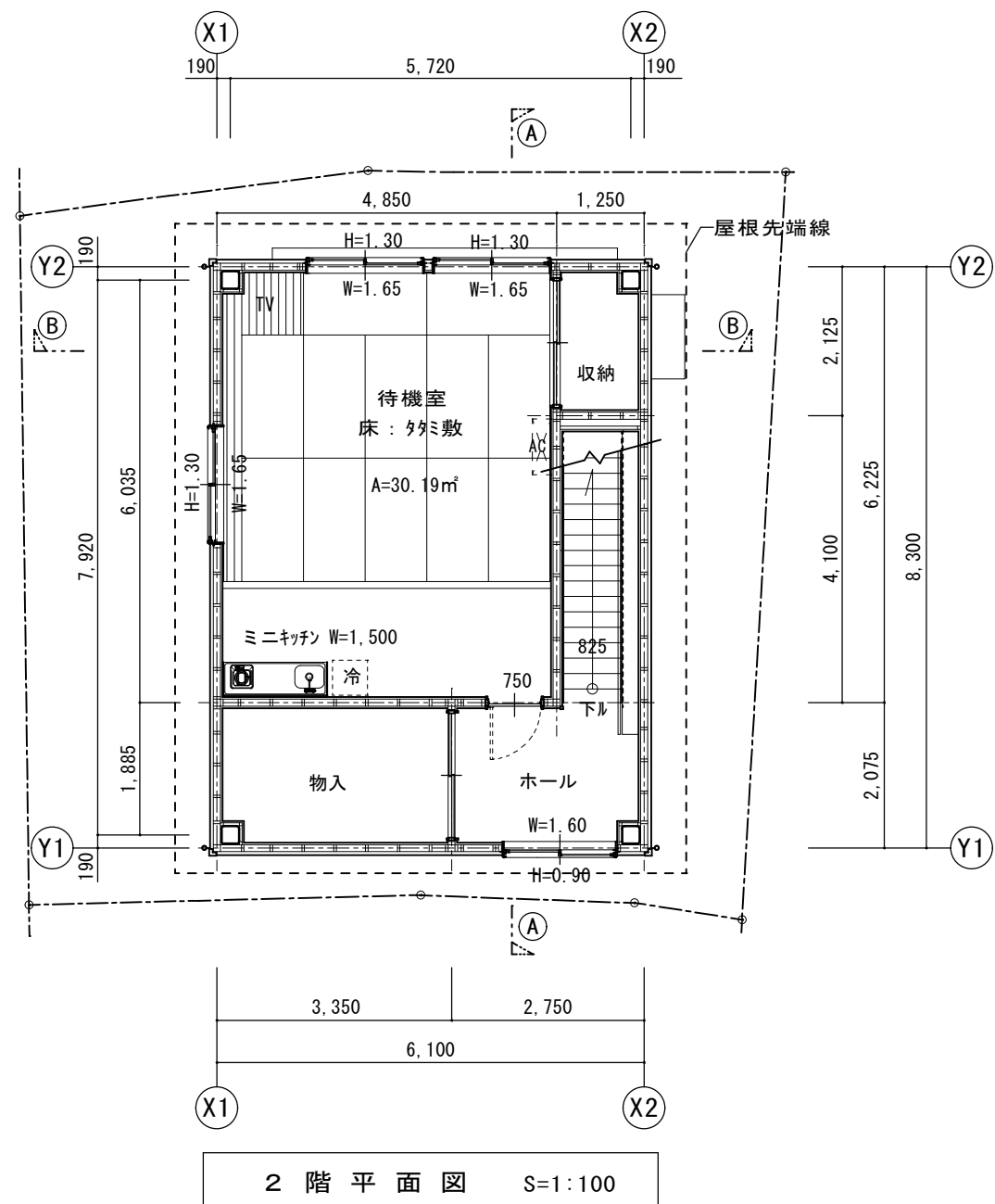
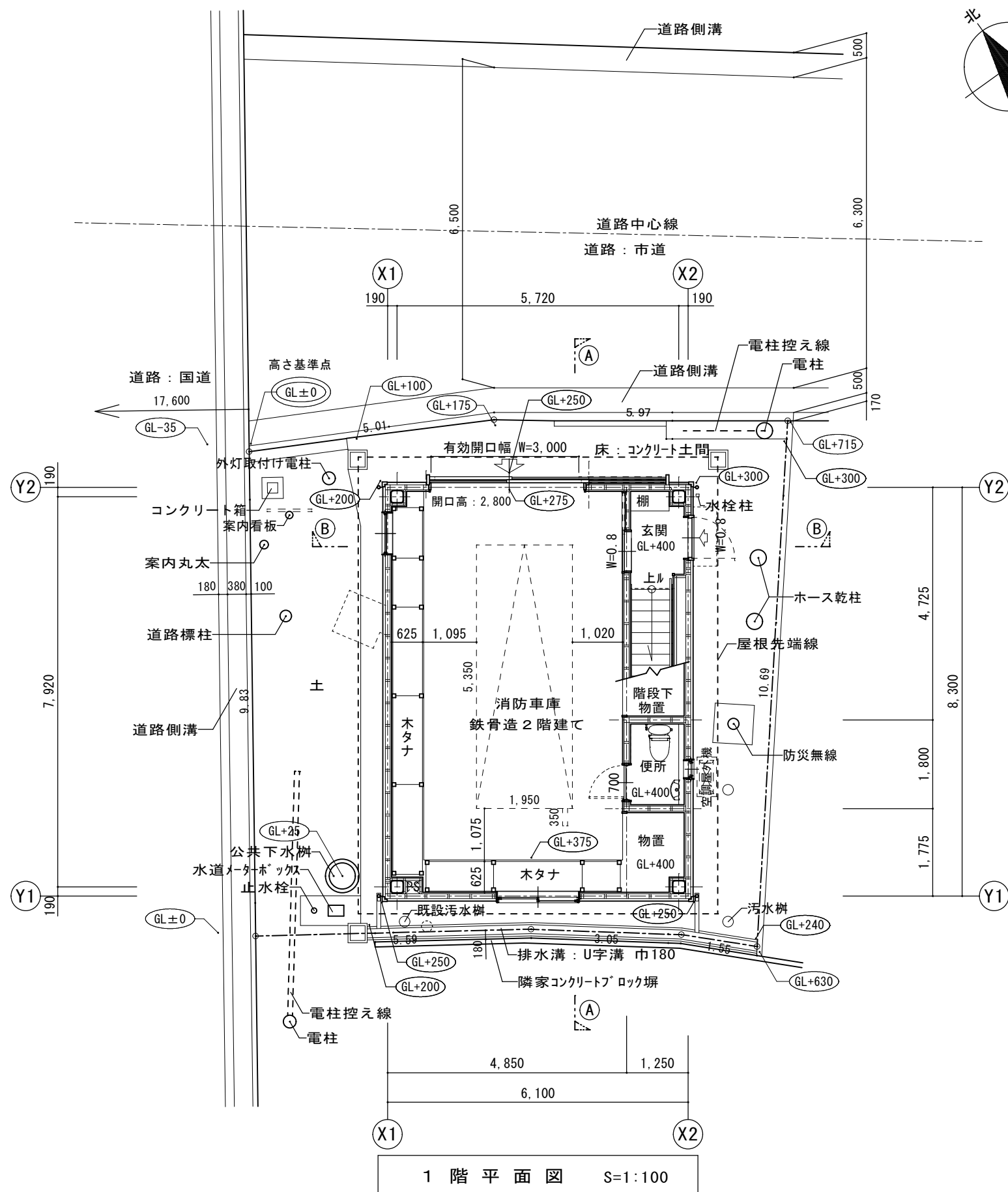
1 階 床面積算定図 S=1:100



凡 例
床 面 積 部 分

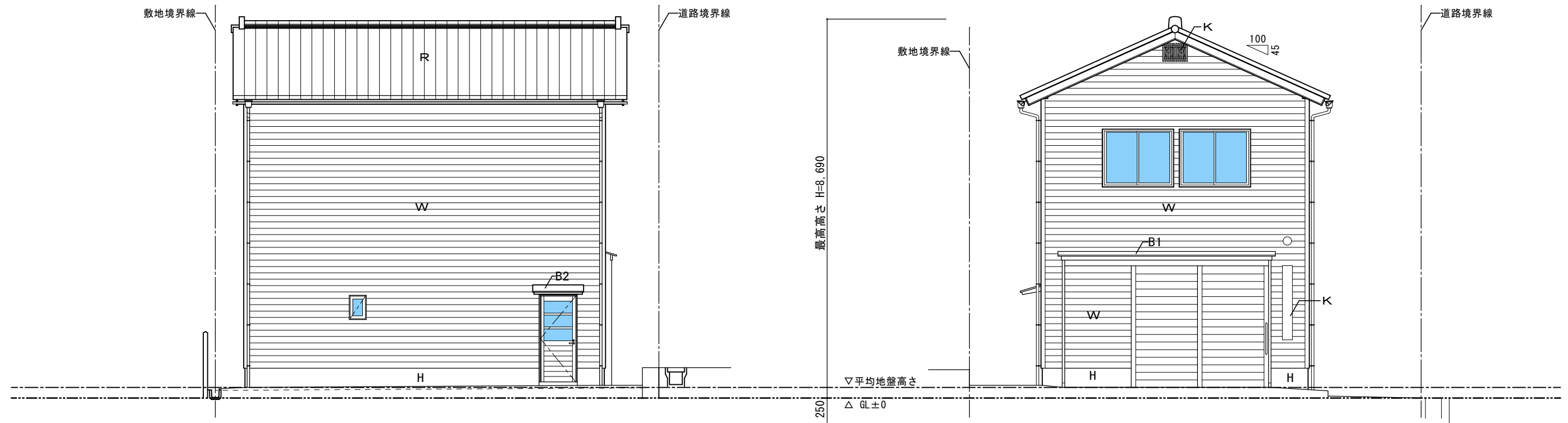
各 室 床 面 積 算 定 表					
階	室 名	計 算 式	計	主たる居室	非 居 室
1	消防車庫	$4.85 \times 8.30 = 40.2550$	40.25 m ²		40.25 m ²
	物 置	$1.25 \times 1.775 = 2.21875$	2.22 m ²		2.22 m ²
	便 所	$1.25 \times 1.80 = 2.2500$	2.25 m ²		2.25 m ²
	玄関、階段	$1.25 \times 4.725 = 5.90625$	5.91 m ²		5.91 m ²
	1 階 計		50.63 m ²		50.63 m ²
2	階 段	$1.25 \times 4.10 = 5.1250$	5.12 m ²		5.12 m ²
	ホ ー ル	$2.75 \times 2.075 = 5.70625$	5.71 m ²		5.71 m ²
	物 入	$3.35 \times 2.075 = 6.95125$	6.95 m ²		6.95 m ²
	待 機 室	$4.85 \times 6.225 = 30.19125$	30.19 m ²	30.19 m ²	
	収 納	$1.25 \times 2.125 = 2.65625$	2.66 m ²		2.66 m ²
	2 階 計		50.63 m ²	30.19 m ²	20.44 m ²
合 計			101.26 m ²	30.19 m ²	71.07 m ²





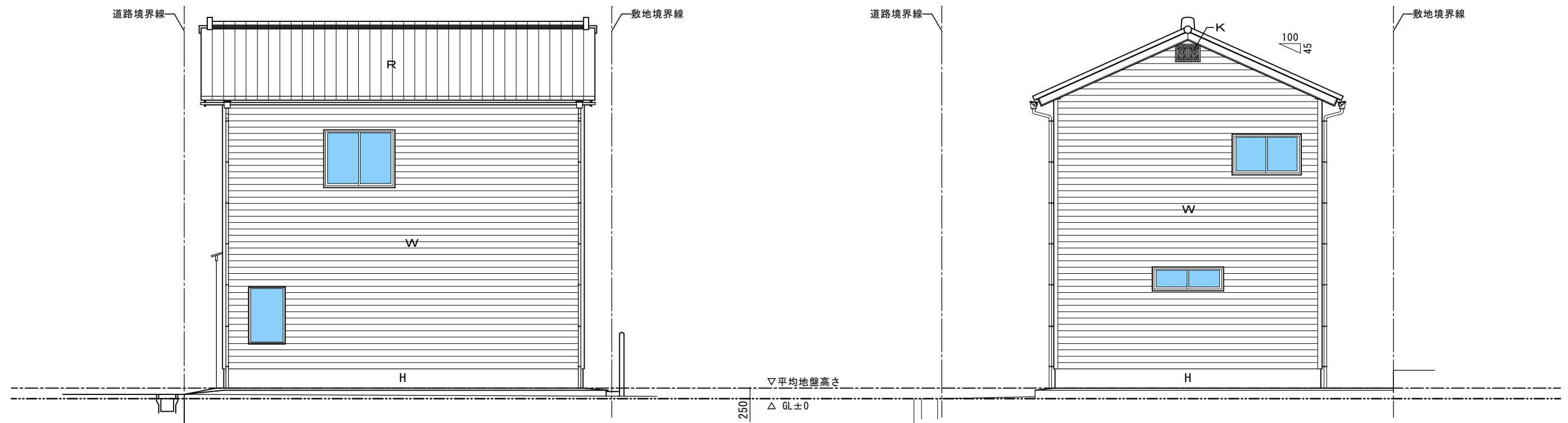
床 面 積 表		
1 階	50.63 m ²	15.31 坪
2 階	50.63 m ²	15.31 坪
合 計	101.26 m ²	30.62 坪

$$6.1 \times 8.3 = 50.63\text{m}^2 \quad (15.31\text{坪})$$



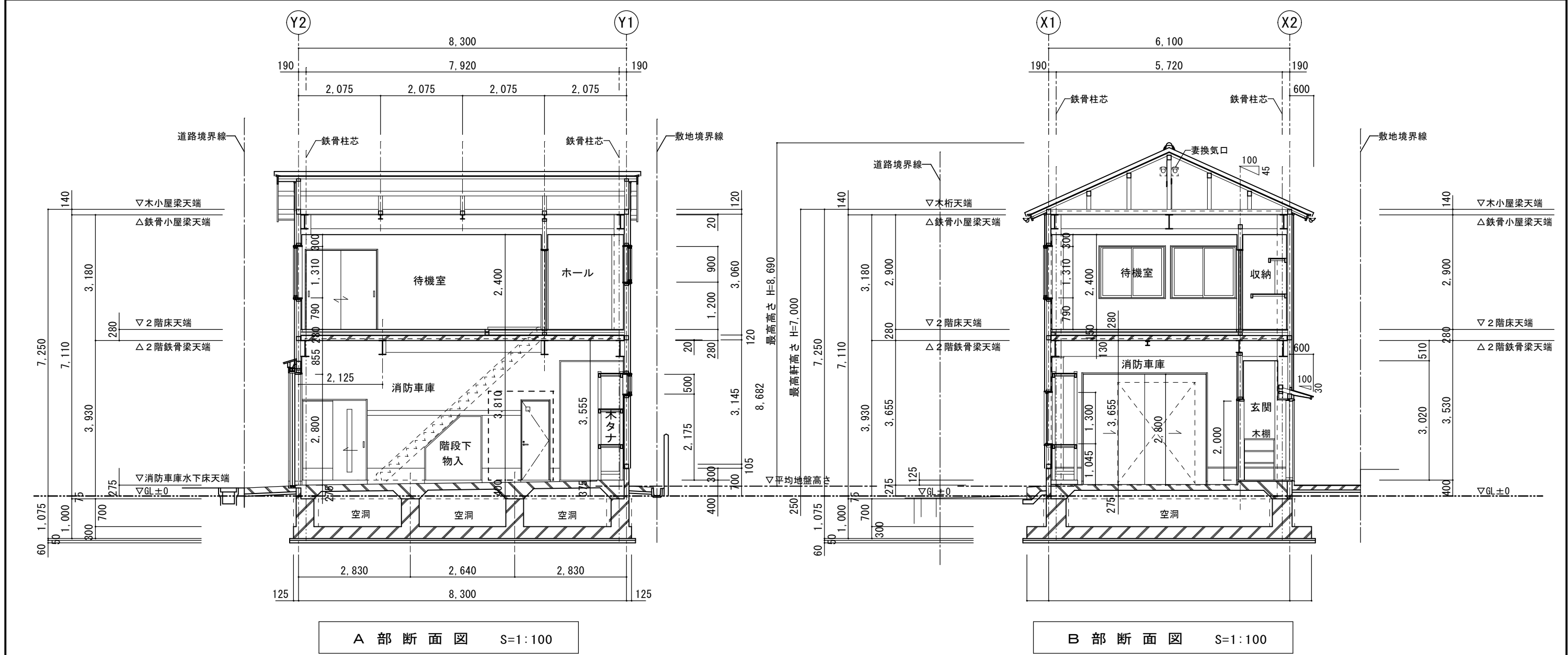
東側立面図 S=1:100

北側立面図 S=1:100

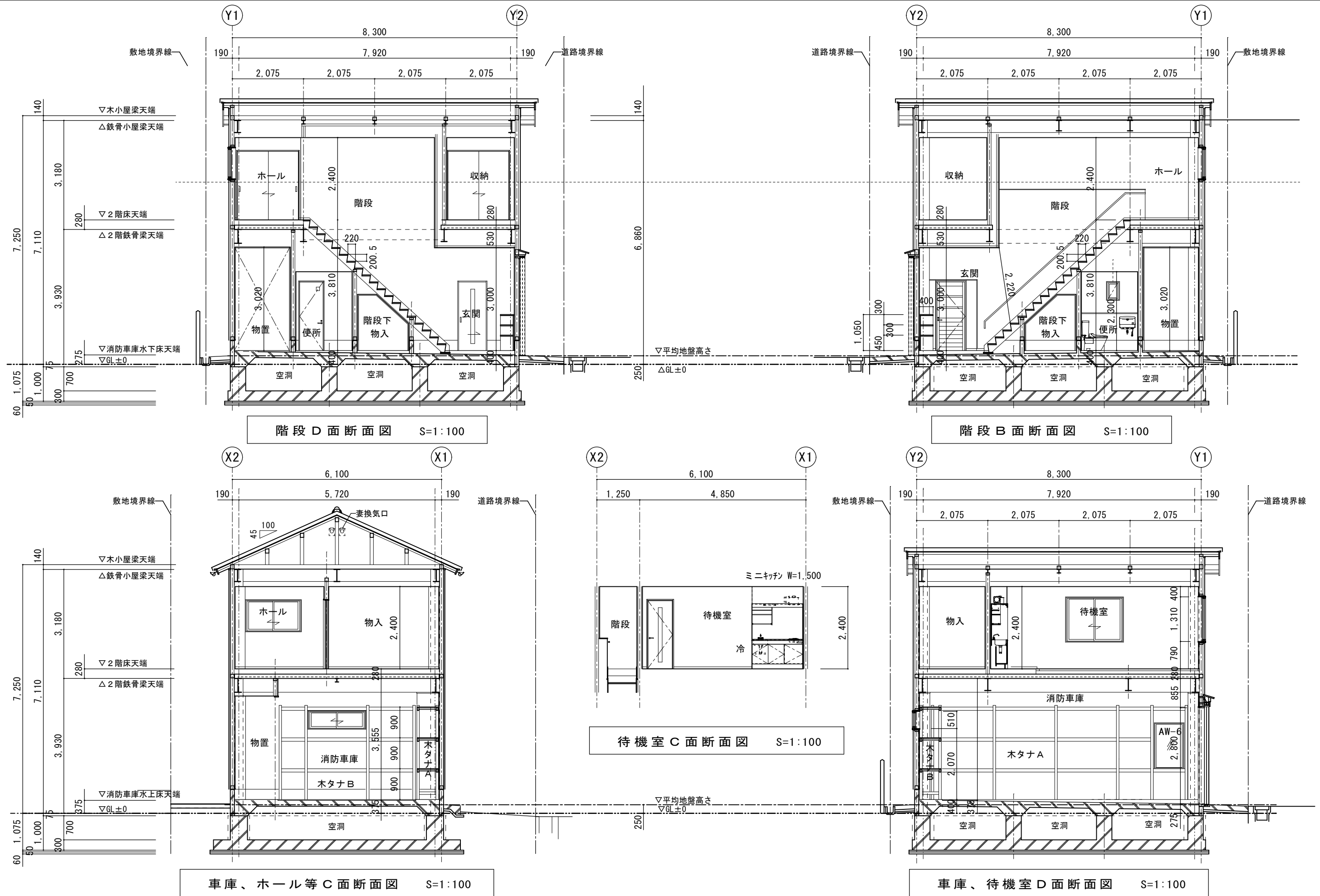


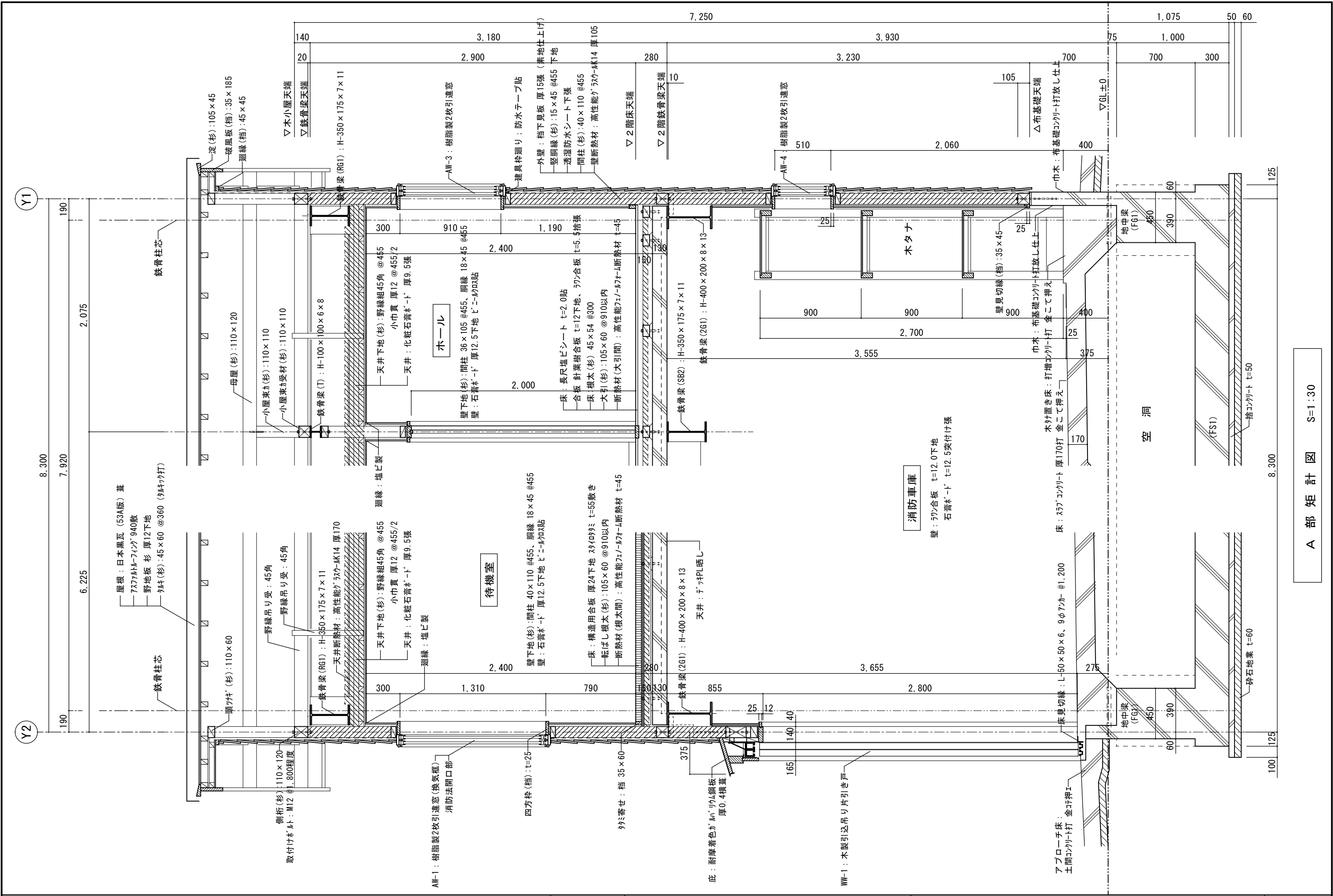
西側立面図 S=1:100

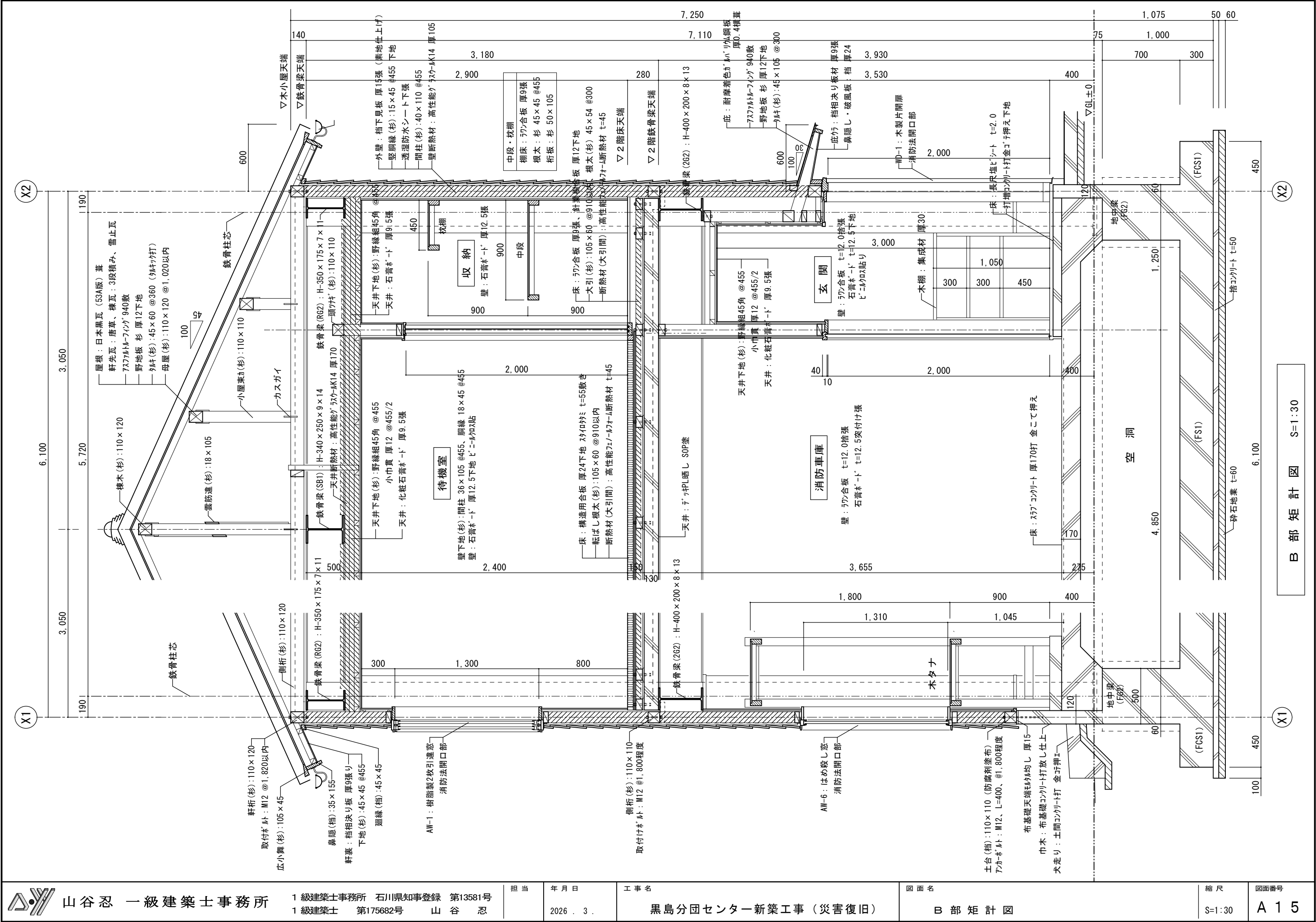
南側立面図 S=1:100

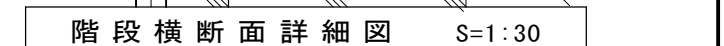
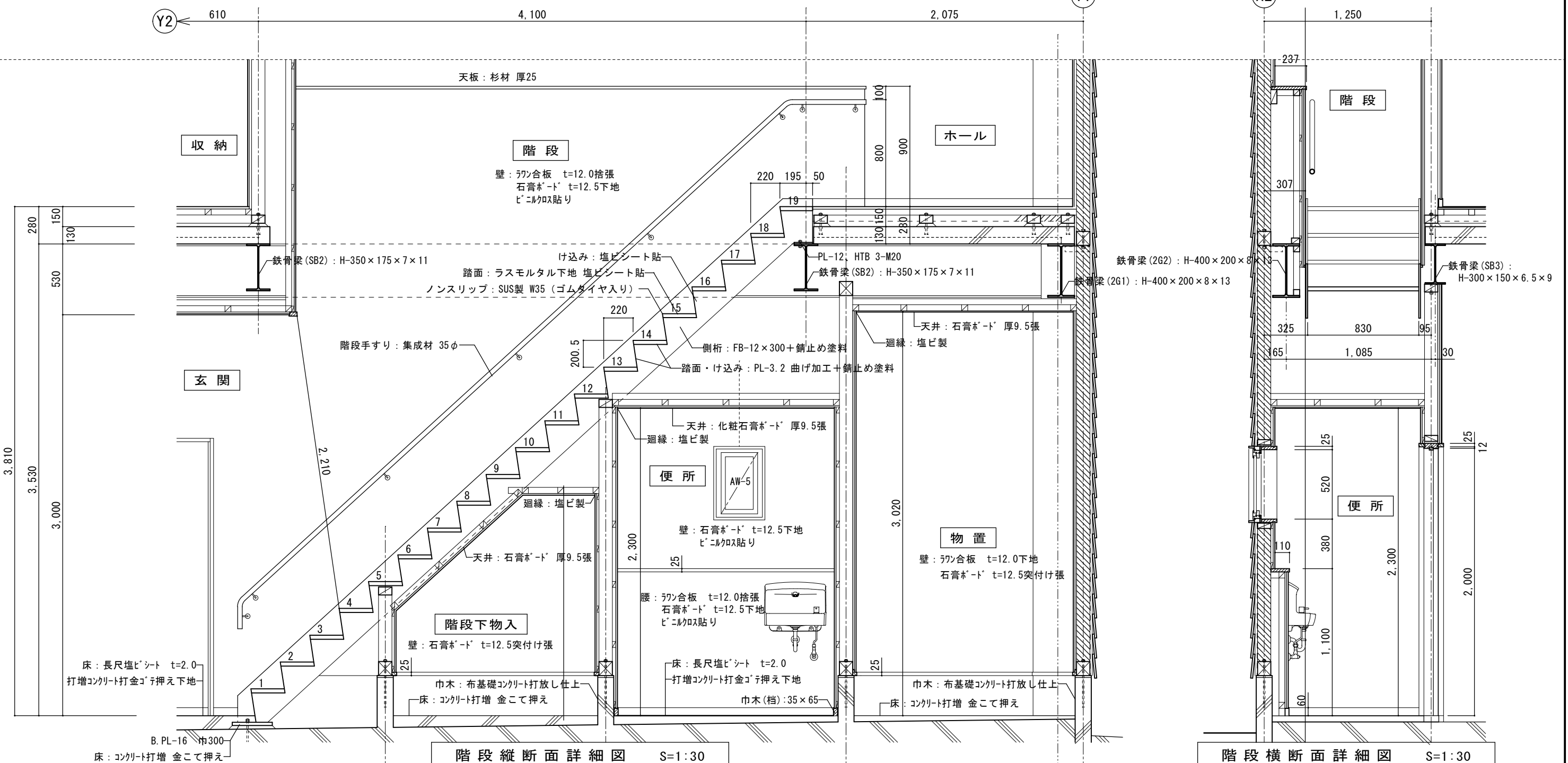
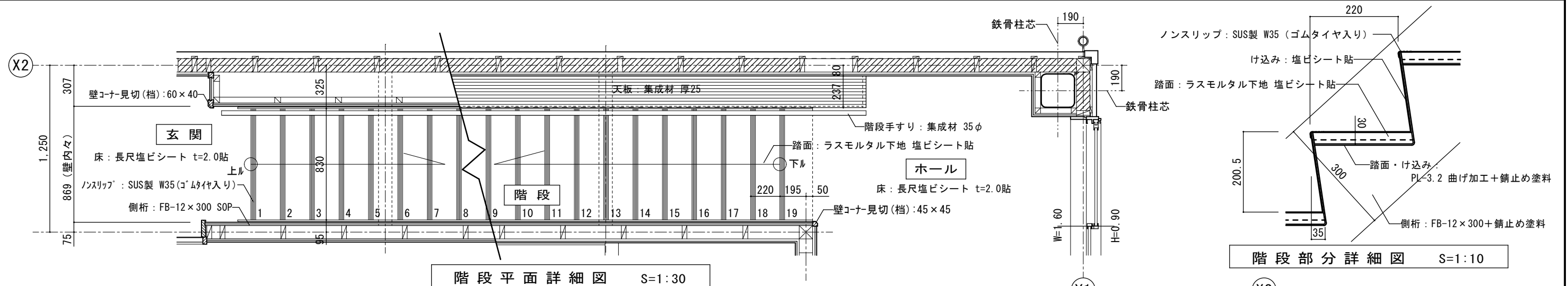


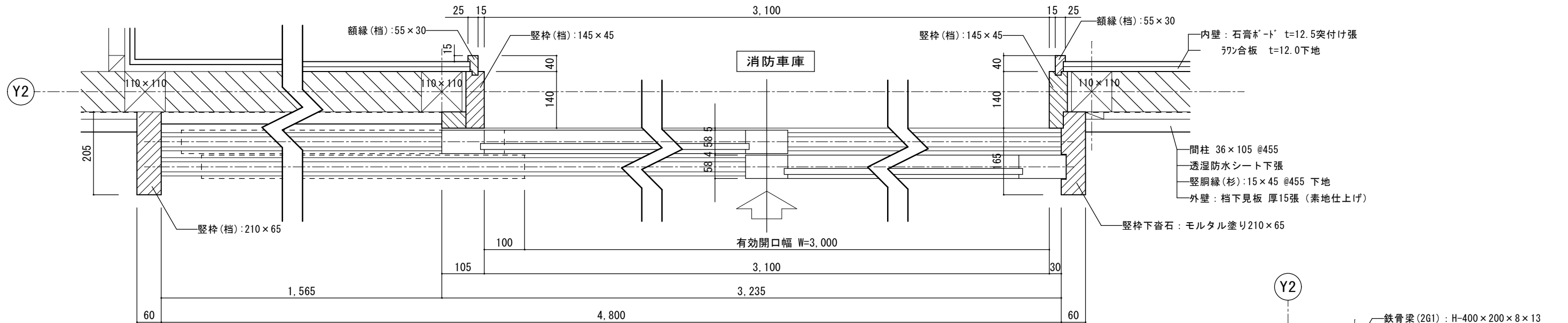
外 部 仕 上					
屋根 (R)	野地板（杉）厚12下地	外壁 (W)	透湿防水シート下張、木竖胴縁（15×45 @455）下地	樋	軒樋：硬質塩化ビニル樹脂製 半丸型、受金物：亜鉛メッキブ漬 @455
	アスファルトフイック940敷（重ね：上下100mm、左右200mm以上）		档下見板 厚15張り、コーナー化粧柱：档（100×100）		縦樋：硬質塩化ビニル樹脂製 丸型、受金物：亜鉛メッキブ漬 @≒900
	日本黒瓦（53A版）葺、軒先瓦：唐草、棟瓦：3段積み、雪止瓦		※ 透湿防水シート（重ね：上下90mm、左右150mm以上）		
	雪止瓦(ツル首型)：軒桁上に全列 後登り4枚目ごとに横1列おきに配置		建具枠廻り；防水テープ貼		
鼻隠し 破風板	档 厚30（化粧しゃくり付き）	庇 (B1)	タルキ：48×100 @300、野地板（杉）厚12下地	出入口戸	木製：吊り引込戸、片開き戸
			庇ウラ：档相決り板材 厚9張、鼻隠し・破風板：档 厚24	窓等	樹脂断熱サッシ
軒裏	档相決り板材 厚9張り		アスファルトフイック940敷、耐摩着色ガルバリウム鋼板 厚0.4横葺	分団看板 (K)	木製（在来品支給）
巾木 (H)	基礎コンクリート打放し仕上	水切庇 (B2)	アスファルトフイック940敷、耐摩着色ガルバリウム鋼板 厚0.4横葺	妻換気口 (A)	自然給気用パイプフード（ガリ付、耐塩害）100φ：2箇所
					ステンレス製、塗装仕上、内部：フレキシブルダクト100φ
					化粧格子付：档 25×40 小間返し（ビス止め）、側板：30×150



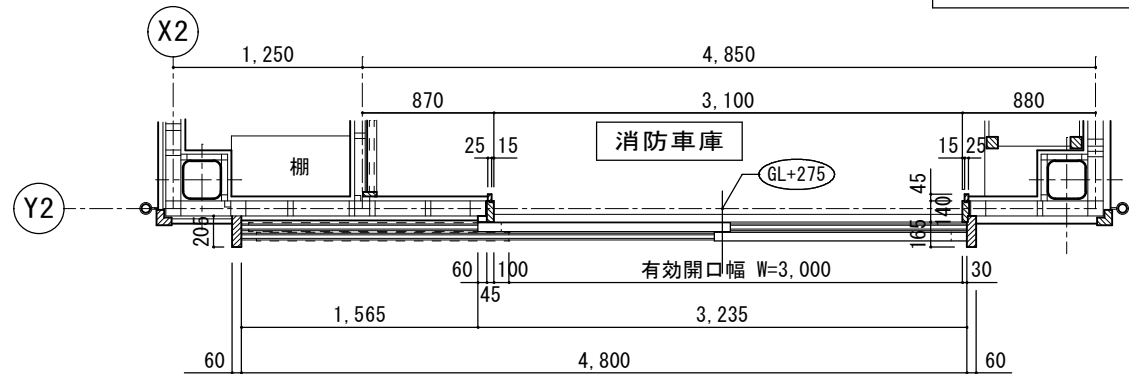




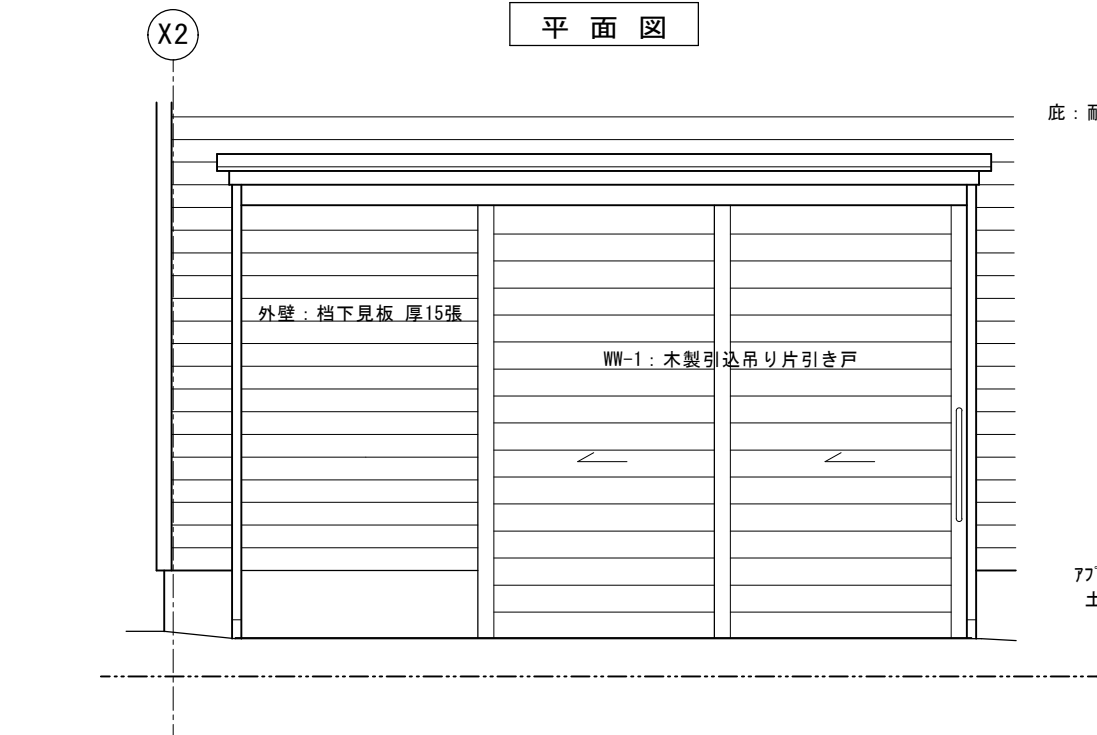




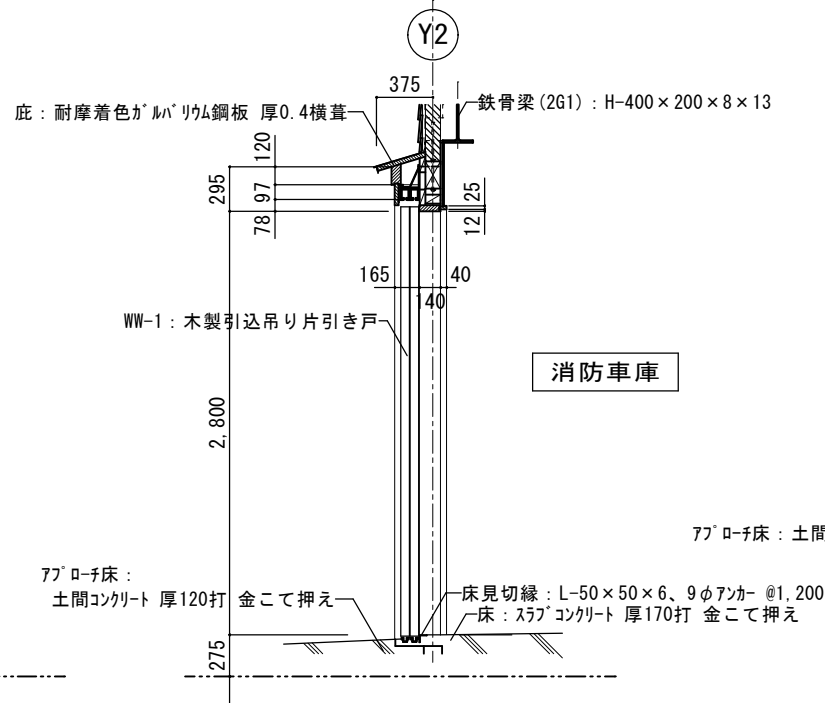
平面詳細図 S=1:10



平面図

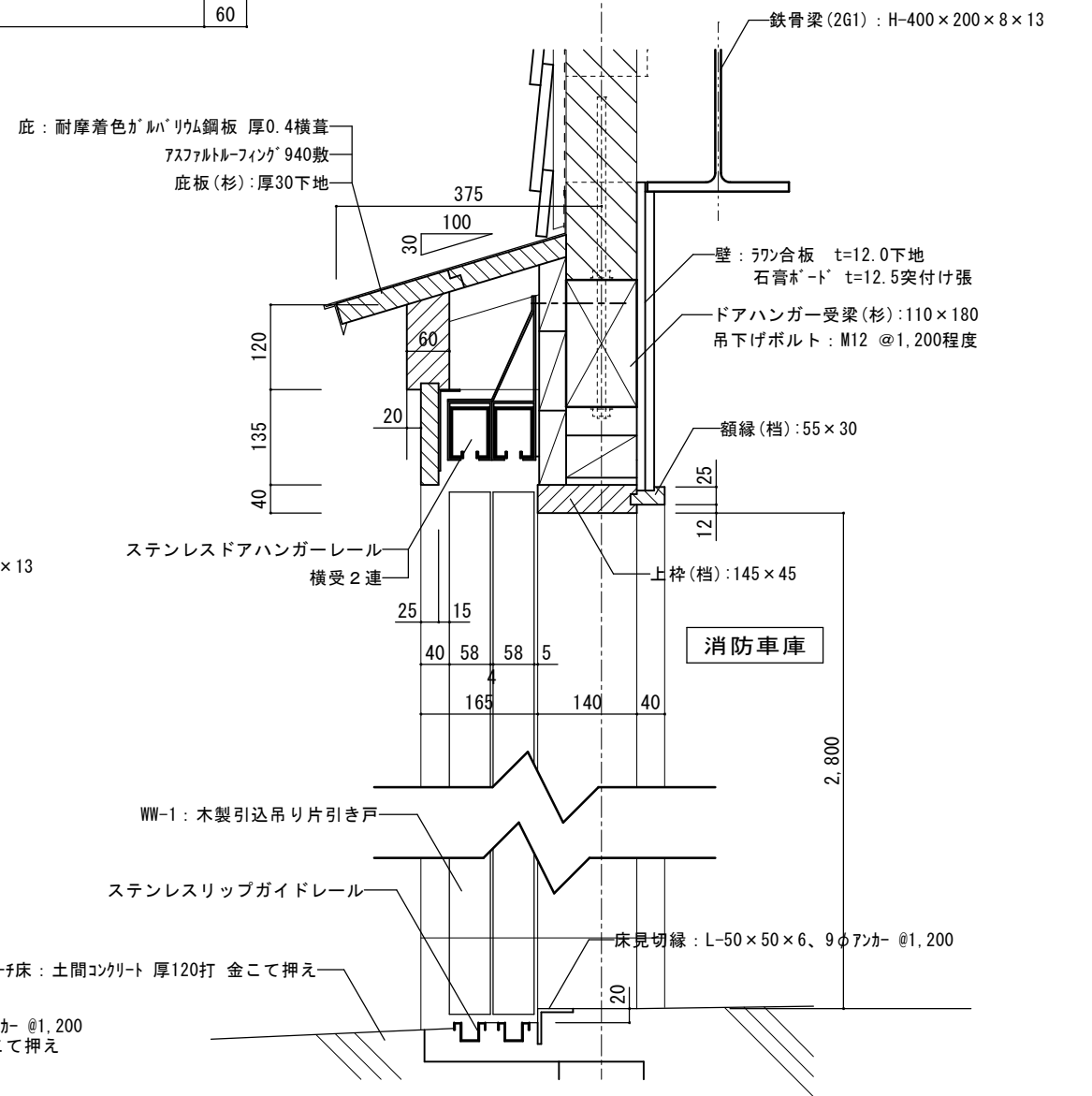


姿図

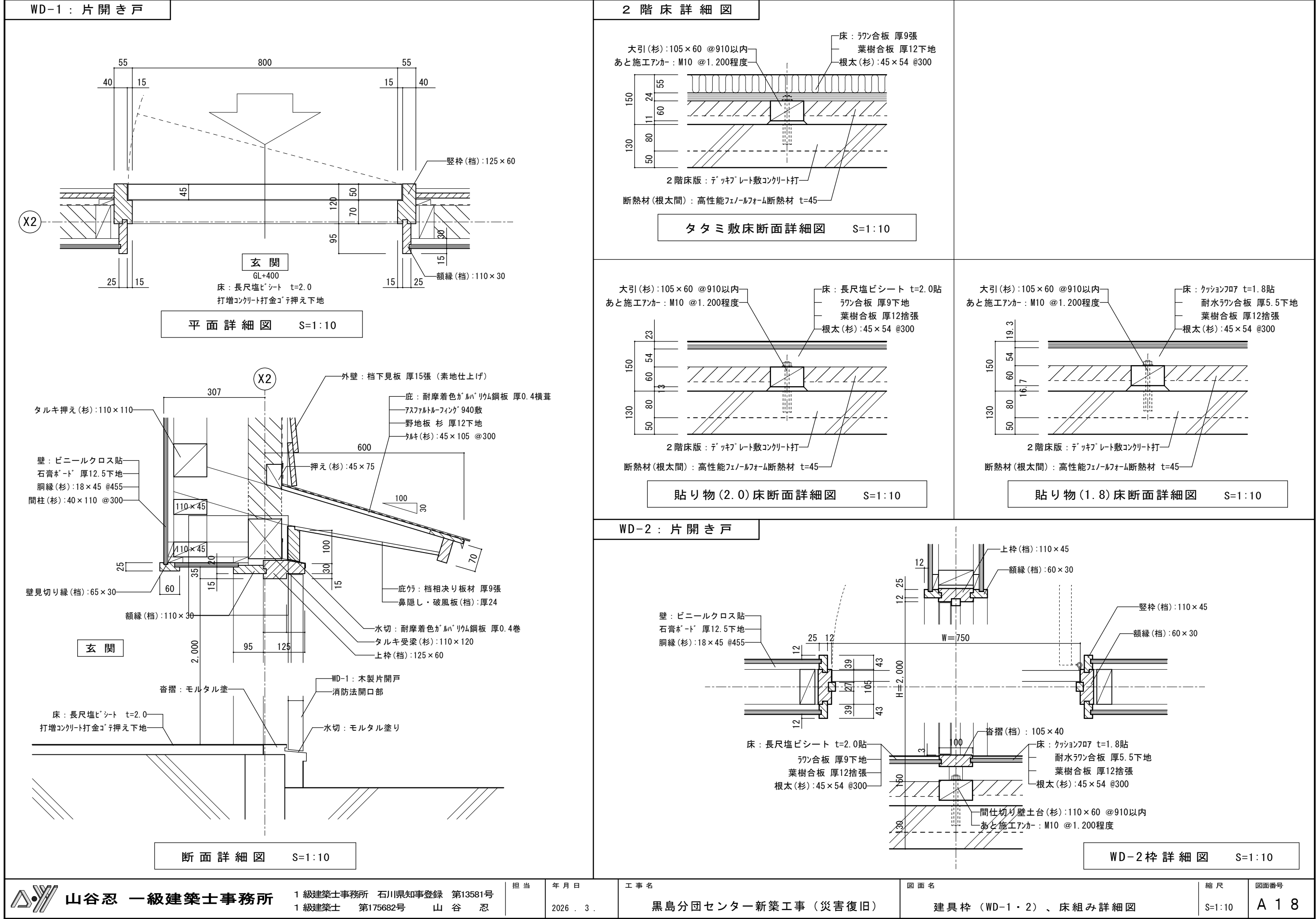


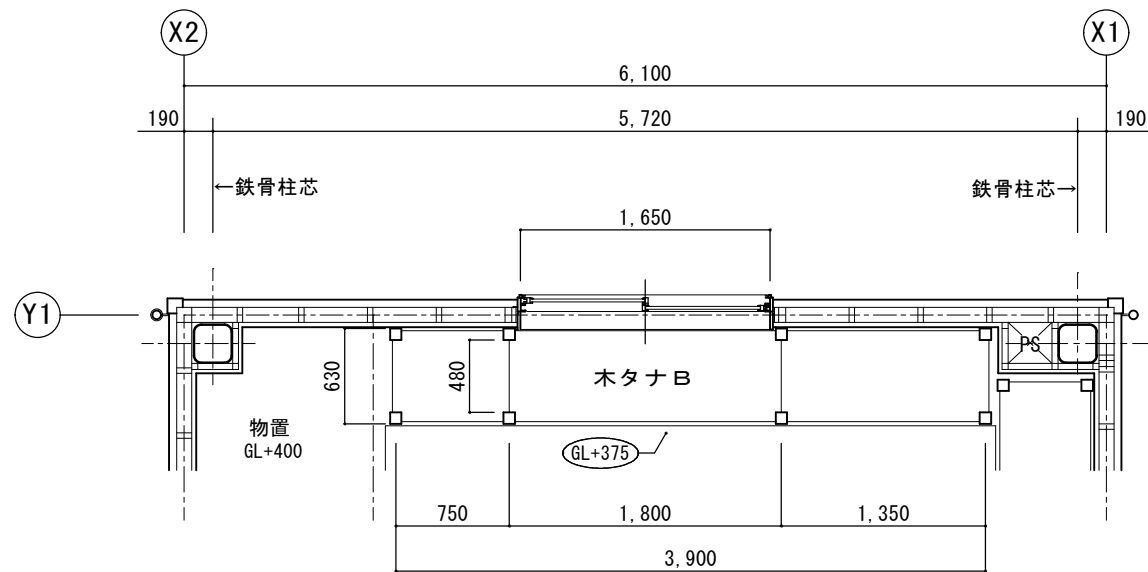
断面図

WW-1 建具図 S=1:50



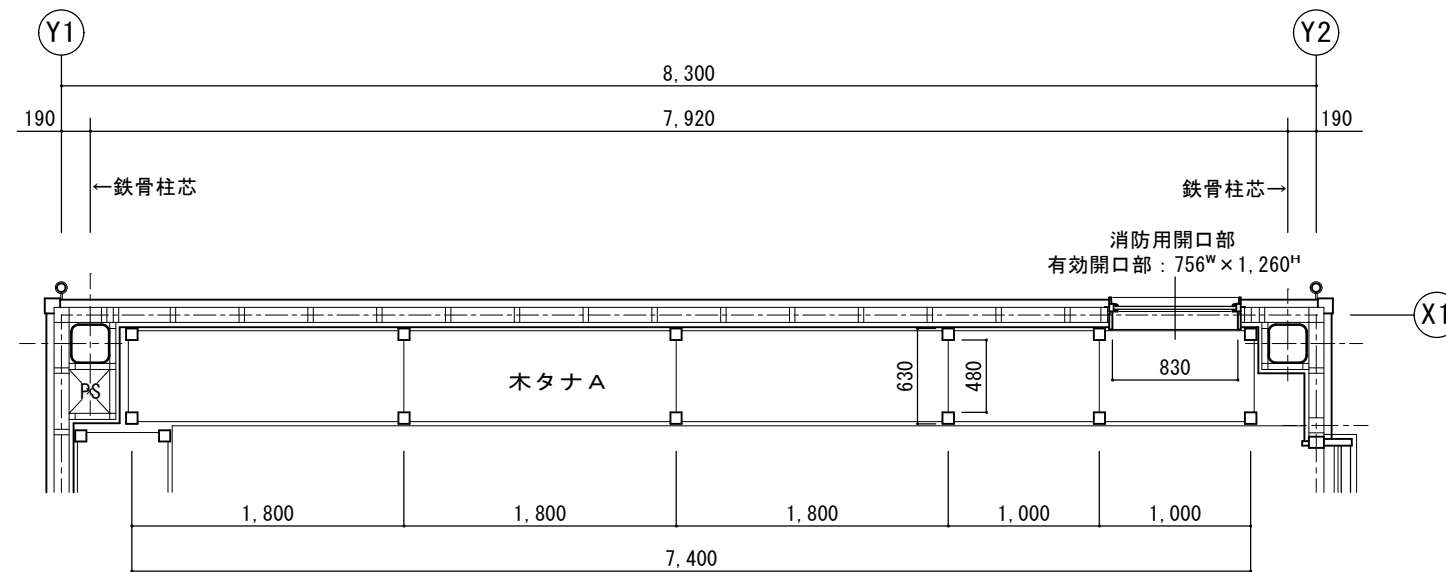
断面詳細図 S=1:10





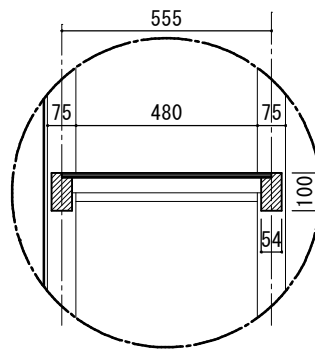
消防車庫 木タナB 平面図 S=1:50

3,980^W × 630^D × 2,700^H



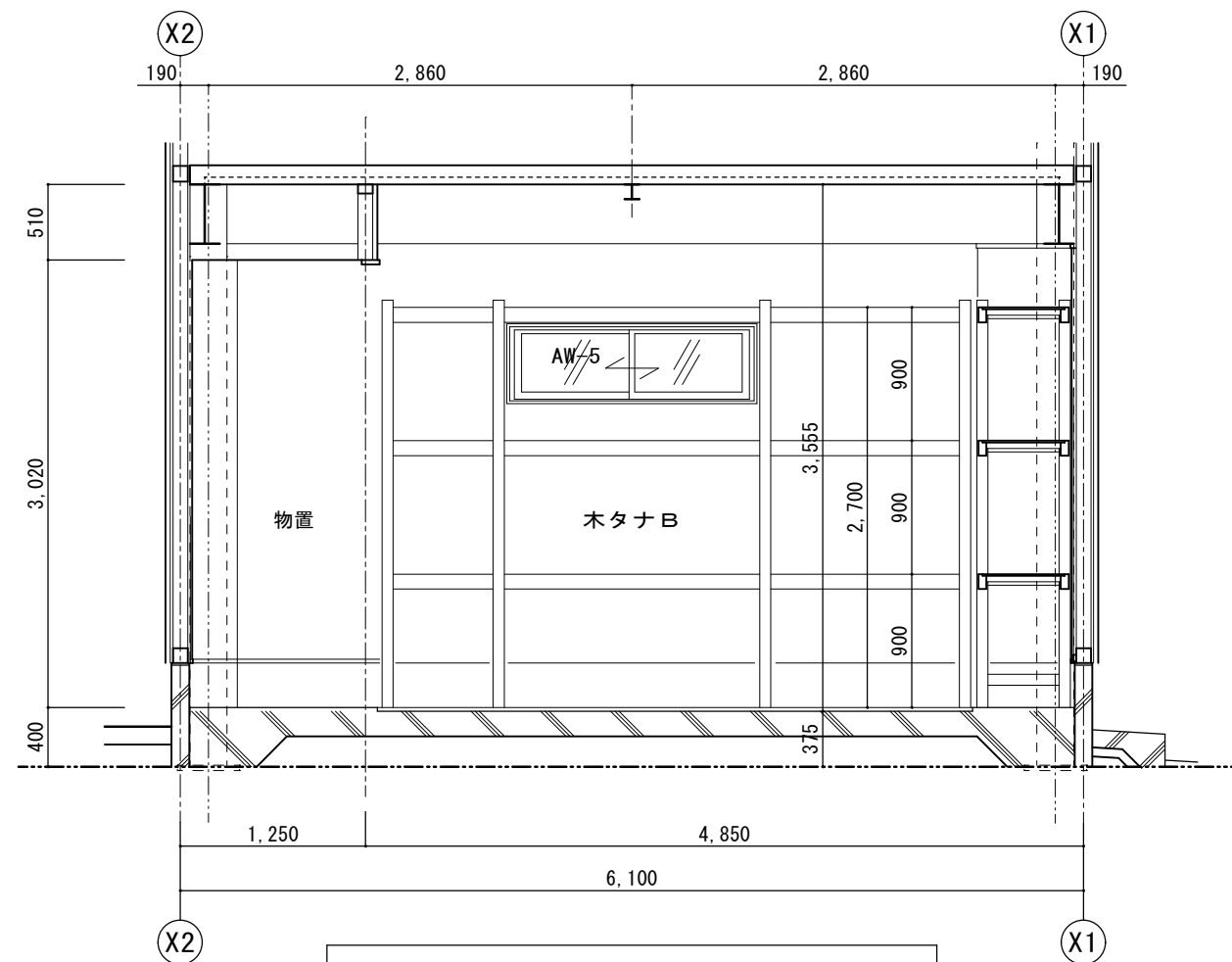
消防車庫 木タナA 平面図 S=1:50

7,480^W × 630^D × 2,700^H

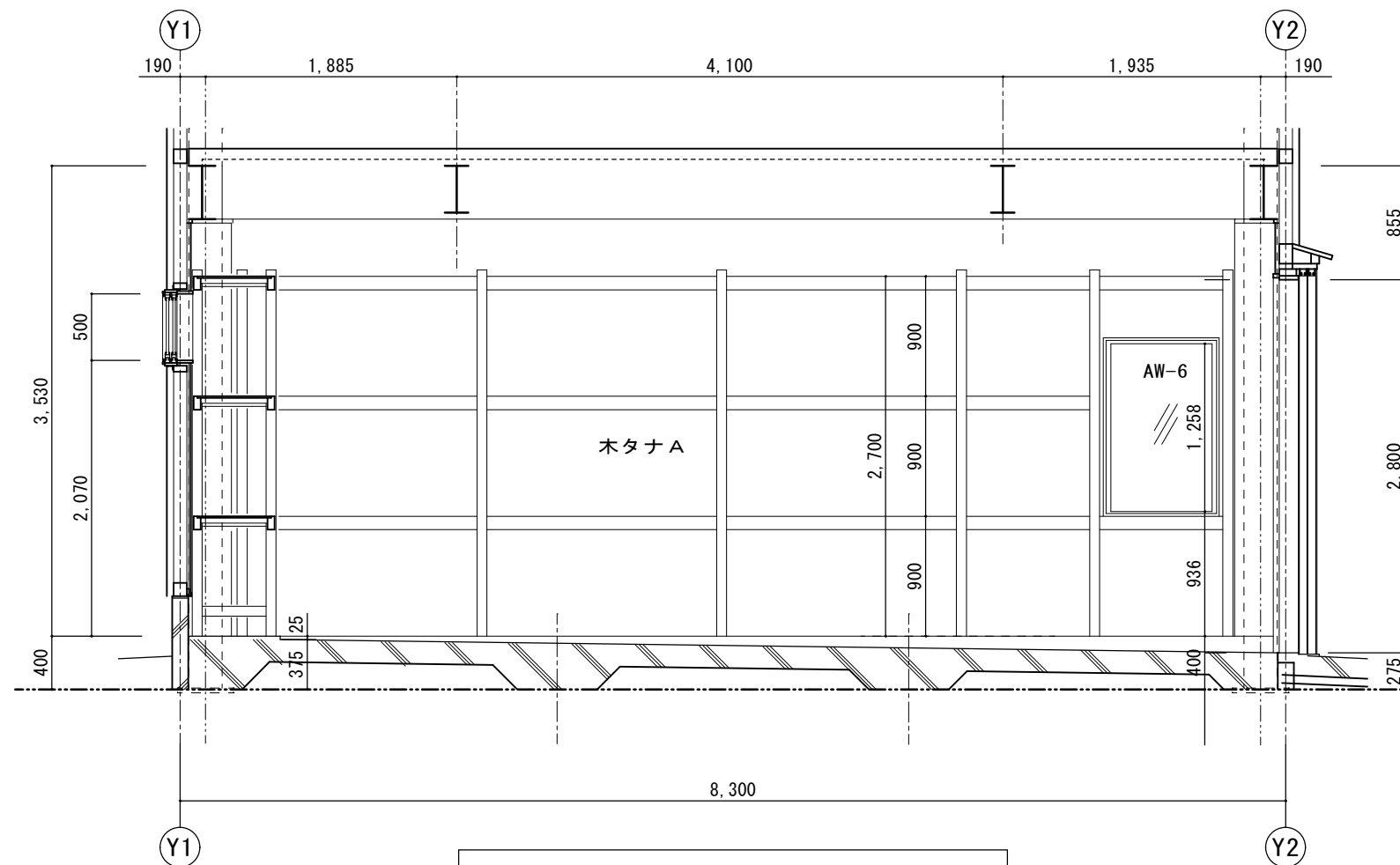


木タナ断面詳細図 S=1:20

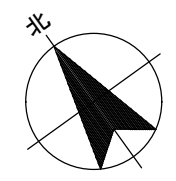
木タナ部材表	
柱: 80 × 80	根太: 45 × 45 @360
桁: 60 × 105	材板: ラワン合板 厚12
ツギ梁: 60 × 75	取付金物: 柱脚部、柱と壁



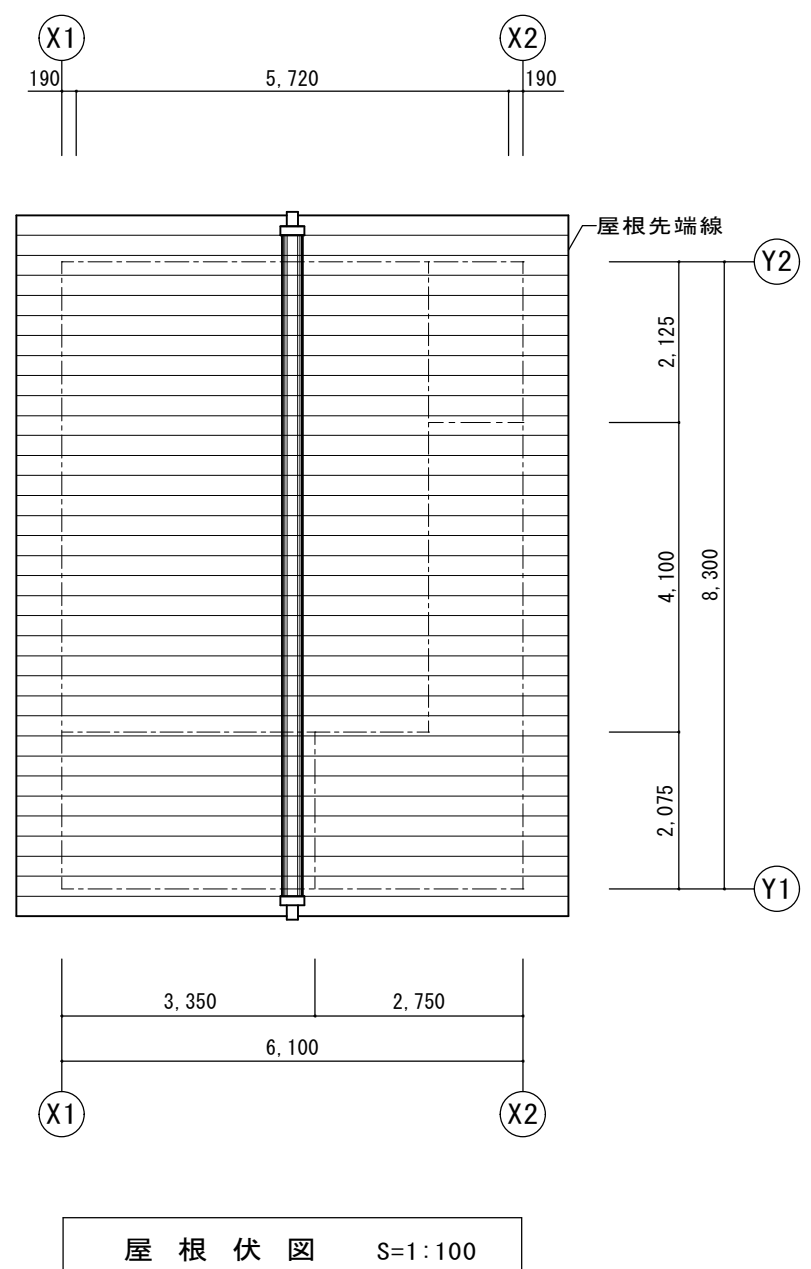
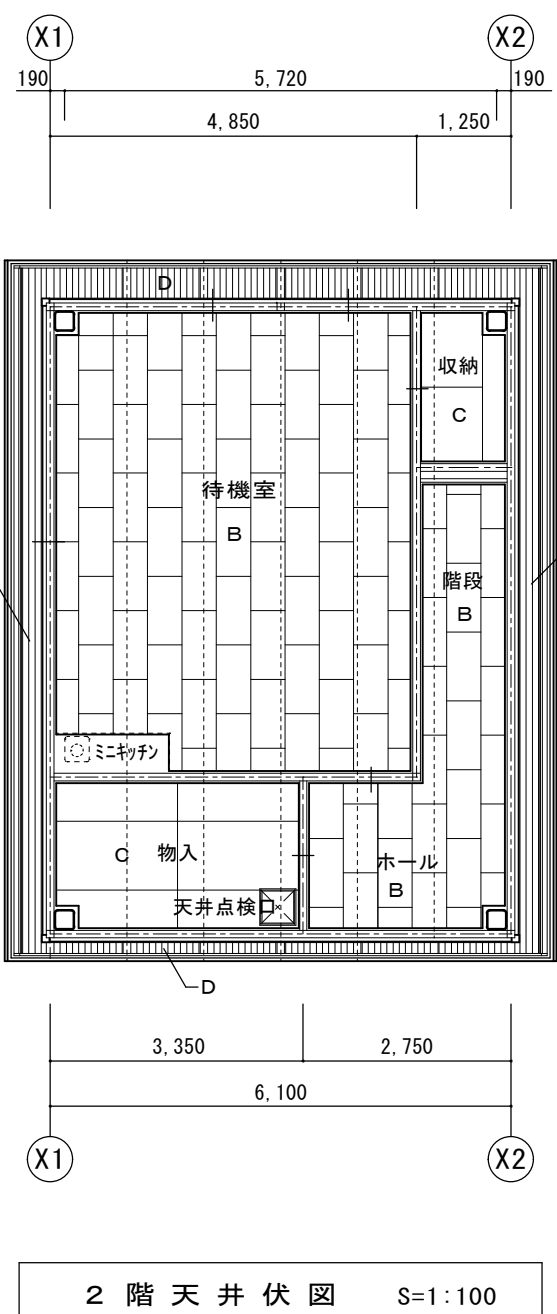
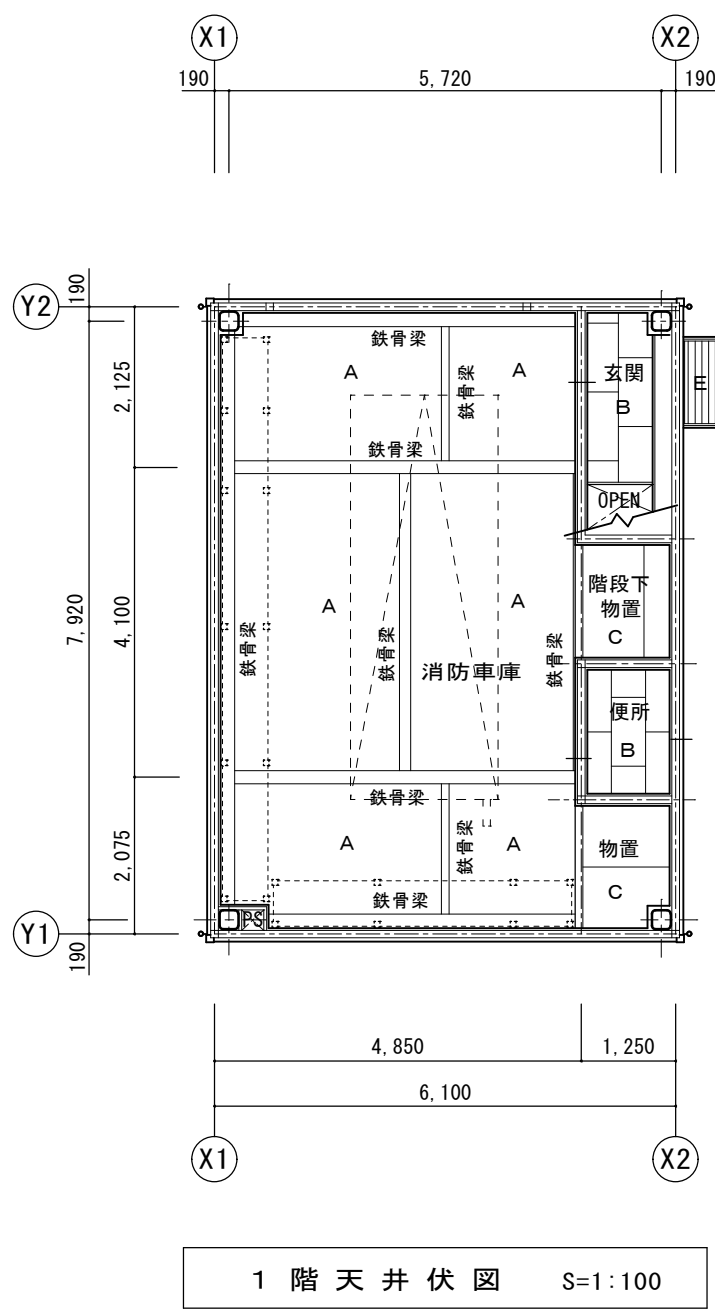
消防車庫 木タナB 姿図 S=1:50

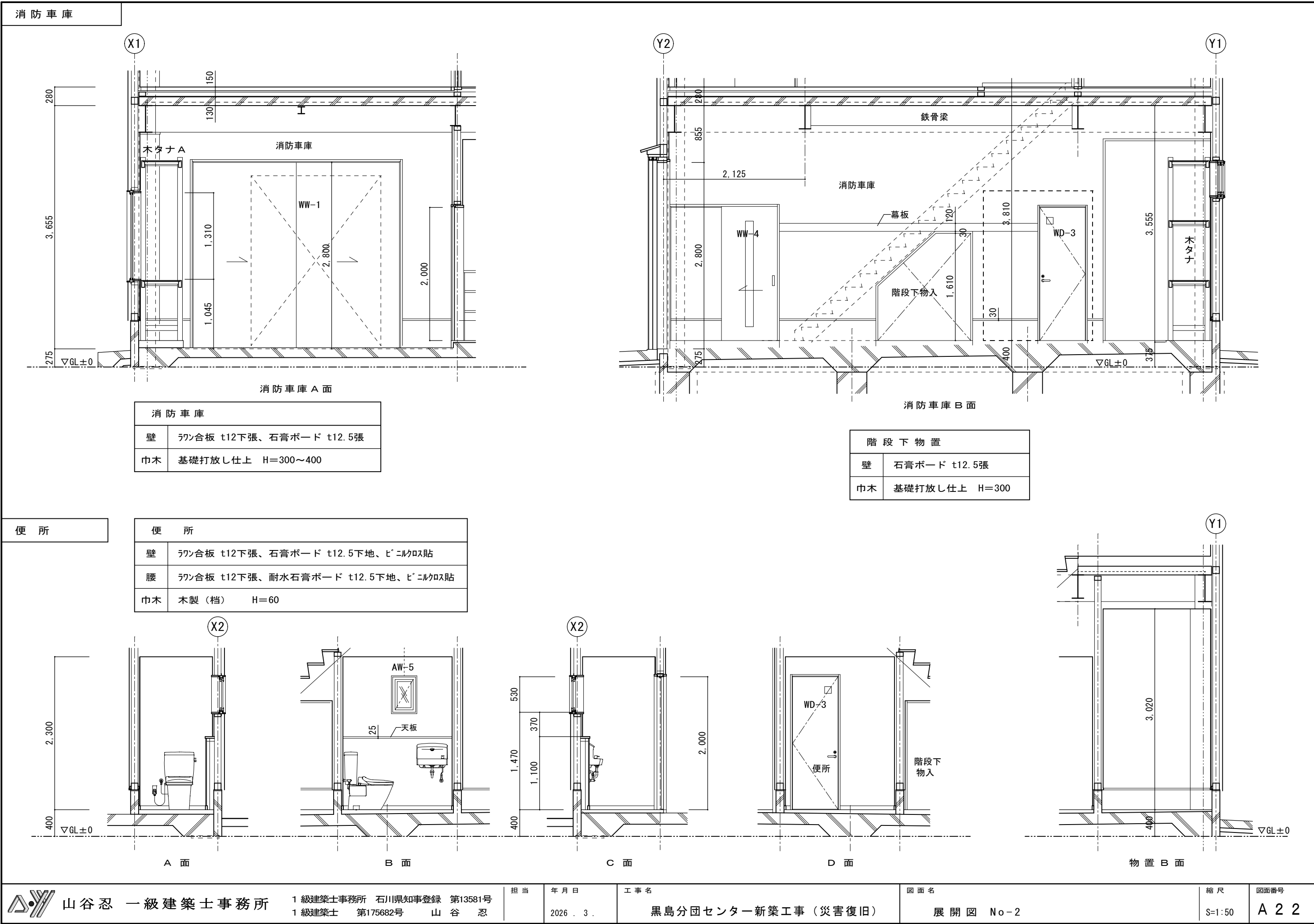


消防車庫 木タナA 姿図 S=1:50

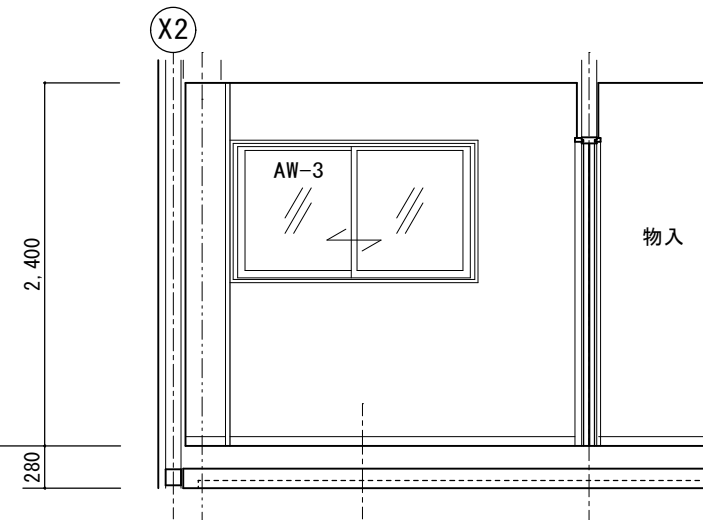


天 井 仕 上 表	
記号	仕 上
A	鉄骨梁 デッキプレート晒し SOP塗装
B	木下地 化粧石膏ボード t=9.5 張
C	木下地 石膏ボード t=9.5 張
D	軒裏：木下地 档相決り板 厚9張
E	庇ろ：档相決り板 厚9張
※ 特記無き廻縁は、塩ビ製とする。	
※ アルミ枠天井点検口 450角	

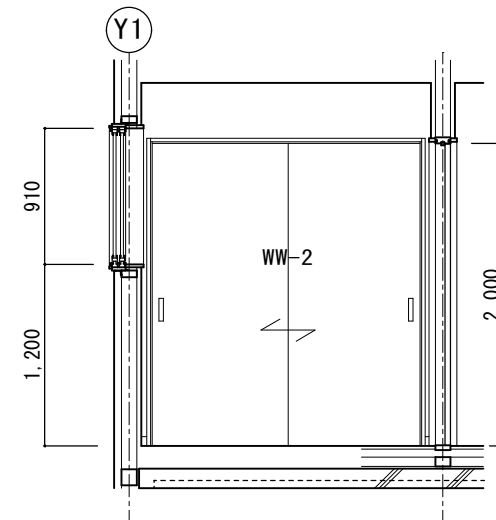




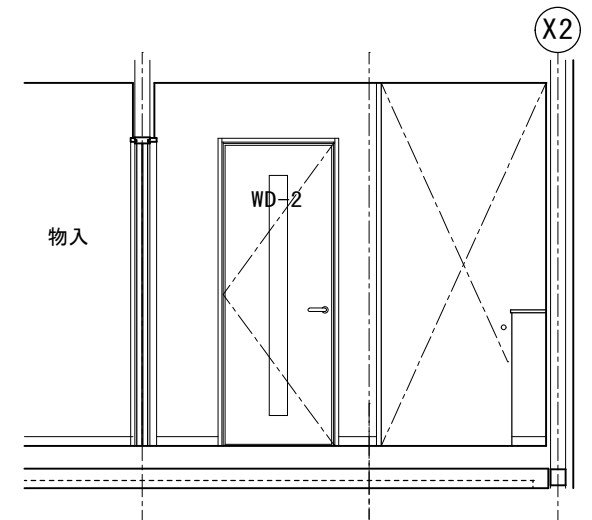
玄関・階段



ホール C 面



ホール D 面

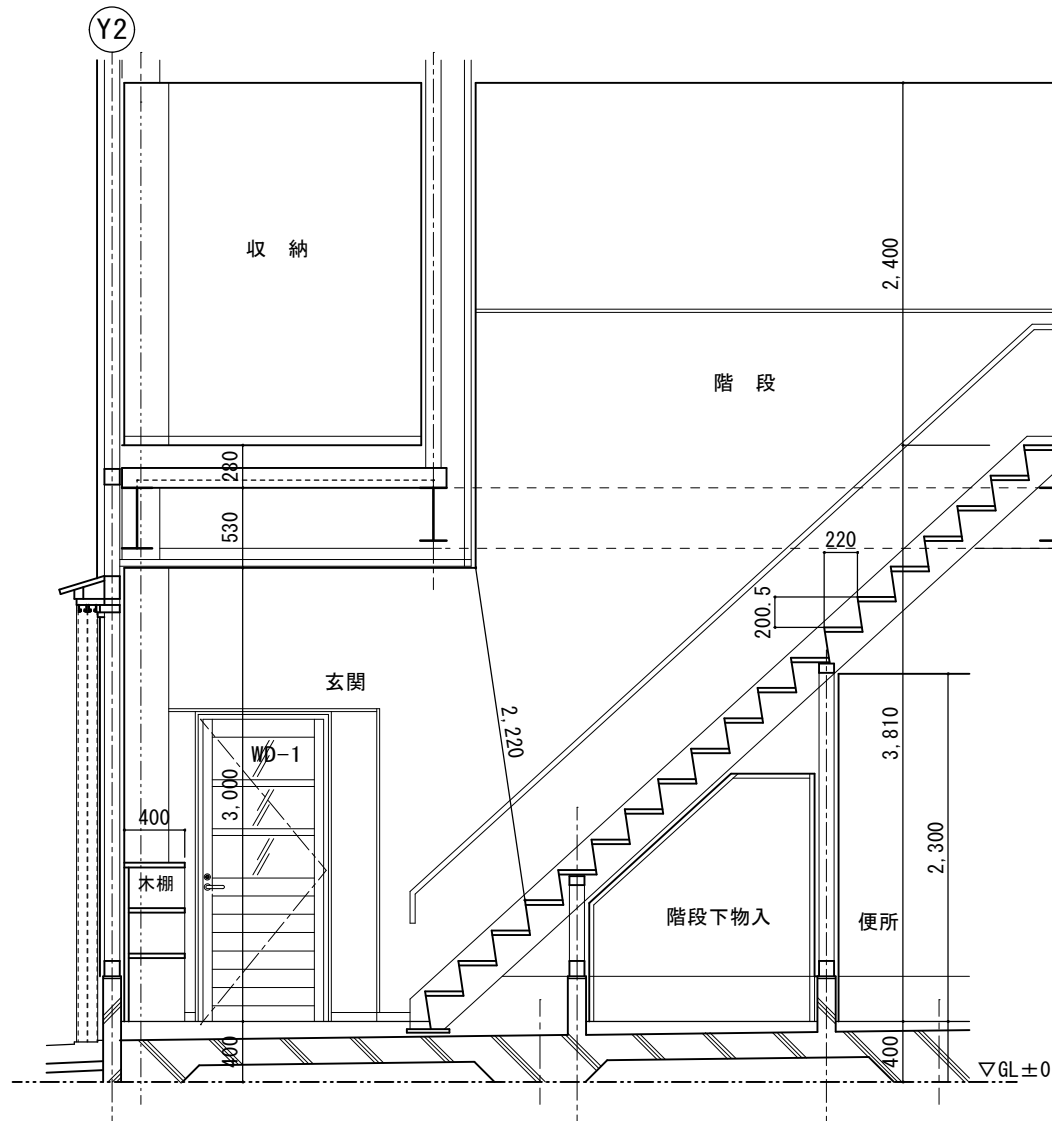


ホール A 面

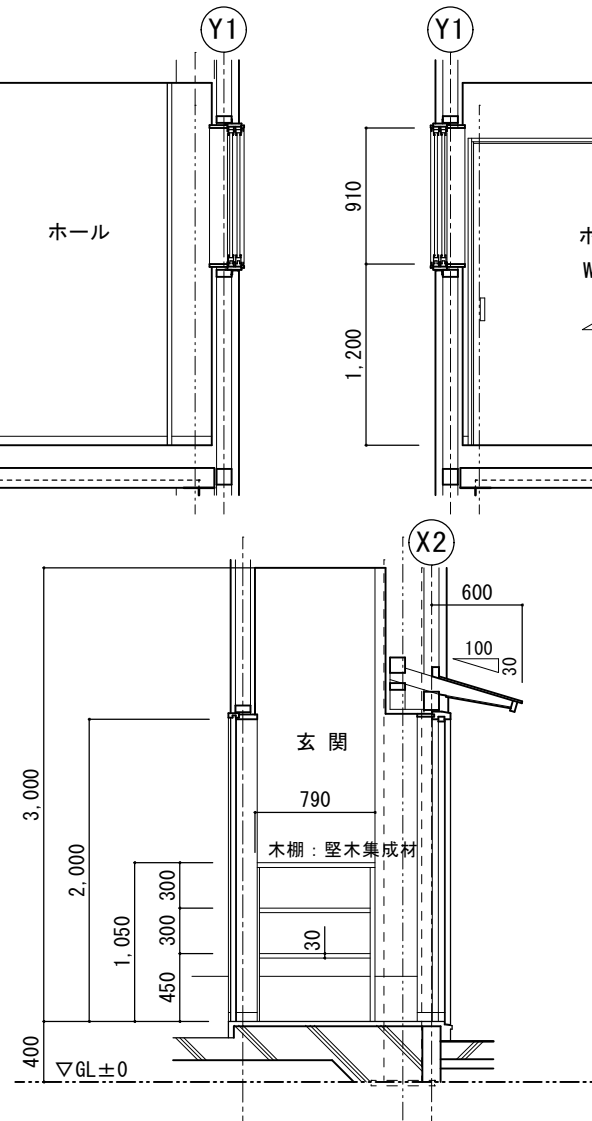
玄 関	
上壁	石膏ボード t12.5下地、ビニルクロス貼
下壁	ラワン合板 t12下張、石膏ボード t12.5下地、ビニルクロス貼
巾木	木製（档） H=60

階 段	
上壁	石膏ボード t12.5下地、ビニルクロス貼
下壁	ラワン合板 t12下張、石膏ボード t12.5下地、ビニルクロス貼
巾木	鉄製側桁 S0P塗り

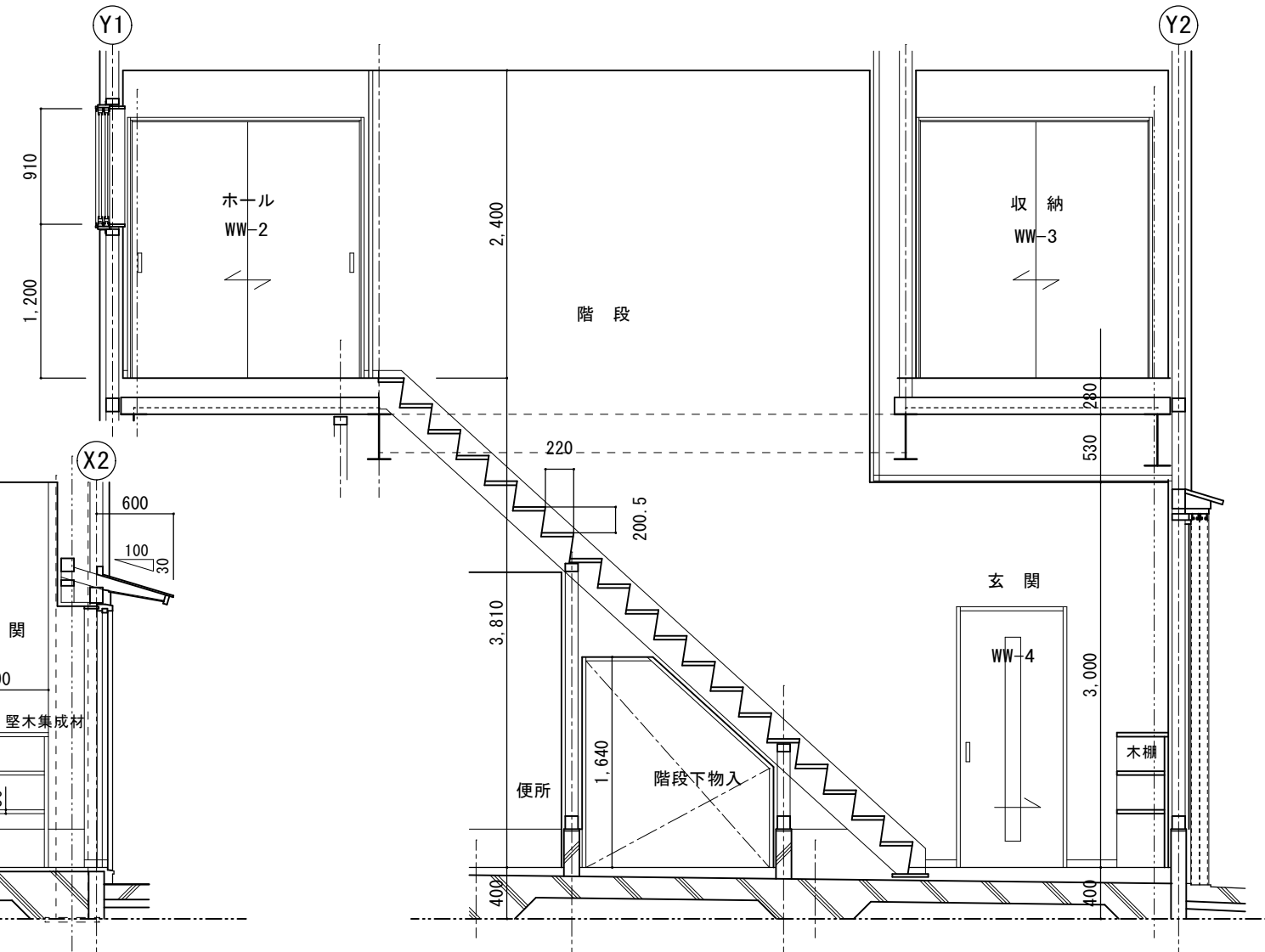
2 階 木 ー ル	
壁	石膏ボード t12.5 下地、t [○] ニルクロス貼
巾木	木製 (档) H=60



B 面



玄関 A 面



D 面

待機室

待機室	
壁	石膏ボード t12.5下地、ビニルクロス貼
巾木	タタミ寄せ 木製（档）
巾木	木製（档） H=60

2階収納	
壁	石膏ボード t12.5張り
巾木	木製（杉） H=60

2階物入	
壁	石膏ボード t12.5張り
巾木	木製（杉） H=60

2 階 収 納	
壁	石膏ボード t12.5張り
巾木	木製（杉） H=60

2 階 物 入	
壁	石膏ボード t12.5張り
巾木	木製（杉） H=60

2 階物入

2,400

280

X1

Y1

WW-3

A 面

B 面

C 面

D 面

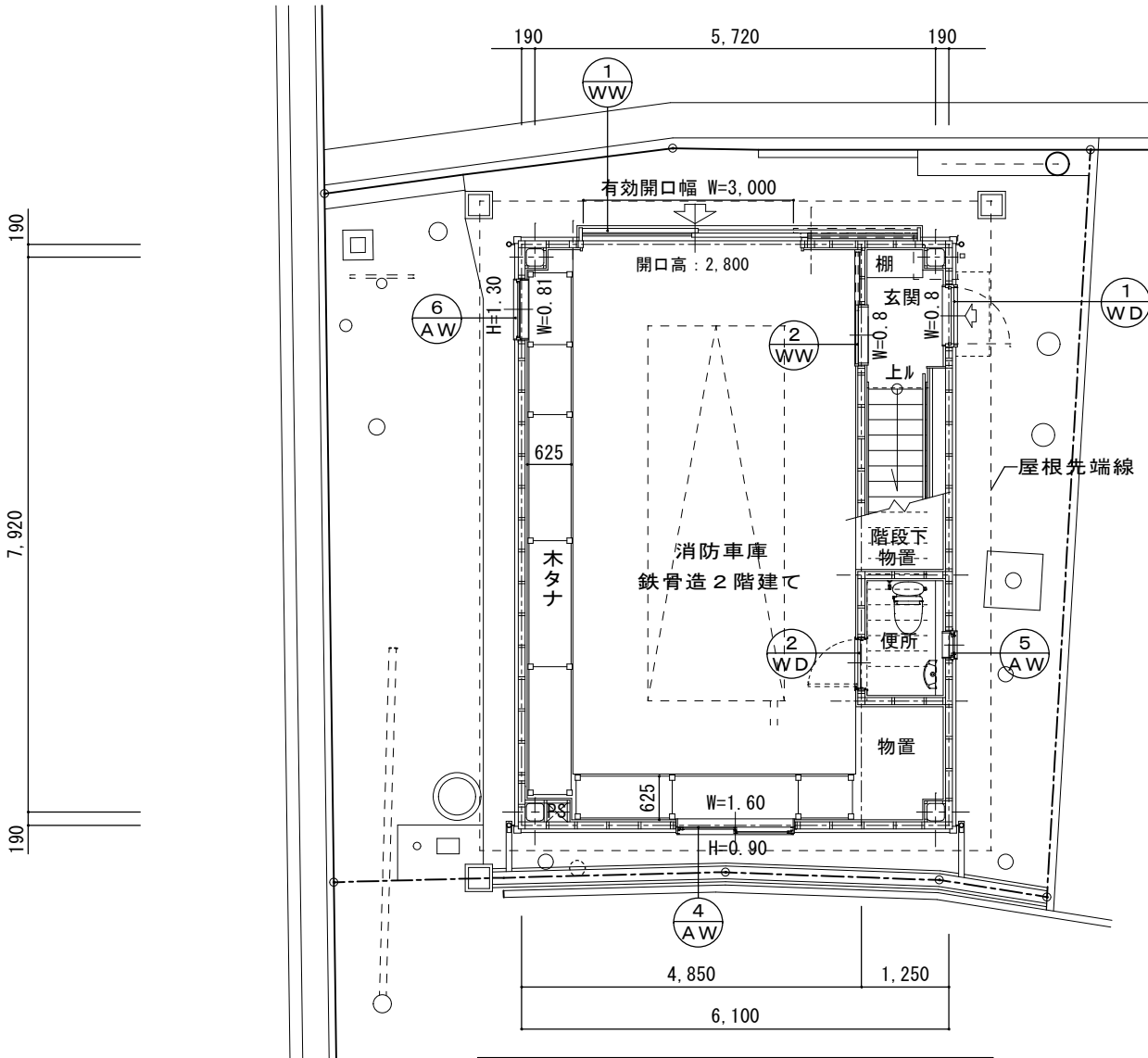
◆ 排煙チェック				
室 名	床面積 m ²	必要排煙面積 (1/50) m ²	有効排煙面積 m ²	判 定
待機室	30.19	0.61	AW-1 : 1/2×1.65×0.5=0.41×2= 0.82	○ K
			AW-2 : 1/2×1.65×0.5=0.41×1= 0.41	
			合計=1.23	

◆ 採光チェック				
室 名	床面積 m ²	必要採光面積 (1/20) m ²	有効採光面積 m ²	判 定
待機室	30.19	1.51	境界線までの水平距離が十分確保出来るので、 採光補正係数は、α=3.0とする	○ K
			AW-1 : 1.65×1.30=2.14×2×3.0=12.84	
			AW-2 : 1.65×1.30=2.14×1×3.0= 6.42	
			合計=19.26	

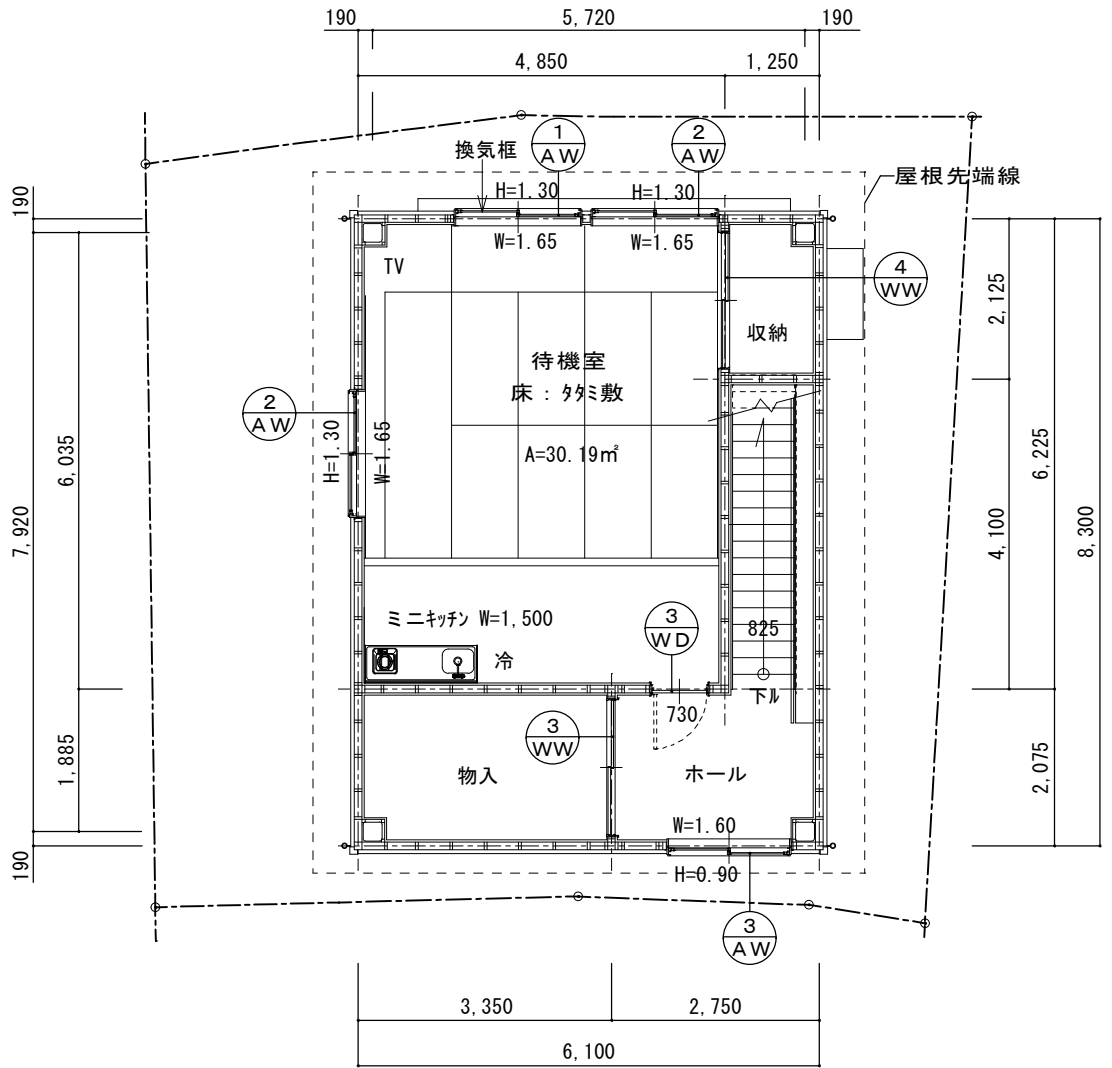
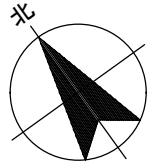
◆ 換気チェック				
室 名	床面積 m ²	必要換気面積 (1/20) m ²	有効換気面積 m ²	判 定
待機室	30.19	1.51	AW-1 : 1/2×1.65×1.3=1.07×2= 2.14	○ K
			AW-2 : 1/2×1.65×1.3=1.07×1= 1.07	
			合計=3.21	

◆ 消防法上の有窓無窓の判定				
1 階床面積 : 50.63 m ²				
必要開口面積 : 50.63m ² × 1/30 = 1.69 m ²				
有効開口面積				
		WD-1	0.80 × 2.0 = 1.60	
		AW-6	0.758 × 1.26 = 0.955	
		計	1.60 + 0.955 = 2.555	2.55 m ² > 1.69 m ²
2 階床面積 : 50.63 m ²				
必要開口面積 : 50.63m ² × 1/30 = 1.69 m ²				
有効開口面積				
		AW-1	1/2×1.65×1.3=1.07×2=2.14	
		AW-2	1/2×1.65×1.3=1.07×1=1.07	
		計	1.07 + 2.14 = 3.21	3.21 m ² > 1.69 m ²

建 具 記 号 凡 例	
記号	記号
AW	樹脂製サッシ
WW	木製引戸
WD	木製開戸



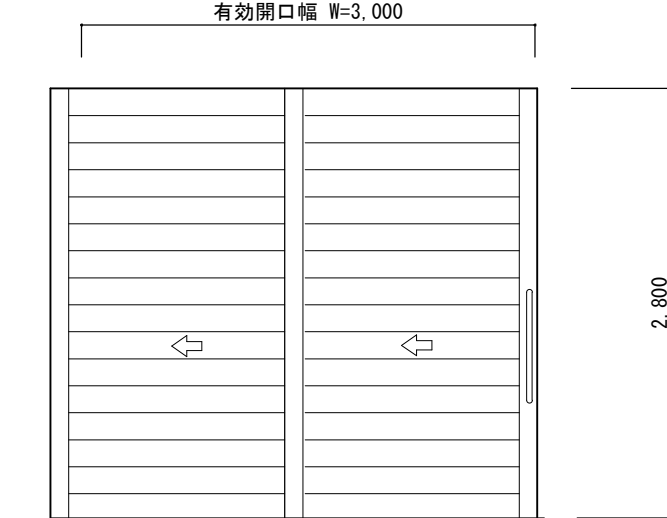
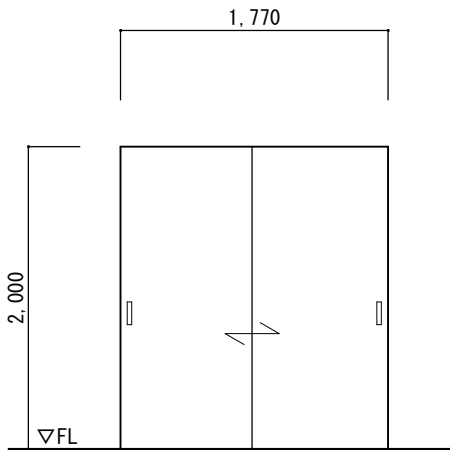
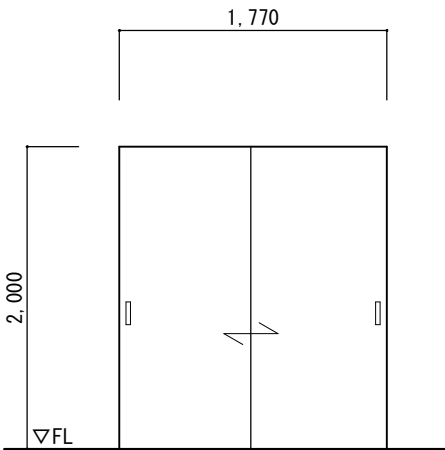
1 階 建 具 配 置 図 S=1:100

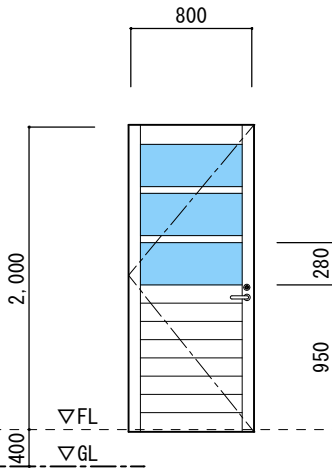
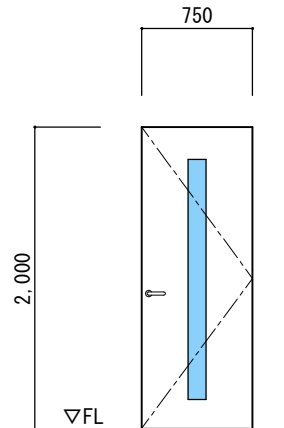
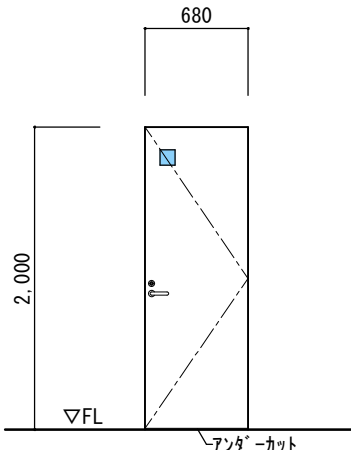
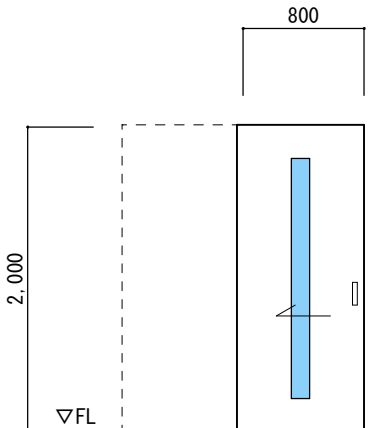


2 階 建 具 配 置 図 S=1:100

符 号 ・ 数 量	A W－ 11ヶ処		A W－ 22ヶ処		A W－ 31ヶ処		A W－ 41ヶ処		A W－ 51ヶ処	
室 名	待機室消防開口用		待機室消防開口用		2階ホール		消防車庫		便 所	
型 式 ・ 見 込	2枚引違窓（換気框付）＜樹脂窓＞	107	2枚引違窓＜樹脂窓＞	107	2枚引違窓＜樹脂窓＞	107	2枚引違窓＜樹脂窓＞	107	すべり出し窓＜樹脂窓＞	92
寸 法	1,690 × 1,370（半外付型）		1,690 × 1,370（半外付型）		1,640 × 970（半外付型）		1,640 × 570（半外付型）		405 × 570（半外付型）	
姿 図										
	避難上又は消火活動上有効な開口部		避難上又は消火活動上有効な開口部							
	Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）		Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）		Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）		Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）		Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）	
	引手、クレセント、補助錠、付属金物一式		引手、クレセント、補助錠、付属金物一式		引手、クレセント、補助錠、付属金物一式		引手、クレセント、補助錠、付属金物一式		グレモンハンドル錠、アームストッパー、付属金物一式	
	網戸、排煙用窓（クレセント H=1,500以下）		網戸、排煙用窓（クレセント H=1,500以下）		網戸		網戸		内開き網戸	

符 号 ・ 数 量	A W－ 61ヶ処							
室 名	消防車庫消防開口用							
型 式 ・ 見 込	はめ殺し窓	92						
寸 法	870 × 1,370（半外付型）							
姿 図								
	避難上又は消火活動上有効な開口部（750×1,250）以上							
	Low-E 複層型ガラス F4K+A15+FL3（樹脂スペーサ、ガス入り）							

符 号 ・ 数 量	WW－ 1			1ヶ処	WW－ 2	1ヶ処		WW－ 3	1ヶ処	
室 名	消防車庫					物 入		待機室_収納		
型 式 ・ 見 込	引込片引き吊り板戸			58	2枚引違フラッシュ戸		30	2枚引違フラッシュ戸		30
寸 法	3,000 × 2,800					1,770 × 2,000		1,770 × 2,000		
姿 図	有効開口幅 W=3,000  外部側 有効開口幅 W=3,000  内部側					1,770  ▽FL		1,770  ▽FL		
材 質	档 素地仕上げ					ポリ合板、面縁：档（4）手あか止め		ポリ合板、面縁：档（4）手あか止め		
金 物	SUSTアハカー：ハンカーレール、リップガイドレール、ヘアリング複車、ガイドローラ、棒ハンドル、クレセント、ストッパー、フランス落し、付属金物一式					引手、M型フラットレール、戸車、付属金物一式		引手、M型フラットレール、戸車、付属金物一式		
備 考										

符 号 ・ 数 量	WD－ 1	1ヶ処	WD－ 2	1ヶ処	WD－ 3	1ヶ処		WW－ 4	1ヶ処
室 名	玄 関		待機室		便 所			玄 関	
型 式 ・ 見 込	片開き板戸	45	片開き額入フラッシュ戸	33	片開きフラッシュ戸 小窓付	33		片引きフラッシュ戸	33
寸 法	800 × 2,000		750 × 2,000		680 × 2,000			800 × 2,000	
姿 図	800  ▽FL ▽GL 400 280 950 避難上又は消火活動上有効な開口部		750  ▽FL		680  ▽FL アンダーカット			800  ▽FL	
材 質	档 素地仕上げ		ポリ合板、面縁：档（4）手あか止め		ポリ合板、面縁：档（4）手あか止め			ポリ合板、面縁：档（4）手あか止め	
ガ ラ ス	Low-E 複層型ガラス F4K+A8+FL3（樹脂スペーサ）		型板ガラス t4		型板ガラス t4			型板ガラス t4	
金 物	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、ピンジョイント、付属金物一式		レバーハンドル、丁番、戸当り		レバーハンドル、丁番、表示錠、SUS沓摺り、戸当り			引手、SUS埋込レール、戸車、付属金物一式	
備 考	キレックス500 框扉対応玉座取替錠（長沢製作所）		付属金物一式		付属金物一式				



山谷忍 一級建築士事務所

1級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号

1級建築士 第175682号 山谷忍

担 当

年 月 日

工 事 名

2026 . 3 .

黒島分団センター新築工事（災害復旧）

図 面 名

縮 尺

図面番号

建 具 表 No-2

S=1:50

A 2 7

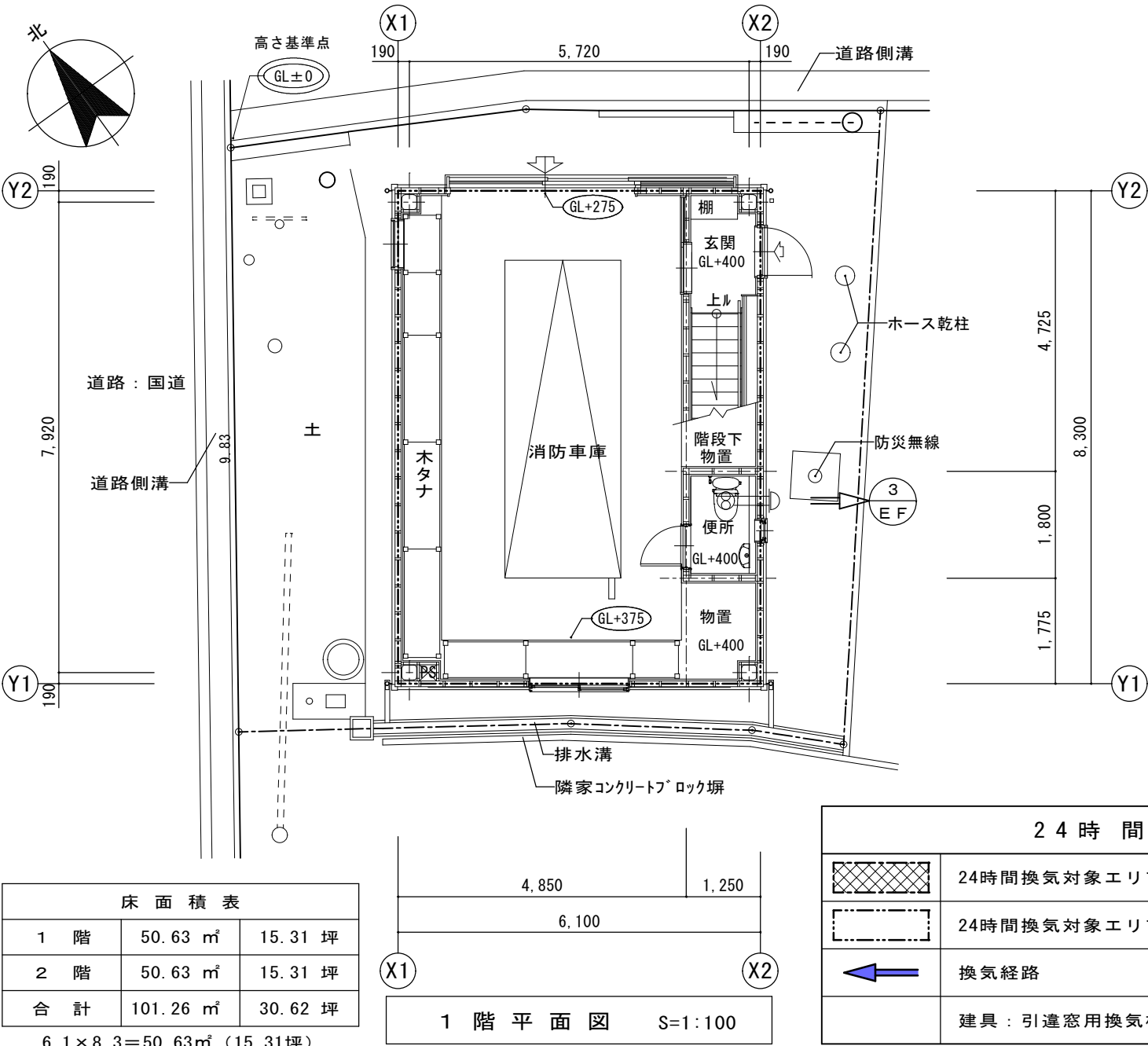
24時間換気 自然給気口仕様			
1. 自然給気口（建具）：1箇所 2枚引違用換気框			
24時間換気機器表			
機器名称	室名	機器仕様	数量
EF-1 （排気機）	待機室	ダクト用換気扇：天井埋込形（24時間換気機付タイプ） 機種：VD-23ZV7（三菱電機）、接続パイプ：150φ 有効換気量：強 480 m³/H、弱 330 m³/H （ハイク長さ 20 m時） 外部フード：ステン製耐風圧タイプ コントロールスイッチ（24時間換気専用） 換気扇スイッチに24時間換気表示をする	1

[10. 建築設備の種類]の別紙

（居室毎の機械換気設備）

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 m³	換気種別	給気機による 給気量（A） m³/h	排気機による 排気量（B） m³/h	換気回数 n
待機室	30.19	2.40	72.46	排気機		330	
				給気口			
合計			72.46			330	4.55

※ 天井裏等の使用材料・内装仕上部分については、
総てシックハウスの規制の対象外の建築材料を使用する。

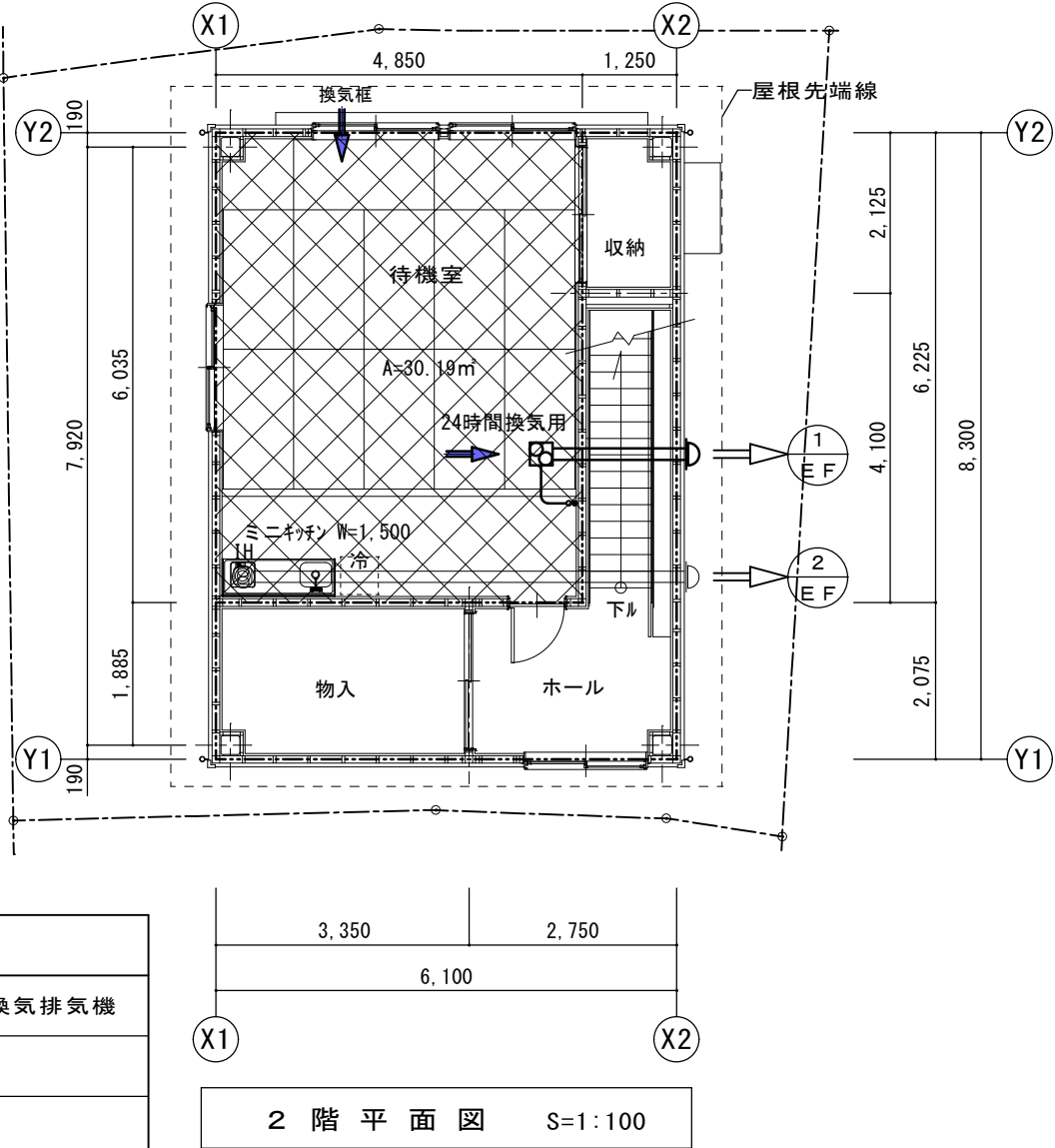


床面積表		
1階	50.63 ㎡	15.31 坪
2階	50.63 ㎡	15.31 坪
合計	101.26 ㎡	30.62 坪

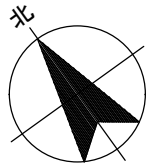
6.1 × 8.3 = 50.63㎡（15.31坪）

1階平面図 S=1:100

24時間換気用凡例			
	24時間換気対象エリア		24時間換気排気機
	24時間換気対象エリア外		排気機
	換気経路		ダクト
	建具：引違窓用換気框		外部フード

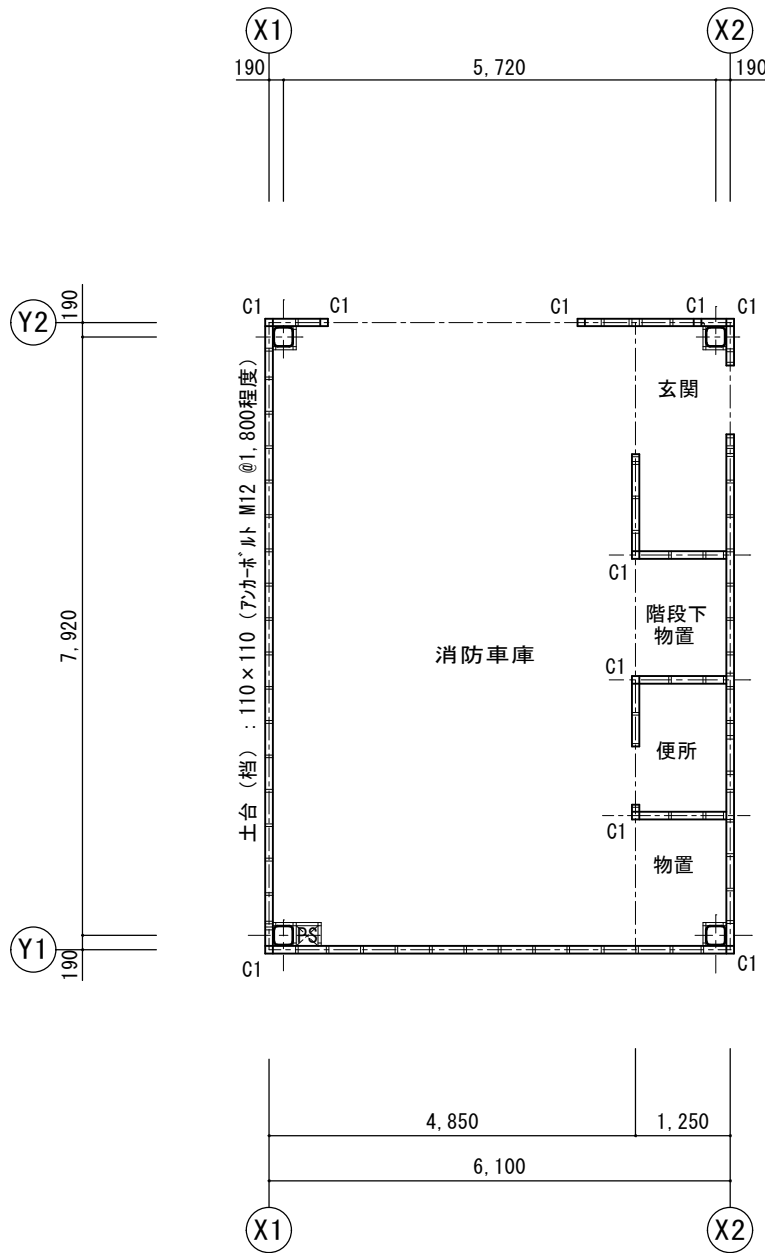


2階平面図 S=1:100



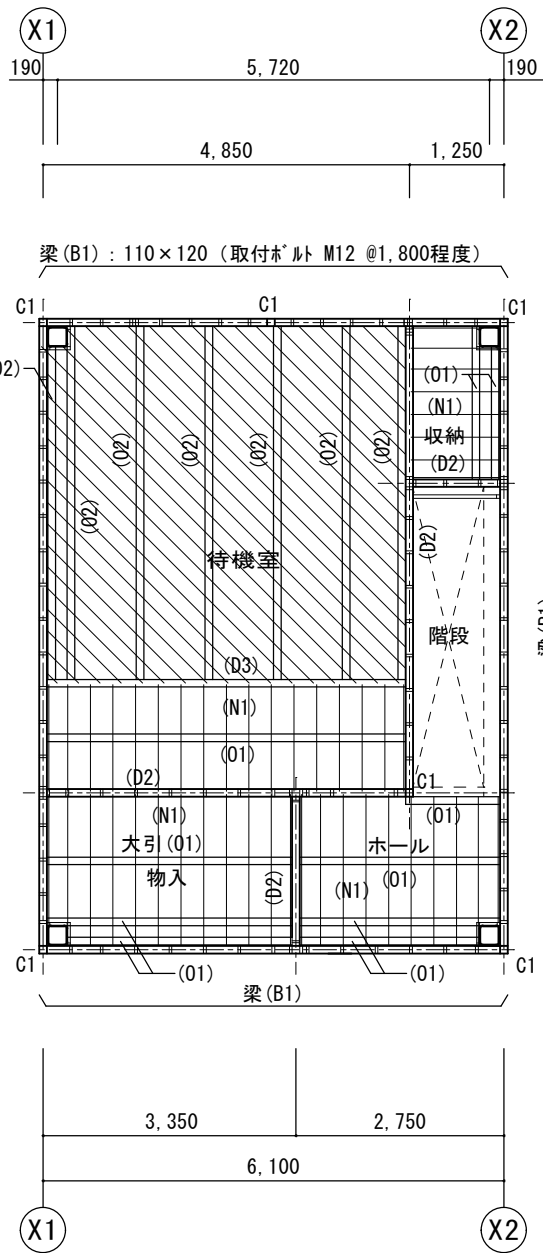
床面積表		
1 階	50.63 m ²	15.31 坪
2 階	50.63 m ²	15.31 坪
合 計	101.26 m ²	30.62 坪

6.1×8.3=50.63m² (15.31坪)



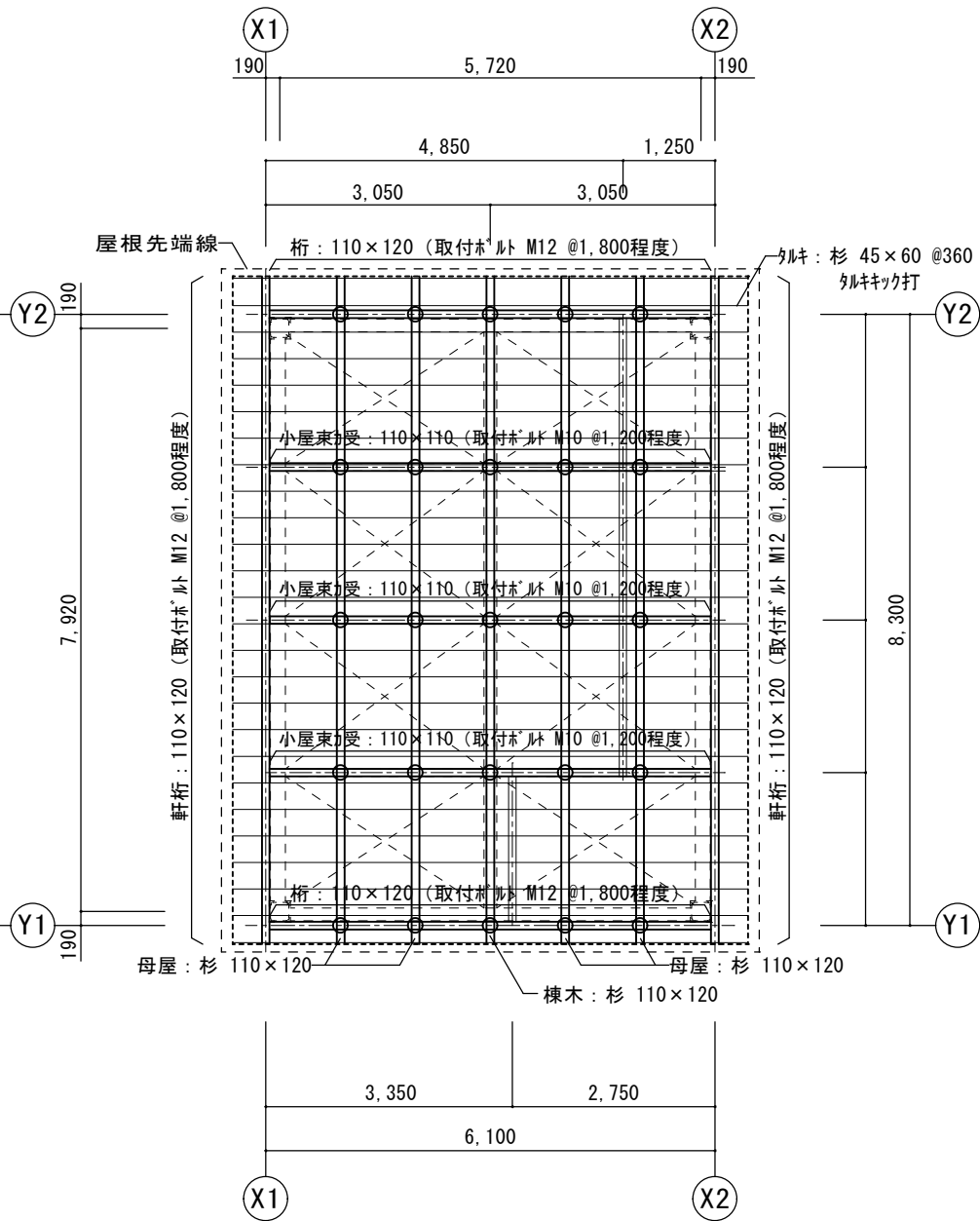
土 台 伏 図 S=1:100

柱(C1:杉):110×110
間柱(杉):110×40 @455程度
窓台・マグサ(杉):110×45



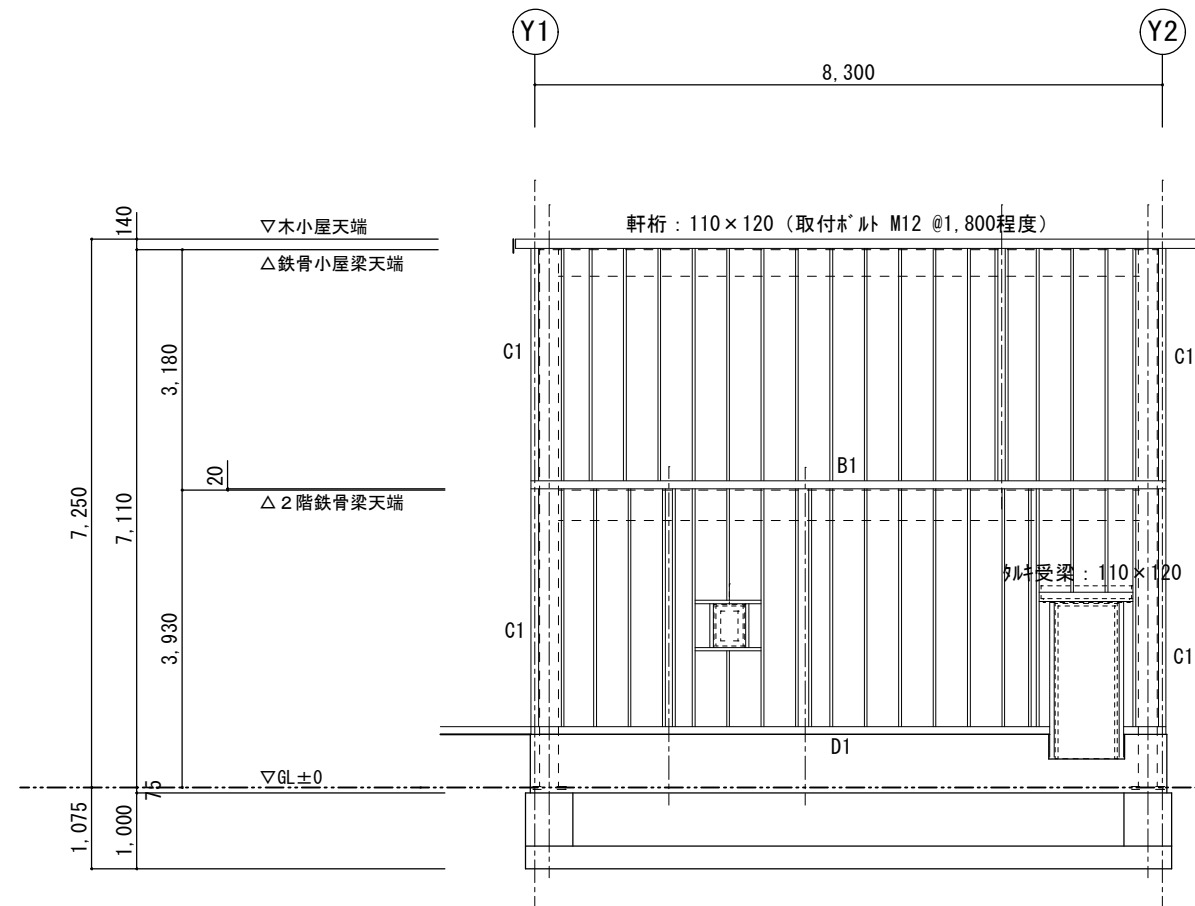
2 階 木 床 伏 図 S=1:100

間仕切壁土台(D2:杉):105×60 (アカホ[®]ルト M10 @1,200程度)
見切縁下土台(D3:杉):105×60 (アカホ[®]ルト M10 @1,200程度)
根太(N1:杉):45×45 @300
斜線下床板:構造用合板 t=24張



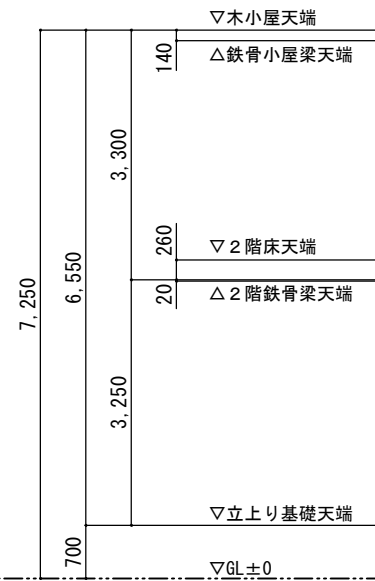
屋 根 梁 伏 図 S=1:100

小屋組み取付け金物:かすがい止め
タルキ:タルキック打ち

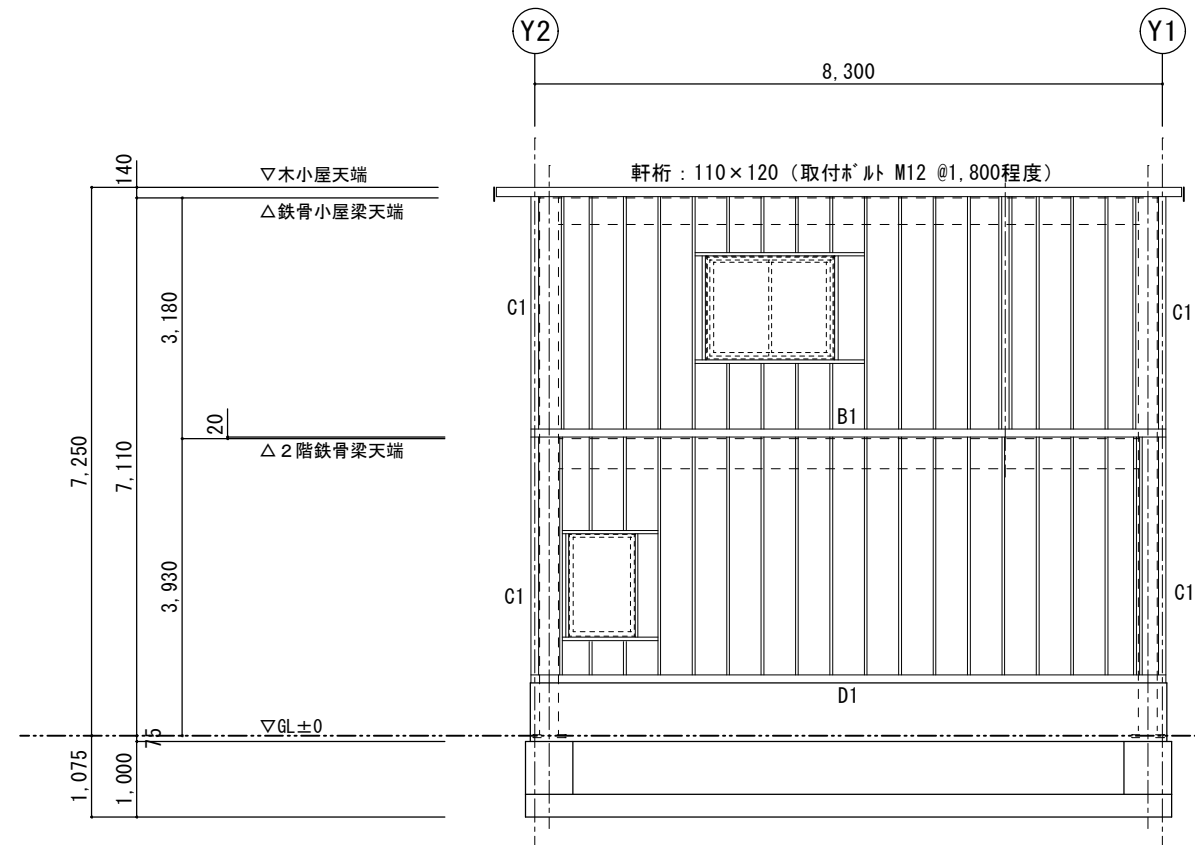


X2 通り軸組図 S=1:100

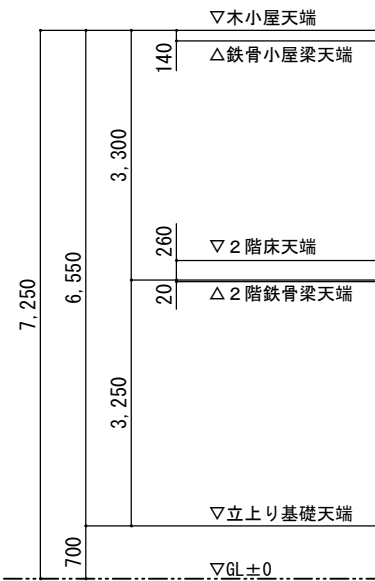
D1: 土台(档): 110×110 (アンカボルト M12 @1,800程度) 防腐剤塗布
梁(B1): 110×120 (取付ボルト M12 @1,800程度)



Y2 通り軸組図 S=1:100



X1 通り軸組図 S=1:100



Y1 通り軸組図 S=1:100



山谷忍 一級建築士事務所

1 級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号
1 級建築士 第175682号 山谷 忍

担当

年月日

2026 . 3 .

工事名

黒島分団センター新築工事 (災害復旧)

図面名

木軸組図

縮尺

S=1:100

図面番号

W 0 2

構造設計標準仕様

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 黒島分団センター新築工事（災害復旧）
- (2) 建築場所 輪島市 門前町 黒島 地内
- (3) 工事種別 ■ 新築 □ 増築 □ 増改築 □ 改築
- (4) 構造種別 □ 木造（W） □ 補強コンクリートブロック造（CB）
■ 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC） □ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）
□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
- (5) 階 数 地下 0階 地上 2階 塔屋 0階
- (6) 主要用途 消防防所 車庫
- (7) 屋上付属物 □ キュービクル □ 室外機等 □ 高架水槽 □ 広告塔 □ 煙突
- (8) 特別な荷重 □ エレベータ □ リフト □ ホイスト □ 受水槽 □ 倉庫荷重
- (9) 付帯工事 □ 門塙 □ 擁壁
- (10) 増築計画 □ 有 ■ 無
- (11) 構造計算ルート (RC造) X方向 - Y方向 -
(鉄骨造) X方向 ルート2 Y方向 ルート2

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

摘要箇所	躯体	種 類	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	品質基準強度 Fq (N/mm ²)	スランプ (cm)
ラップルコンクリート		□ 普通	□ 15	□ 15	□ 15
捨てコンクリート	●	■ 普通	■ 18	■ 18	■ 15
土間コンクリート		□ 普通	□ 21 □ 24	□ 24 □	□ 18
基礎・基礎梁・柱型	●	■ 普通	□ 21 ■ 24	■ 24 □	■ 15
柱・梁・床・壁	●	■ 普通 □ 軽量	□ 21 ■ 24	■ 24 □	■ 15
押さえコンクリート		□ 普通 □ 軽量	□ 18	□ 18	□ 15

- 躯体コンクリート耐久性基準強度：Fd
□ 短期：18N/mm² ■ 標準：24N/mm² □ 長期：30N/mm² □ 超長期：36N/mm²
■ 躯体コンクリート品質基準強度：Fq = Max（Fc，Fd）
■ 躯体コンクリート調合管理強度：Fm = Fq + mSn
※mSn：JASS5-2009 5節 表5.1準拠

(2) コンクリートブロック（CB）

- 種 類 □ A種 □ B種 □ C種
厚 さ □ 100 □ 120 □ 150

(3) 鉄 筋

種 類	径	継手工法
異形鉄筋	■ SD295 D10～D16	■ 重ね継手
	■ SD345 D19～D25	■ ガス圧接継手
	□ SD390 D29以上	□ 特殊継手
普通鉄筋	□ SR235	
溶接金網	□ 6φ@150	

(4) 鉄 骨

摘要箇所	種 類	現場溶接
梁	□ SS490 □ SN490B	□ 有 ■ 無
	■ SS400 □ SN400B	
柱	■ BCR295 □ SS400	□ 有 ■ 無
ダイアフラム	□ SN400B □ SN490B ■ SN490C	
間柱	□ SS400 □ STKR400	
モヤ・胴縁	□ SSC400	
壁・水平ブレス	□ SS400 ■ SNR400B	

(5) ボルト

- 高力ボルト □ F10T ■ S10T □ F8T
□ M12 ■ M16 ■ M20 □ M22 □ M24
□ 中ボルト □ M12 □ M16 □ M20
■ アンカーボルト □ SS400 M12 L=240mm ダブルナット締め
□ SS400 M16 L=400mm ダブルナット締め
□ SS400 M20 L=600mm ダブルナット締め
□ 設計図書による
□ スタッポボルト SS400 φ19 H=100mm@300シングル

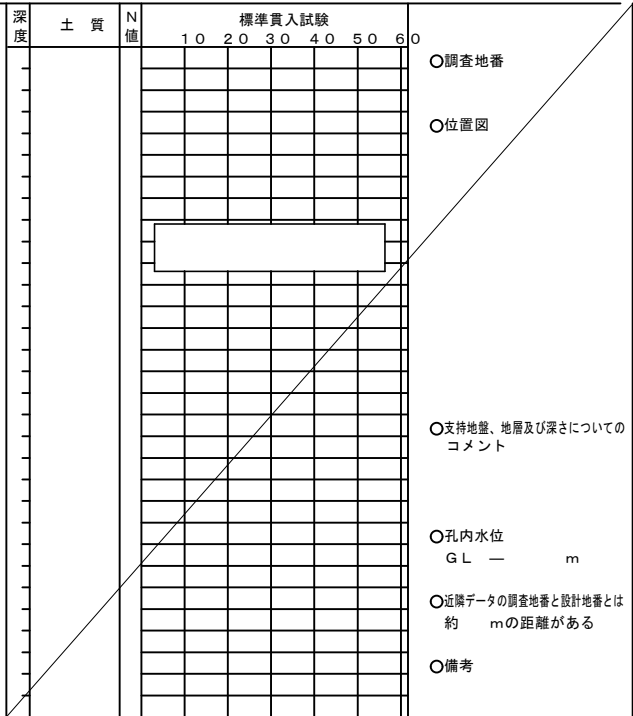
(6) 屋根・床・壁

- ALC版 厚 150
□ 折 板
■ 合成デッキプレート □ QL99 - 50 - 12（コンクリート t=60）
■ QL99 - 50 - 12（コンクリート t=80）
□ 設計図書による

3. 地 盤

(1) 地盤調査資料

- 有（ ■ 敷地内 □ 近隣 ） □ ボーリング調査 □ 平板載荷試験 ■ SWS調査
□ 無（ 調査予定 □ 有 □ 無 ）
- (2) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長・杭種・直接基礎の深さ・形状を変更する場合もある。
- (3) ボーリング標準貫入値・土質構成



4. 地業工事

(1) 直接基礎

- ベタ基礎 □ 布基礎 □ 独立基礎 試験堀 ■ 有 □ 無
深さ GL-1.075m 載荷試験 □ 有 ■ 無

長期許容支持力度 39kN/m²（基礎底）
基礎下柱状改良コラム工法

(2) 杭基礎

杭 種	材 料	施工法
□ RC □ PRC □ PHC □ H鋼 □ 鋼管 □ 摩擦杭	コンクリート Fc = 105 N/mm ² 節付 PHC（A種） PHC（C種）	□
□ 場所打ちコンクリート杭	コンクリート Fc = N/mm ² スランプ cm セメント量 kN/m ² 鉄 筋 主 筋 SD345 HOOP SD295	□ オールケーシング □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ 掘底杭 □ BH □ 深礎 □ 手堀 □ 機械掘

- 杭仕様 □ 施工計画書承認 □ 杭施工結果報告書
試験杭（□ 有 □ 無）

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端深さ（m）	杭セット数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

- コンクリート工事における特記無き事項についてはJASS5による。
- セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- 寒中・暑中・その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合・打込み・養生・管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。
- 測定検査の回数は、通常の場合、一日一回以上とし、一回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
- 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生または、現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
- また打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔を有する3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、一回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
- ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- 高性能AE剤を、柱・梁・壁について使用する。

(2) 鉄 筋

- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
- 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）（2）」による。（壁式鉄筋コンクリート造は除く）
- D16以下は、全て重ね継手とする。継手（D19）以上をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
- ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200ヶ所を超えときは、200ヶ所ごと）に1回行い1回試験は3本以上とする。
- 外観検査 ■ 有 □ 無 引張り試験 □ 有 ■ 無 超音波探傷試験 ■ 有 □ 無
- 柱の帯筋（HOOP）の加工方法は、■ H型（タガ型） □ W型（溶接型） □ S型（スパイラル型）とする。
- コンクリート及び鉄筋の試験は、公的機関又は代行業者で行う。
- 試験機関名
代行業者名
- 代行業者名とは、試験・検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

- 材料 合板厚 12mmを標準とする。
- 型枠置期間

セメントの種類	せき板				支 柱			
	基礎・はり側・柱・壁	スラブ下・はり下	スラブ下	はり下	基礎・はり側・柱・壁	スラブ下・はり下	スラブ下	はり下
早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント
高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種
シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種
コンクリートの種類	2	3	4	6	8	17	28	28
コンクリートの圧縮強度	5 N/mm ²	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%	設計基準強度の50%

- 注) 1. 片持ばり・庇・スパン9m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
- 注) 2. 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
- 注) 3. 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
- 注) 4. 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受け板、角材または、これに代わるものを置く。
- 注) 5. 支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブをおこなう。
- 一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
- 注) 6. 上記以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄 骨 工 事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨工事技術指針」
■ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

- 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書
■ 国土交通大臣による認定工場（大臣認定 グレード登録 R ランク以上）
■ 材料規格証明書または試験成績書
■ 鋼材 ■ 高力ボルト □ 特殊ボルト □ スタッポボルト
■ 社内検査表

(3) 工事監理者に検査報告連絡し指示を受けるもの

- 現寸検査 ■ 組立、開先検査 ■ 製品検査 ■ 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

- 東京都アーク溶接工事管理基準 (建築構造設計指針第12章)
■ 鉄骨造建築物の溶接工事に関する指導指針 (建築構造設計指針第12章)
■ 日本建築学会 「溶接工作基準、同解説」

(5) 溶接及び接合部を検査し工事監理者に報告すること

- 溶接部及び接合部の検査報告

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
■ 突合せ溶接部 □ □	超音波探傷試験	100%個	30%個	%個	
	外観（目視）検査	100%	30%	%	
	マクロ試験、その他	個	個	個	
第三者検査機関名					
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査をおこなうこと。
(※現場溶接が現場で必要になった場合)

- 高力ボルトは「JIS B1186/JSS II 09の高力ボルト」を標準とする。
- 摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態で、すべり係数が0.45以上確保できるものを標準とし目視により検査を行う。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意しておこなう。また、締付けは原則2度締めとする。
- 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
- 錆止めペイントはJIS K5674、2回塗りを標準とする。
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

- 岩綿吹付25t（FP060CN-9460、FP060BM-9408）
□ SKタイカコート（FP060BM-9419）

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
- 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届け出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。



鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
(2) 記号
d-異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D-部材の成 R-直径
e-間隔 r-半径 e-中心線 L_o-部材間の内法距離 h_o-部材間の内法高さ
ST-あばら筋 HOOP-帯筋 S.HOOP-補強帯筋 φ-直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折り曲げの形状

折り曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(*4d以上)	8d以上(*4d以上)

折り曲げ内法寸法Rは、SR235、SR295、SD295、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は4d以上

*片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端

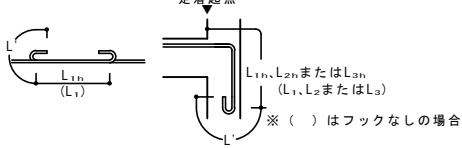
(2) 鉄筋中間部の折り曲げの形状 鉄筋の折り曲げ角度90° 以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235 SD295 SD345	D16(16φ)以下 D19(19φ)以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235 SD295 SD345	D16(16φ)以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	6d以上 8d以上

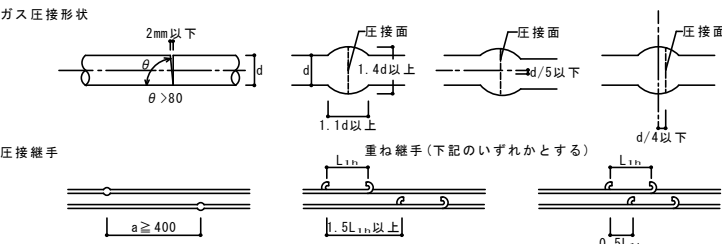
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度:F _c (N/mm ²)	フックなし		フックあり	
		L ₁	L ₂	L ₃	L _{3h}
SD295	18	45d	40d	小梁	スラブ
	21	40d	35d(40d)	20d	10d
	24,27	35d	30d(40d)	150mm	10d
	30,33,36	30d	30d(40d)	10d	10d
SD345	18	50d	40d	20d	10d
	21	45d	35d(40d)	20d	10d
	24,27	40d	35d(40d)	20d	10d
	30,33,36	35d	30d(40d)	20d	10d

- 定着 1. () は、柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さを示す。ただし、軽量コンクリートを除く。
2. L₁、L_{1h}：3. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ。
3. L₂、L_{2h}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ、フックあり定着の長さ。
4. L₃：小梁及びスラブの下端筋の直線定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。なお、片持小梁及び片持スラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
5. L_{3h}：小梁下端筋のフックあり定着の長さ。
6. フックあり定着の場合は、下図に示すようにフック部分L'を含まない。
また、中間部での折曲げは行わない。
7. 軽量コンクリートの場合は、F_c 3.6N/mm²の軽量コンクリートとSD490以外の異形鉄筋を対象に表の値に5dを加えたものとする。



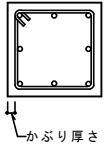
- 継手 1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
4. D35以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない。



(4) かぶり厚さ

(単位:mm)

ひびわれ誘発地目部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

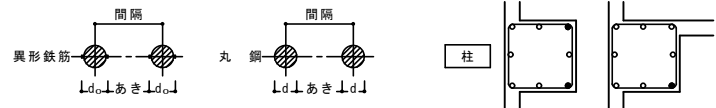


部 位	設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内 屋外
土に接しない部分	柱 はり 耐力壁	屋内 屋外
	擁壁	
土に接する部分	柱、梁、床スラブ、耐力壁	
	基礎、擁壁	

[注](1) (※)部 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(2) ()内は仕上がりがある場合。
改定により標準かぶり厚さは10mm増しの値とする。

(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



(6) 鉄筋のフック

- (a-f)に示す鉄筋の末端部にフックをつける。
a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

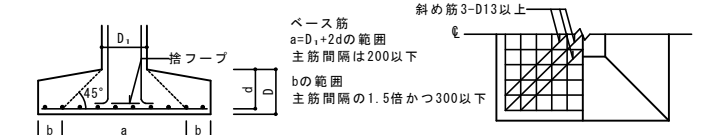
3. 杭 地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること

(1) PC杭、またはPHC杭の全てに補強を行う。

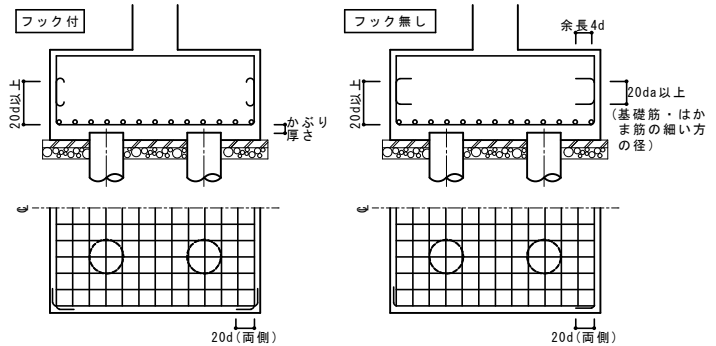
所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D13	10-D16
HOOP	D10-#150		D10-#150		

4. 基礎

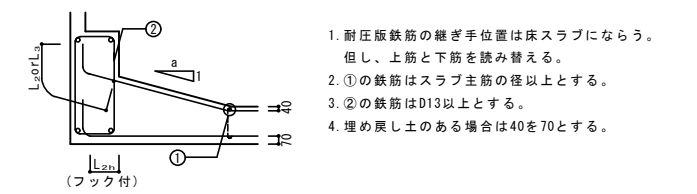
(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

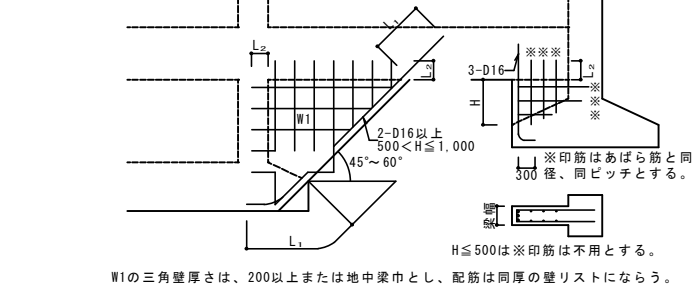


(3) べた基礎



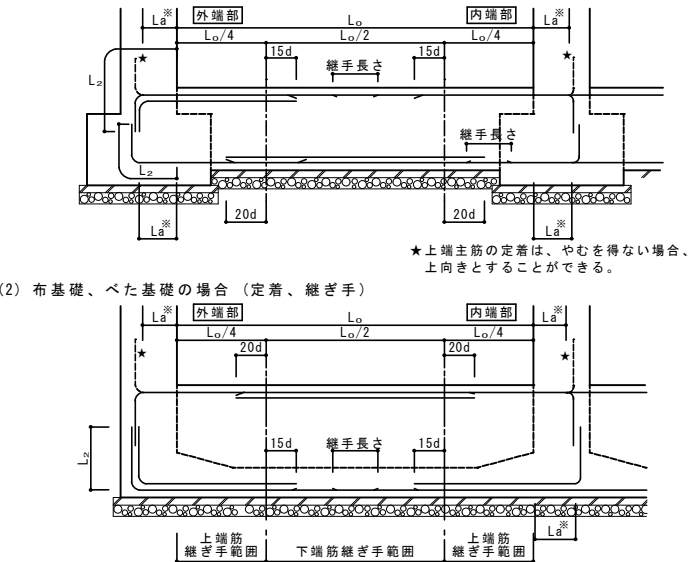
- 耐圧版鉄筋の継ぎ手位置は床スラブにならう。但し、上筋と下筋を読み替える。
- ①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
- ②の鉄筋はD13以上とする。
- 埋め戻し土のある場合は40を70とする。

(4) 基礎接合部の補強

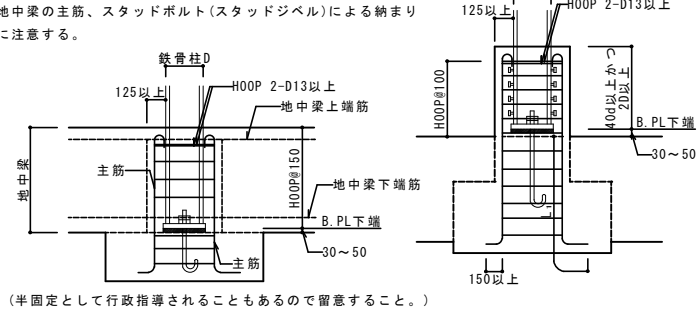


5. 地中梁

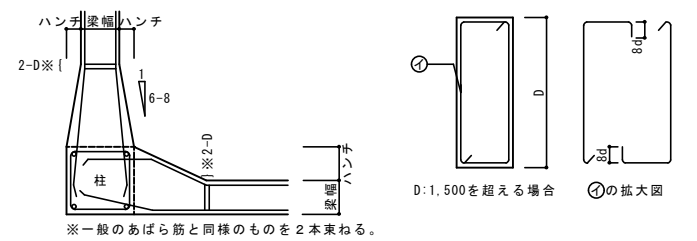
- (1) 独立基礎、杭基礎で基礎梁にスラブが付く場合(定着、継ぎ手)
(2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継ぎ手)



(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

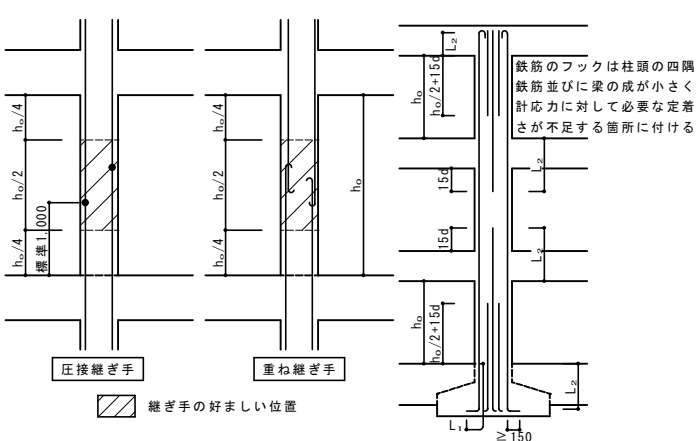


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領 (5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

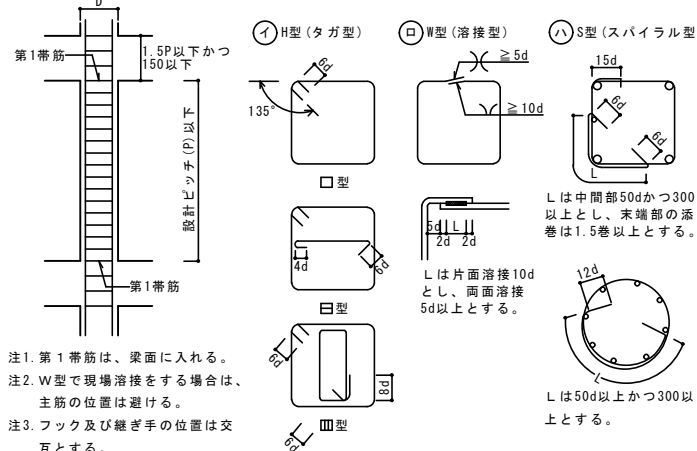


6. 柱

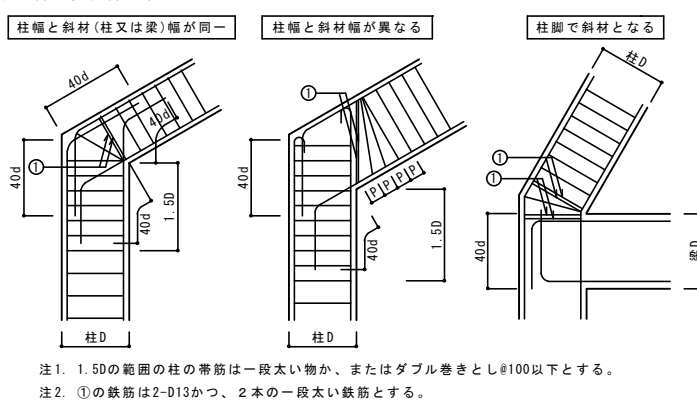
(1) 柱主筋の継ぎ手 (2) 柱主筋の定着



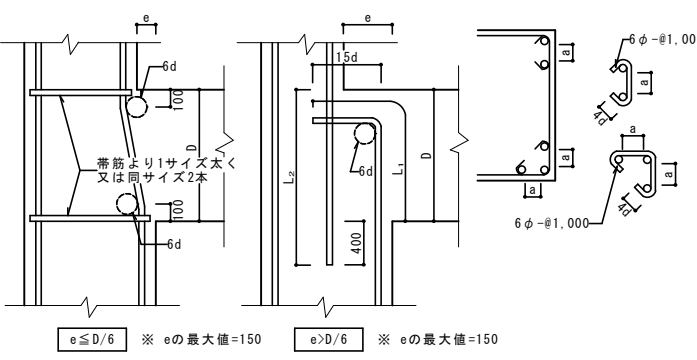
(3) 帯筋



(4) 斜め柱、斜め梁



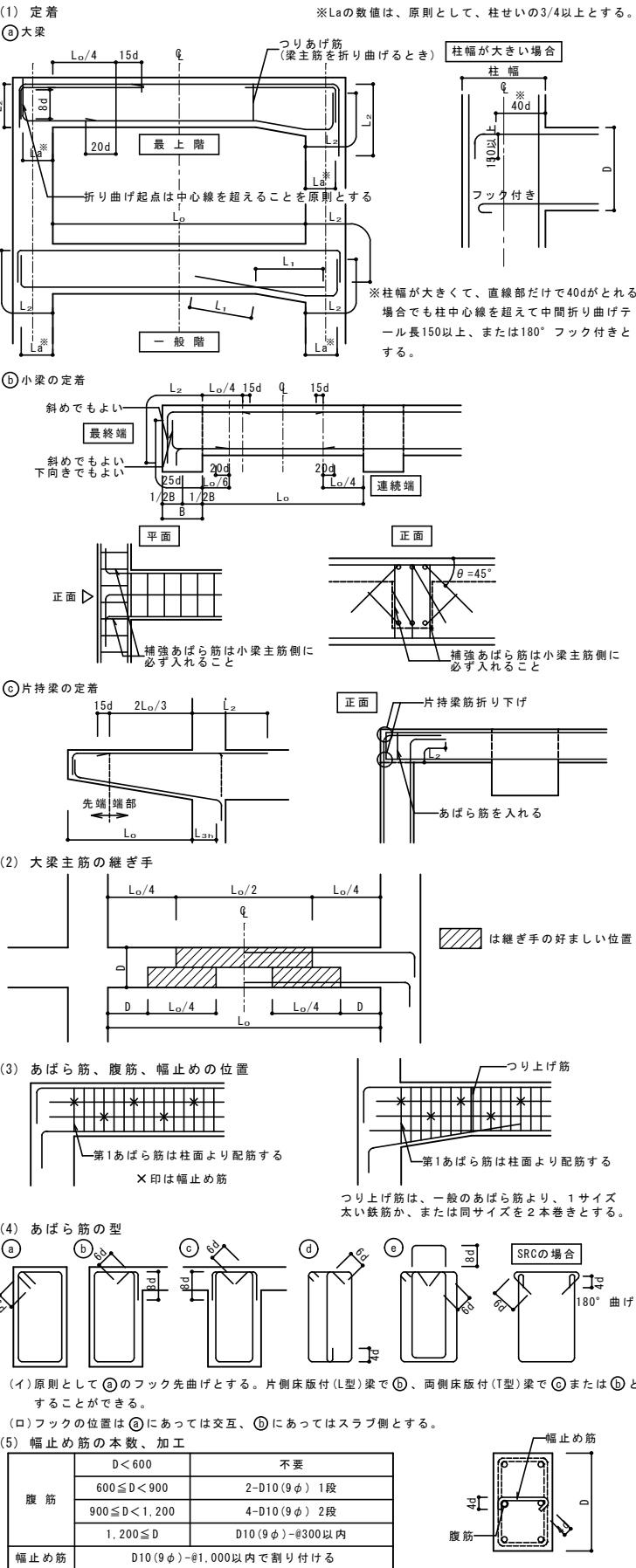
(5) 絞り



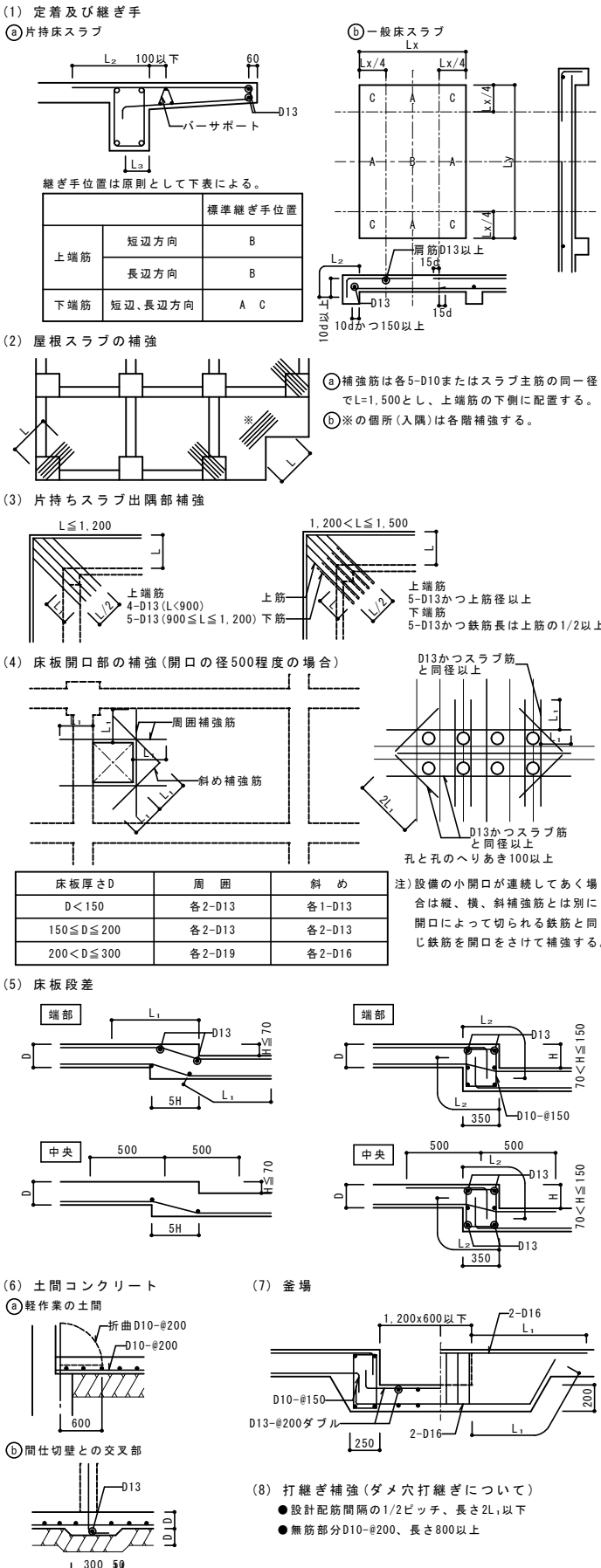
鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

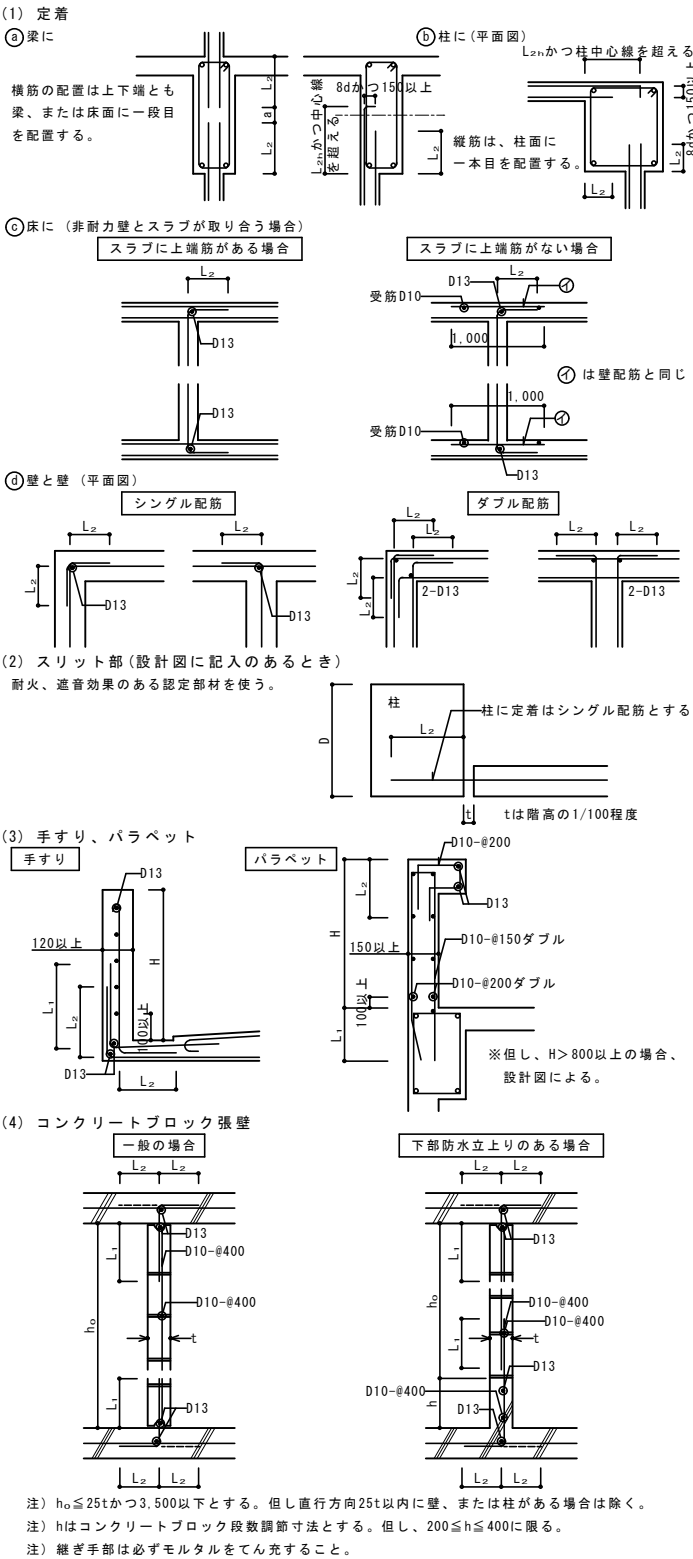
7. 大梁、小梁、片持梁



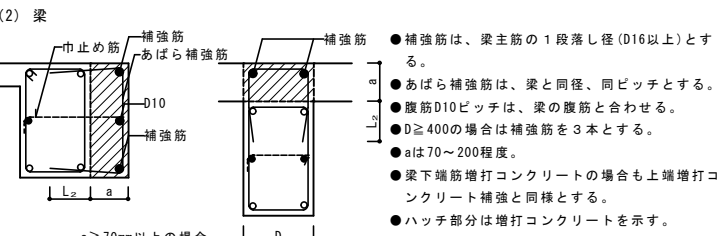
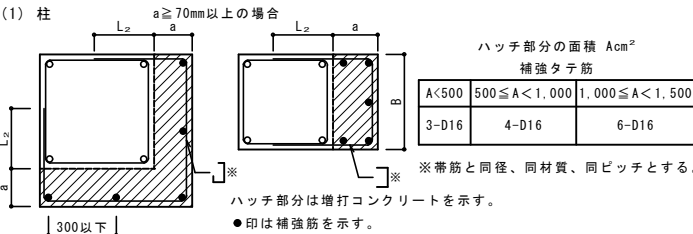
8. 床版



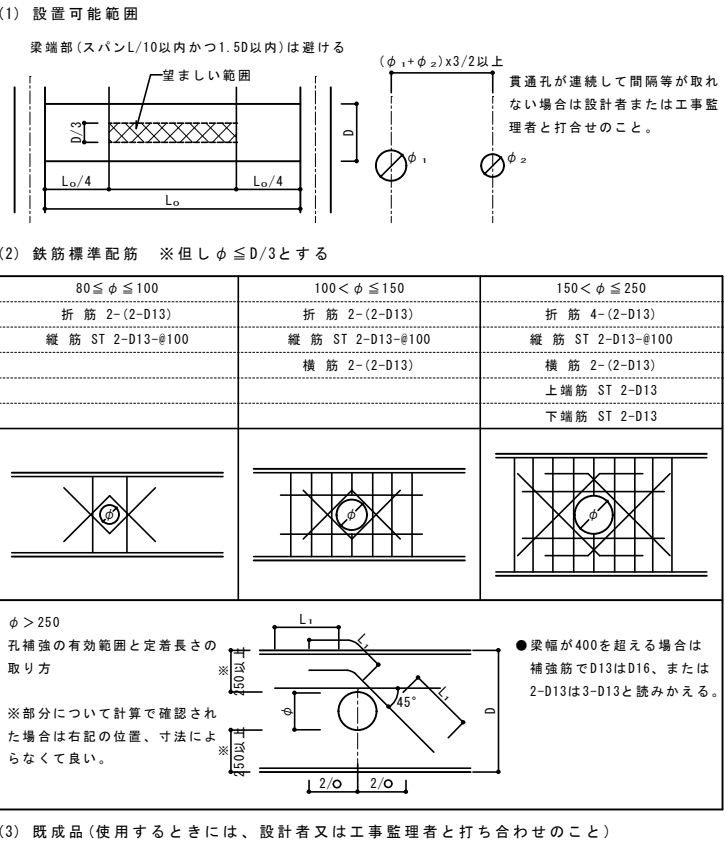
9. 壁



10. 柱、梁増打コンクリート補強



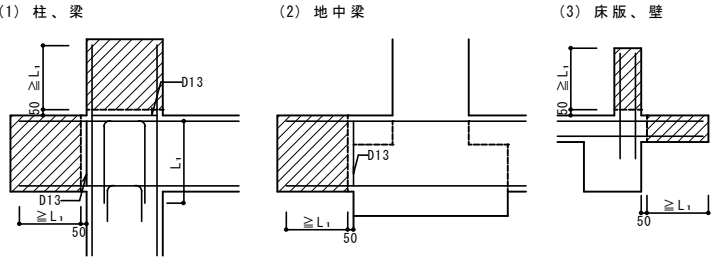
11. 梁貫通孔補強



(3) 既成品(使用するときには、設計者又は工事監理者と打ち合わせのこと)

● リング型 □ パイプ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定 将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継ぎ手工法を考慮して措置する。

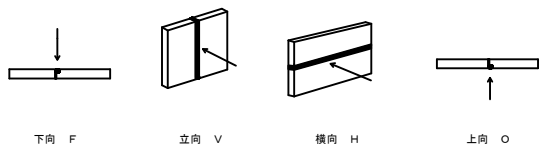


構造設計一級建築士 第5414号 / 一級建築士(大臣登録)第307608号 竹田法男

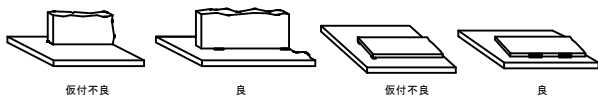
鉄 骨 構 造 標 準 図

1. 一般事項

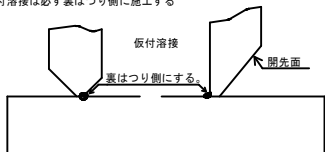
- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査の検査成績書には、社内超音波探傷試験その他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高強度鋼のひずみきよう正は、冷間きよう正とする
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本籍に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶 接 工
- 溶接工は施工する溶接に適用する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶 接 機 器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
- (ロ) アークエアーガウジング機 (直流) 600A
- (ハ) 溶接棒乾燥器
- (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
- (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ヘ) サブマージドアーク溶接機 1式
- (c) 溶 接 方 法
- アーク手溶接 (MC)
- ノンガスシールドアーク溶接 (NGC)
- ガスシールドアーク溶接 (GC)
- アークエアーガウジング (AAG)
- (d) 溶 接 姿 勢



- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



- (f) 溶接施工

- (イ) エンドタブ

- Ⅰ) 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で両端先形状のエンドタブを取り付ける
- Ⅱ) エンドタブの材質は、母材と同質とする
- Ⅲ) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

- (ロ) 裏はつり
- 材質は母材と同じとする

- (ハ) スカラップ 半径は $r1=30 \sim 35$ mm、 $r2=10$ mm程度とする

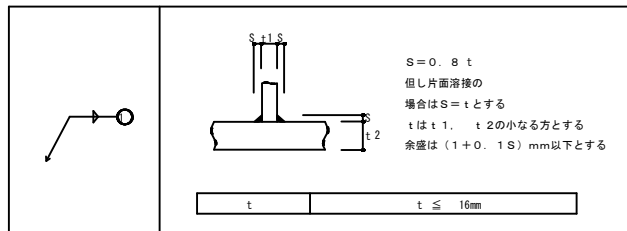
- (ニ) 裏はつり
- 規準図の溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。
- 又、開先面をいためない様に、養生を行なう

- (5) 塗 装
- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

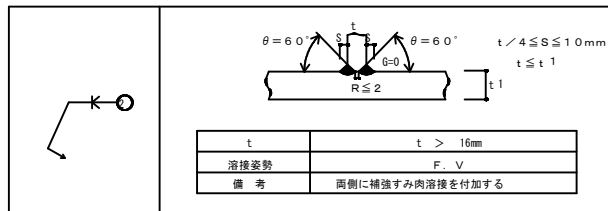
2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位:mm)

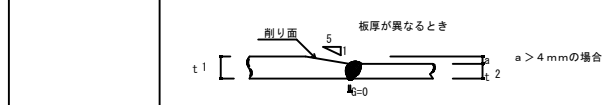
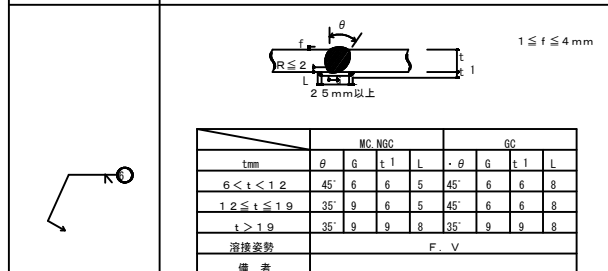
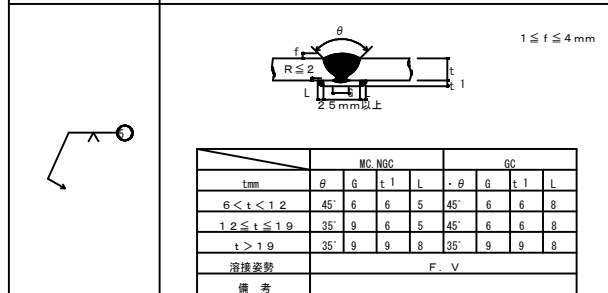
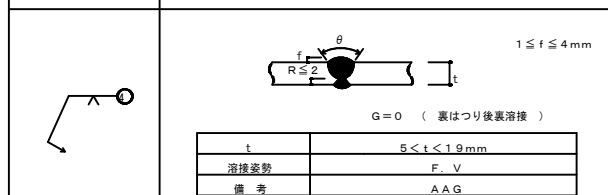
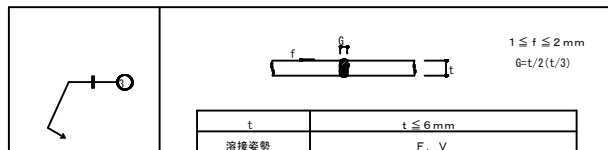
- (1) スミ肉溶接



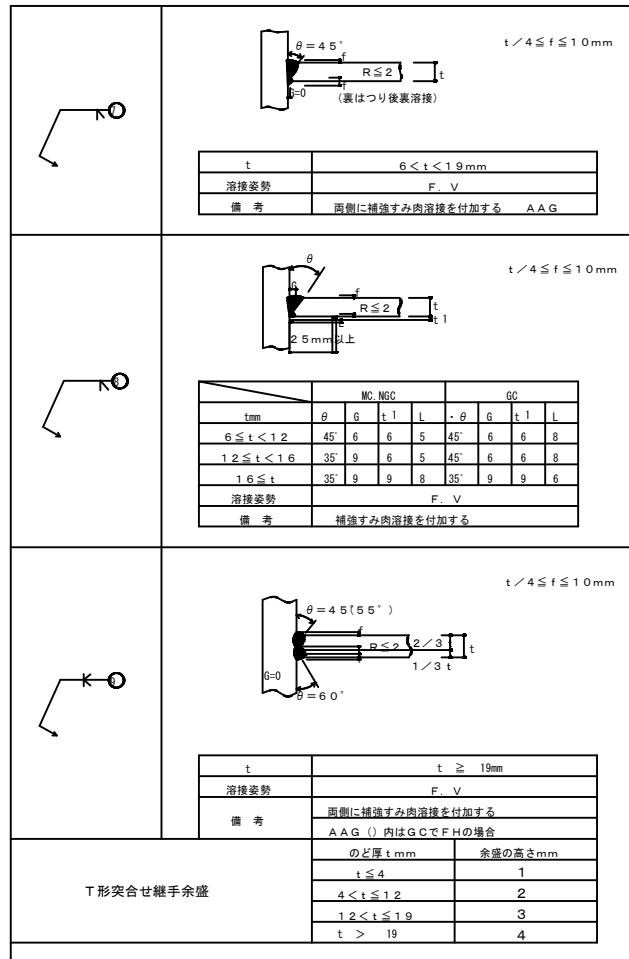
- (2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



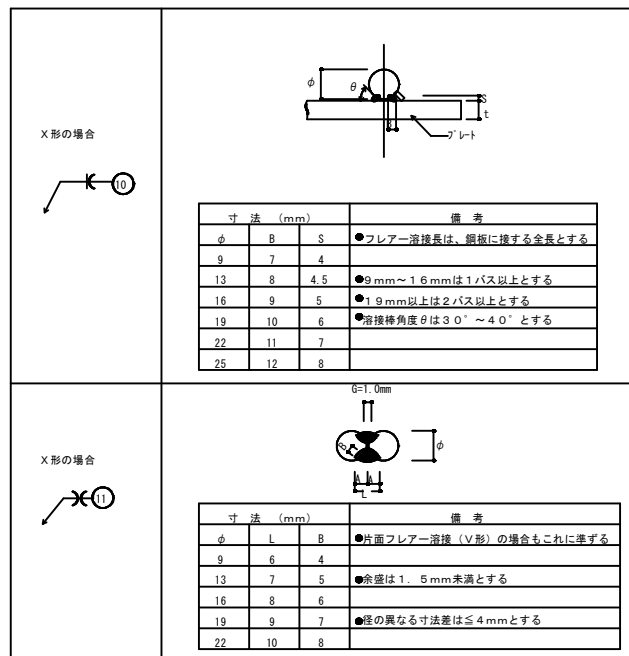
- (3) 突合せ (イ) 平継手



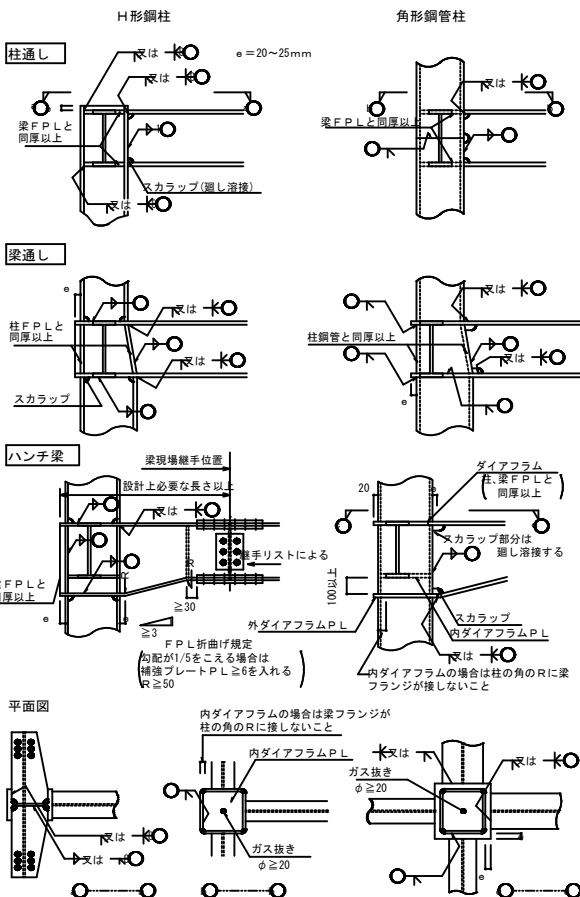
- (ii) T形継手



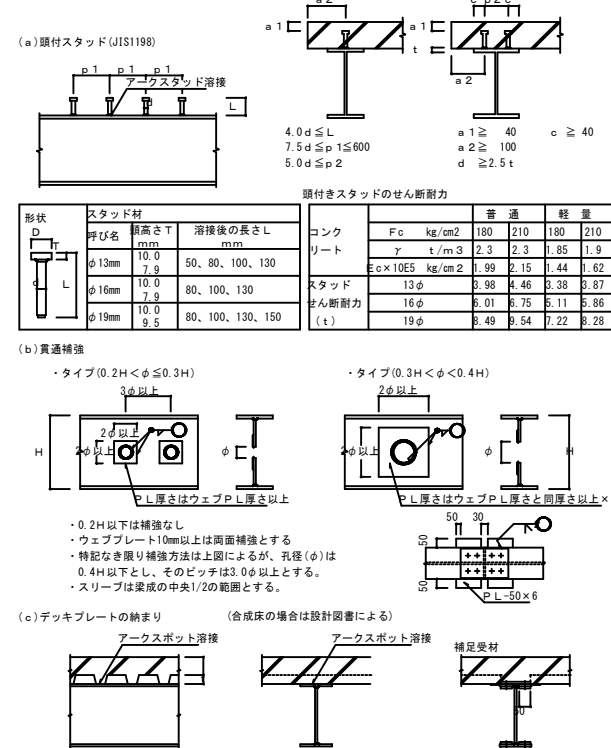
- (4) フレー溶接



柱梁接合部



その他



6. 工事場施工

6. 1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図

柱心

テンプレート

え1

けがき線

アンカーボルト

え1：柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

$-2 \leq e1 \leq 2$

基準高さより誤差は

$-3 \leq e \leq 10$

6. 3 配筋およびコンクリート打設

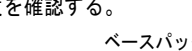
●配筋はアンカーボルト（フレーム）上の取付け位置を考慮する。

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り付け合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6. 4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し
大きさは右図による。



6. 5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めは、ばね式または圧入式で行い、ばね式の場合は標準とする。

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルネットを標準とする。

6. 6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材 1 袋 (6kg) に対して、計量カップで 1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

- 本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
- 本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
- ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様① 合成スラブ工業会仕様

JFE 建材 株式会社

【耐火認定FP060FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用】

Q Lデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、Q Lデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
□QL99-50 □QL99-75	端部加工 □凹部有リ □無し	凹部鉛めっき □JFEエポキシ(高耐食溶融めっき鋼板) □その他
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

材料/コンクリート

種類	普通コンクリート	軽量コンクリート
設計基準強度	□18 □21 □24 □() N/mm ²	□() N/mm ²
厚さ(Q Lデッキ山上)	□60 □70 □80 □85 □90 □95 □100 □() mm	□() mm

材料/溶接金網・異形鉄筋

溶接金網	JIS G 3551	φ6-75×75 φ6-100×100	φ6-150×150 φ()
異形鉄筋	JIS G 3112, 3117	□D10-150×150 □D10-200×200	□()
耐火補強筋	JIS G 3112, 3117	D13-φ300	

接合	□頭付きスタッド	JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22
梁との接合	□焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鉄	接合箇所は特記による
	□その他	

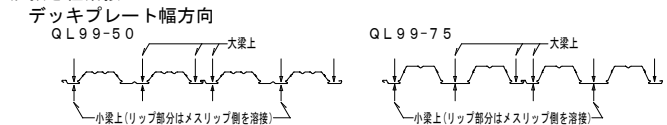
耐火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50	床1時間	単純	普通/軽量	要	FP060FL-9101
QL99-75	床2時間	連続		不要	FP060FL-9095

その他 □指定なし □() □()

特記	支保工有無	その他:
□無 □有		

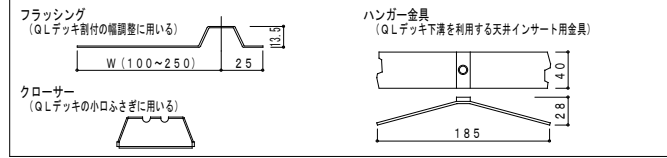
焼抜き栓溶接



デッキプレートスパン方向

Q Lデッキ設計マニュアルに基づいて決定する。	板厚	Qa (N)
Aw = 1.5 Qa × 1000 mm かつ 600 mm 以下	1.2	4,900
Qa: 焼抜き栓溶接 1個当たりの長期許容せん断力 (N)	1.6	7,350 (SPW), 6,860 (A.P.W.)
Qp: 設計最大せん断力 (N/mm)		
Aw: 焼抜き栓溶接ピッチ		

アクセサリ



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検討)

施工時の日平均気温(℃)が以下の場合		30		40		50		60		70	
		板厚(mm)		1.2		1.6		1.2		1.6	
注1	普通コンクリート(単位体積重量24.0kN/m ³)、 表裏処理が施された場合	単純(内法)		2.52		2.75		2.47		2.69	
		2連続		3.38		3.67		3.31		3.61	
		3連続		3.12		3.40		3.05		3.33	

耐火仕様

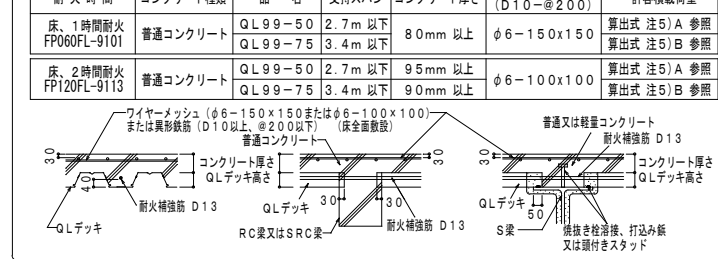
【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.6m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) B 参照



【単純支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-φ200)	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150x150	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100x100	算出式 注5) B 参照



W=5,400 x (2.7)^2 かつ 9,800 N/m ² 以下	W=5,400 x (3.4)^2 かつ 9,800 N/m ² 以下
単純支持	単純支持

付帯条件 連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小ばり等によって、ほぼ等間隔(スパン比3:2を超えない程度)に支持されるものとする。

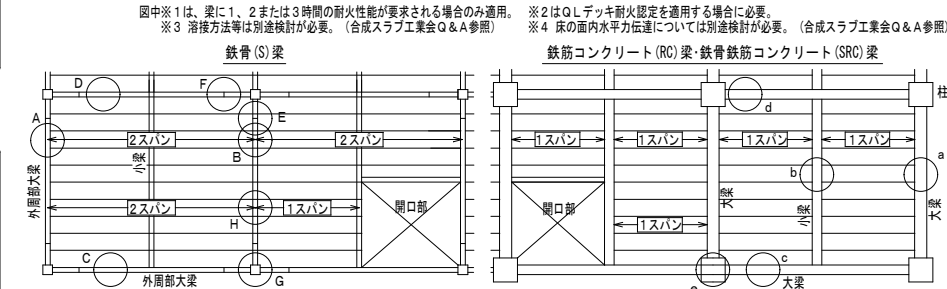
施工

施工順序	敷込み
1. 墨出し 敷込み仮止め溶接	鉄骨梁の場合 1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止めの溶接をする。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。

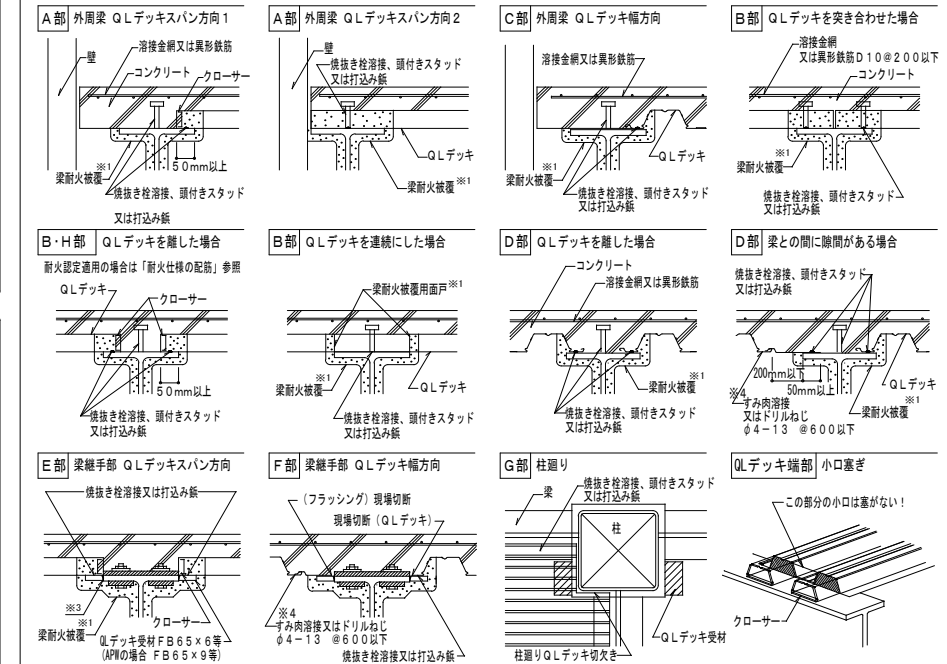
QL99-75

		80	90	100							
支持条件	スパン (mm)	2.1	2.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
	コンクリート厚 (mm)										
	板厚 (mm)	60	70	80	90	100					
	単純 (内法)	3.31	3.61	3.24	3.55	3.18	3.48	3.13	3.42	3.07	3.37
	2連続	4.02	4.30	3.96	4.24	3.91	4.18	3.83	4.13	3.73	4.07
3連続	3.78	4.05	3.73	3.99	3.68	3.93	3.63	3.88	3.58	3.83	

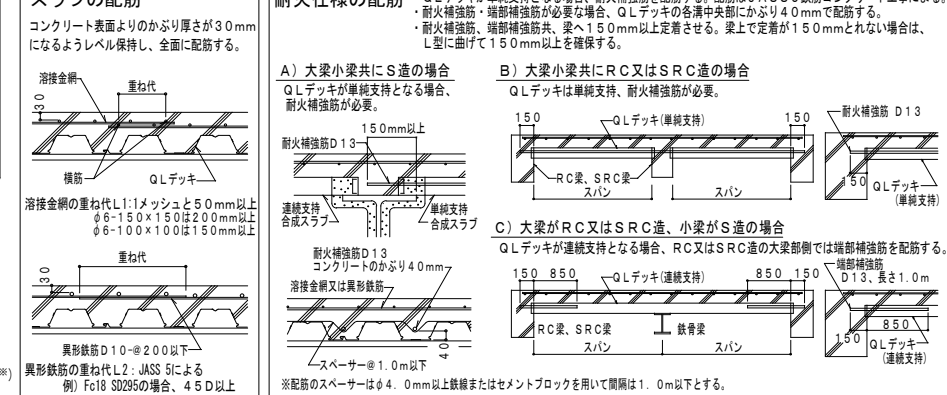
標準納まり



デッキプレートと梁の納まり [SRC梁]



スラブの配筋



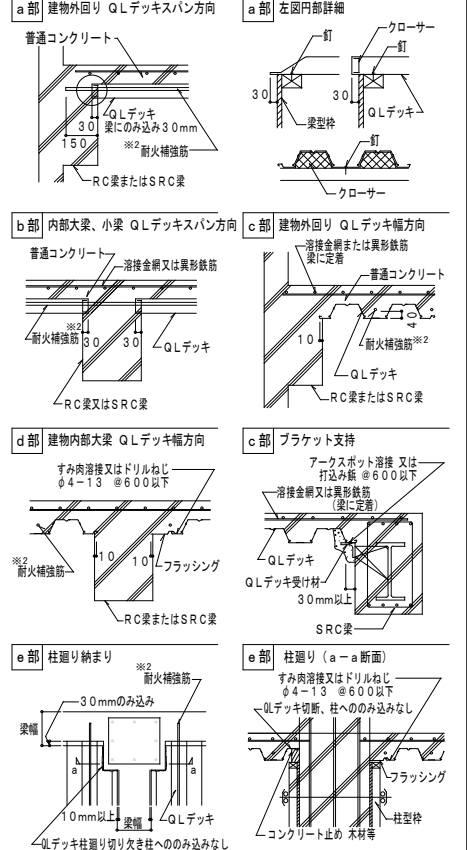
デッキプレートと梁との接合

工程	手順・要領
1. アーク発生	QLデッキを梁になじませ(間隔2mm以下)溶接棒をQLデッキに垂直にアークを発生させる。
2. QLデッキ焼付き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm程度のノズルを置いてQLデッキを焼く。
3. 押し込み・溶接	溶接棒を梁上まで押し込み、焼付きの内側をなぞるように円中央へ2~3回転しながら溶接。
4. 整形	溶着金属を整え、中央部で溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

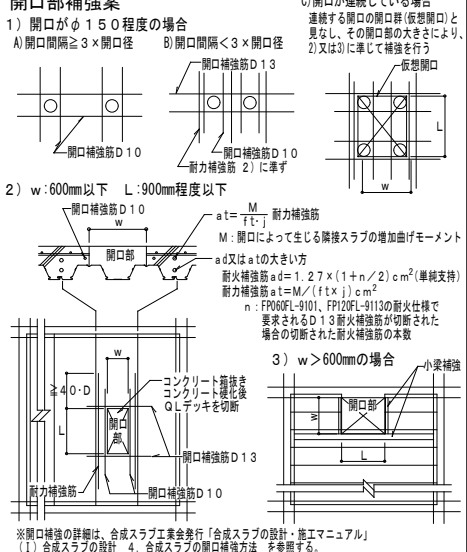
S造・施工時のスパンの取り方



デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



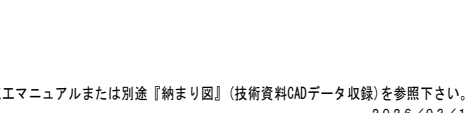
開口部補強案

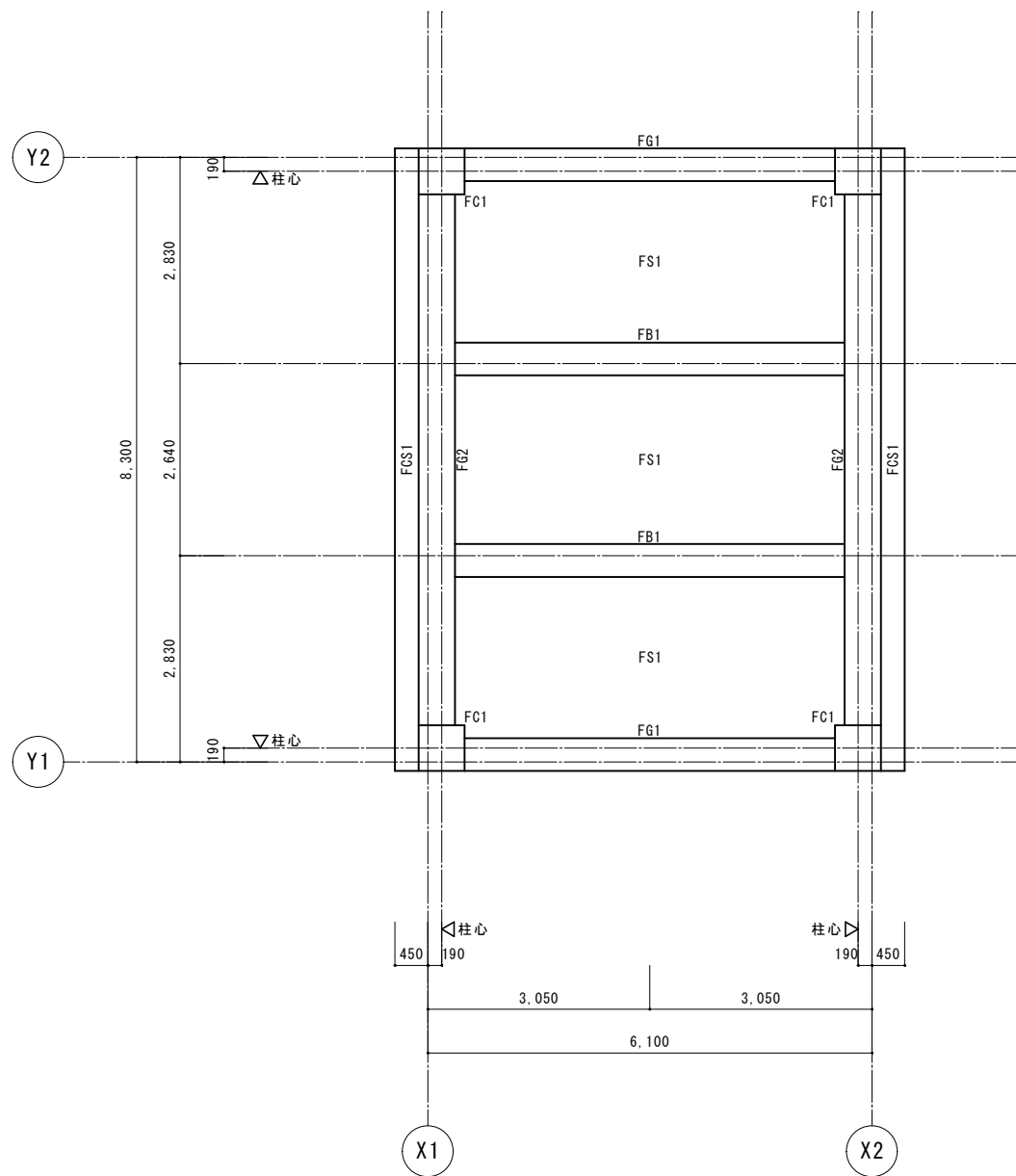


検査

検査項目	検査方法
【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W.)】	口事前検査 SPW: 適正な溶接を行なった後(下記)または2)の方法で電流値をチェックする。 2) 溶接棒の消費長さによる確認 —— 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約3mmに保持し、1.0mm程度の円を描いて1.0秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが4.5~5.3mmであること。

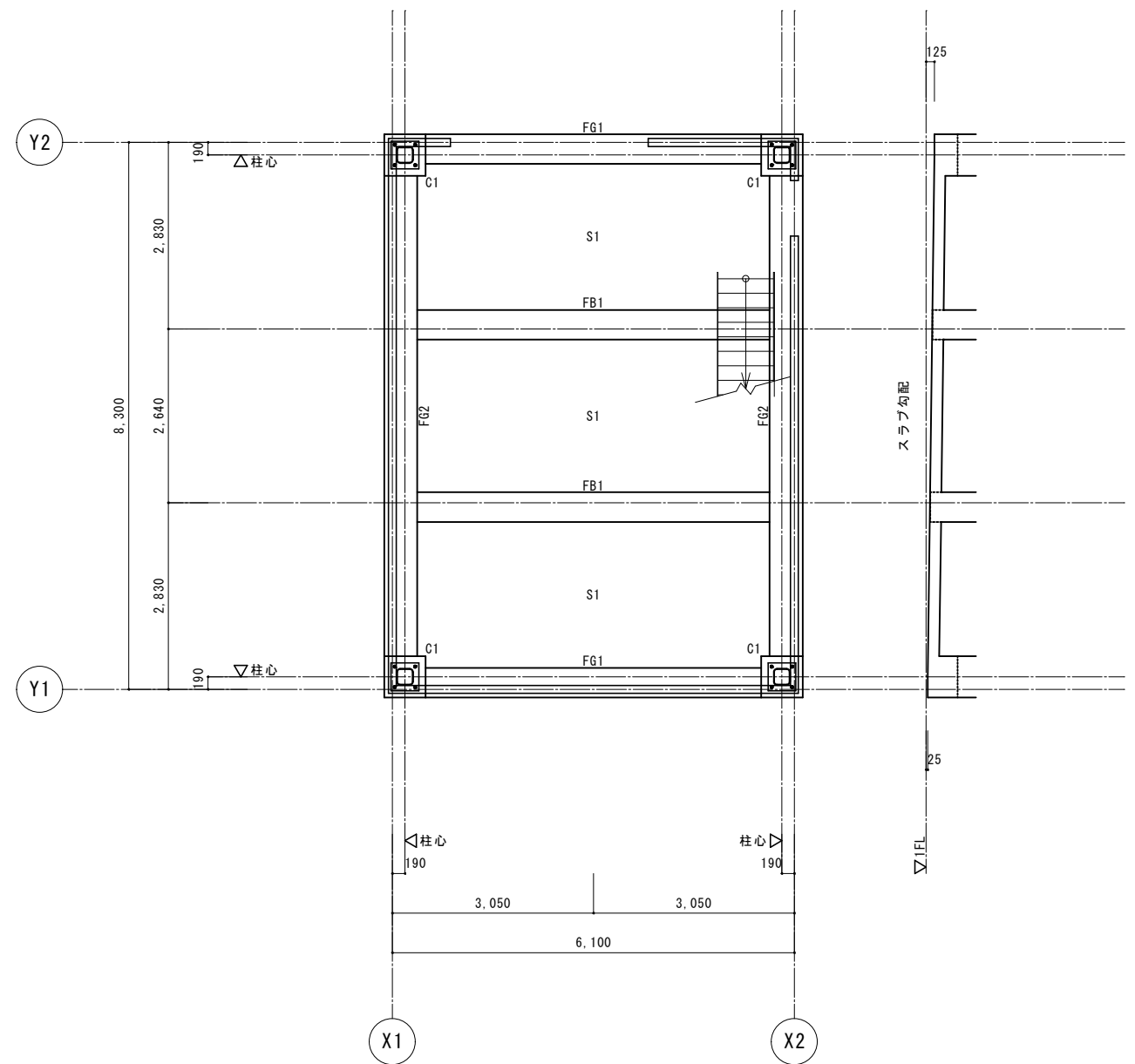
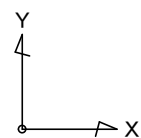
【その他】





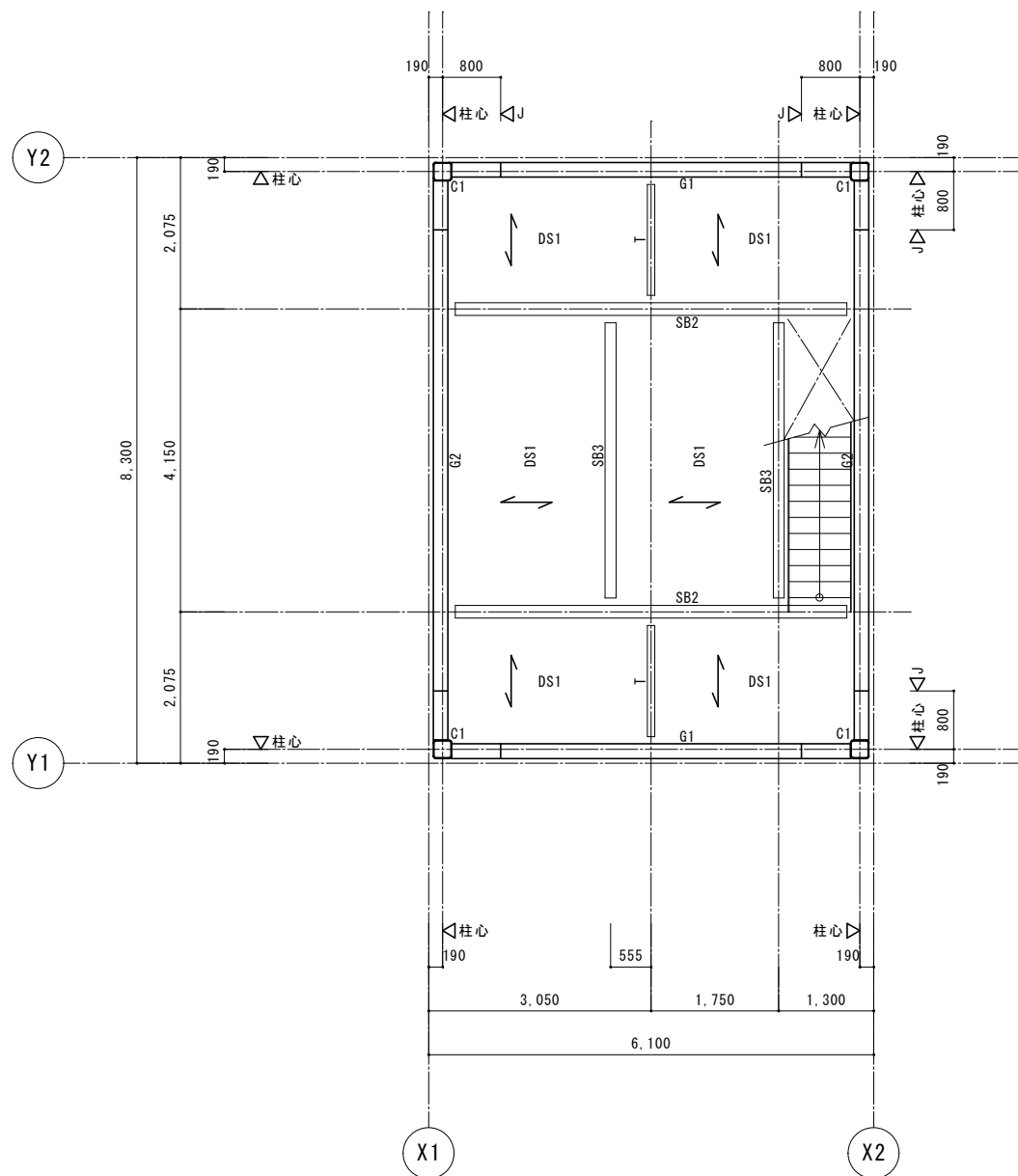
基礎伏図 1:100

特記無き限り下記による。
・FS1基礎底は、設計GL-1,075とする。



1階伏図 1:100

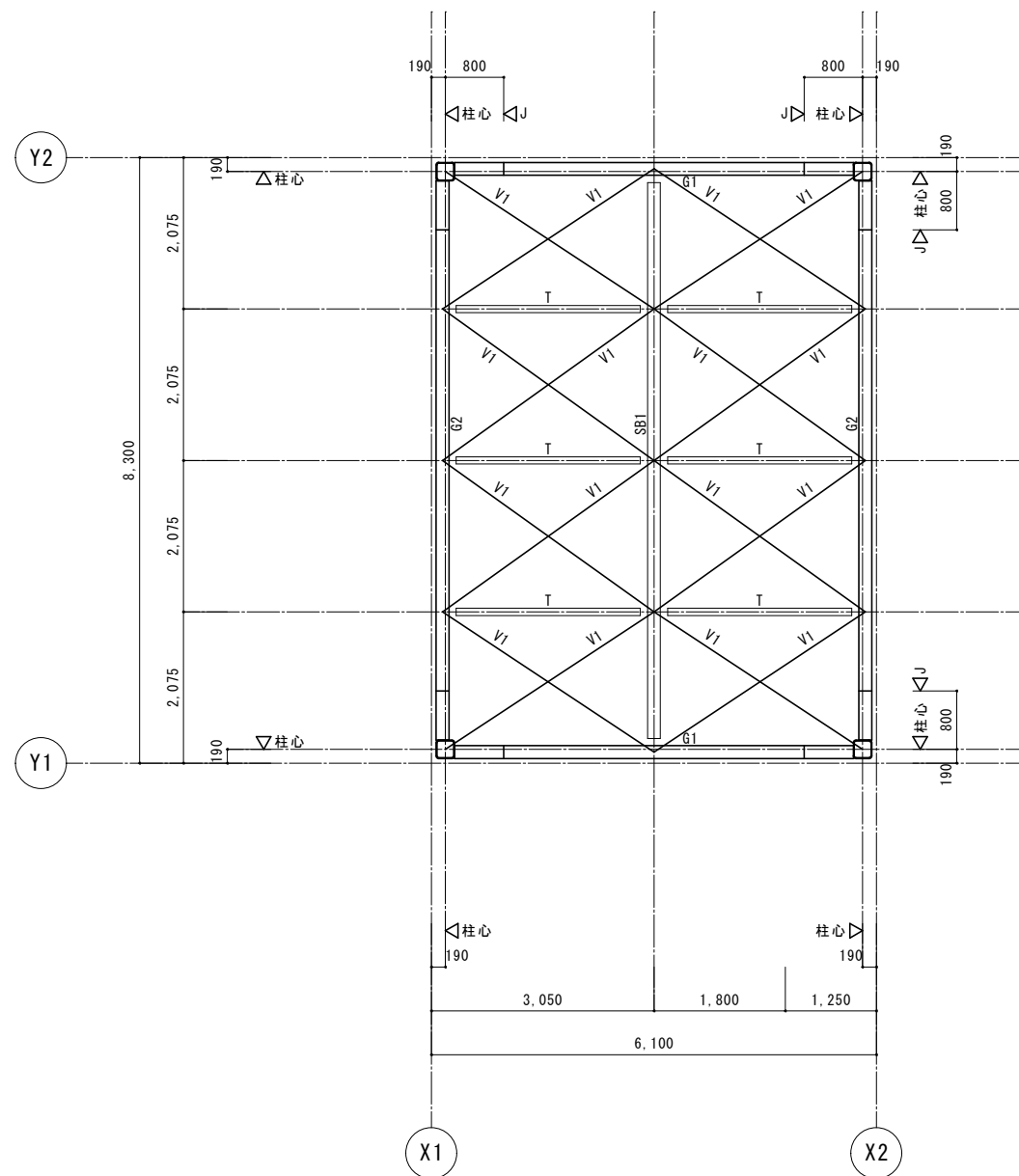
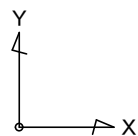
特記無き限り下記による。
・1FLは設計GL+400とする。
・スラブ天端 Y 1 通り : 1FL-25
Y 2 通り : 1FL-125
・基礎梁天端は1FL-475とする。
・ : W12 (RC立上り t=120、H=1FL+300)



2階伏図 1:100

特記無き限り下記による。

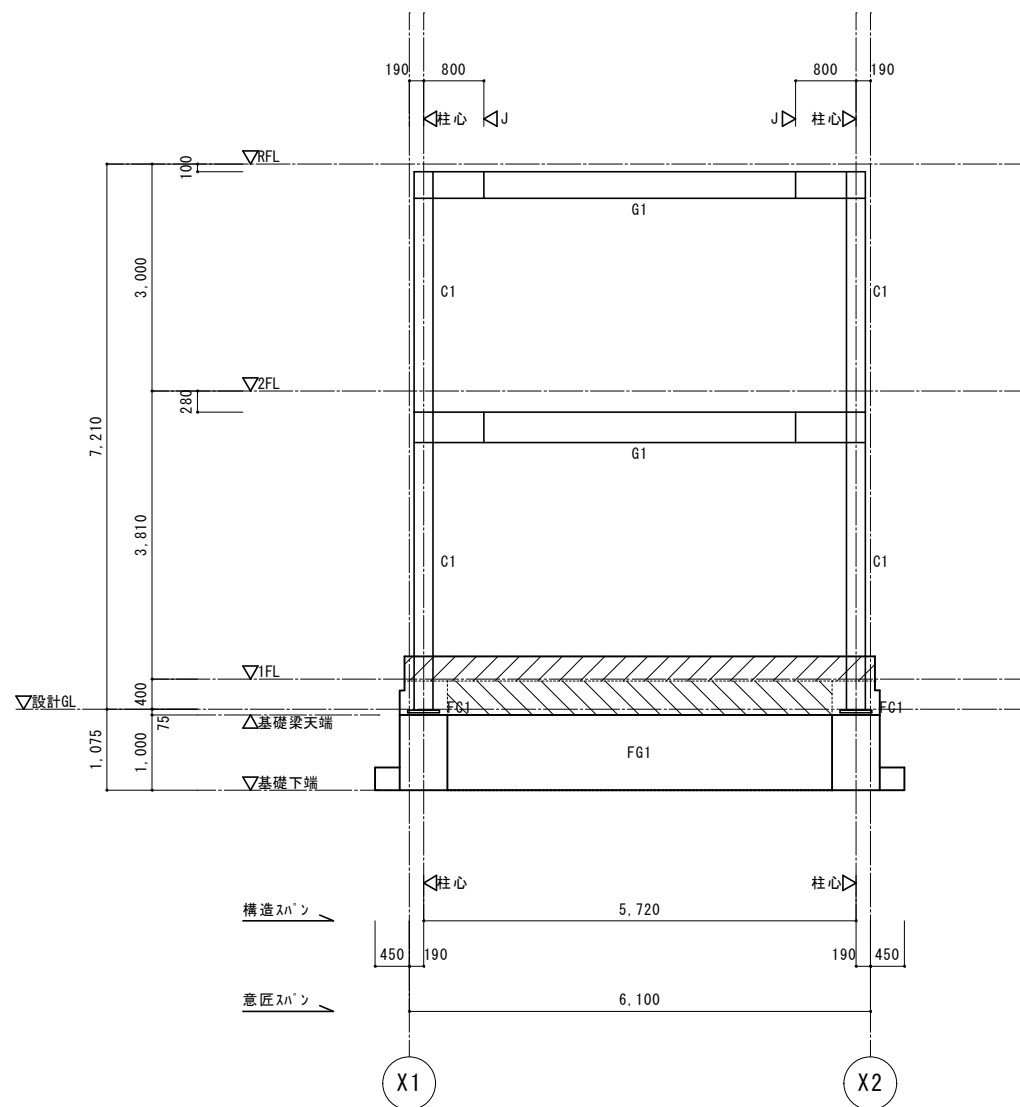
- ・印はデッキプレート支持方向を示す。
- ・DS1スラブ天端は2FL-150とする。
- ・鉄骨梁天端は2FL-280とする。



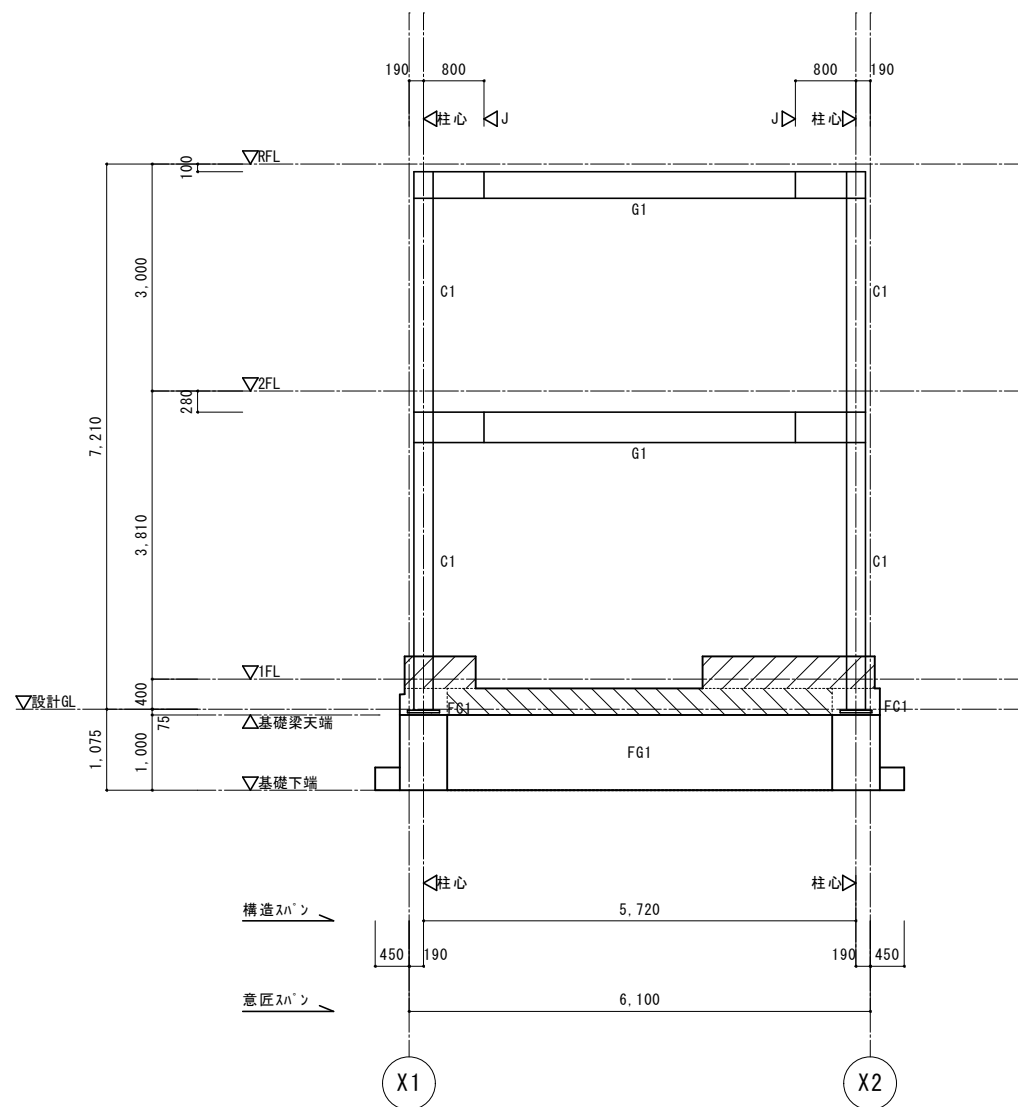
R階伏図 1:100

特記無き限り下記による。

- ・鉄骨梁天端はRFL-100とする。



Y1通り軸組図 1:100



Y2通り軸組図 1:100

共通事項（軸組図）

特記無き限り下記による。

- ・  はW12を示す。
- ・  は基礎梁上部増打ちを示す。

構造設計一級建築士 第5414号 / 一級建築士（大臣登録）第307608号 竹田法男



山谷忍 一級建築士事務所

1 級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号
1 級建築士 第175682号 山 谷 忍

担当

年月日

2026 . 3 .

工事名

黒島分団センター新築工事（災害復旧）

図面名

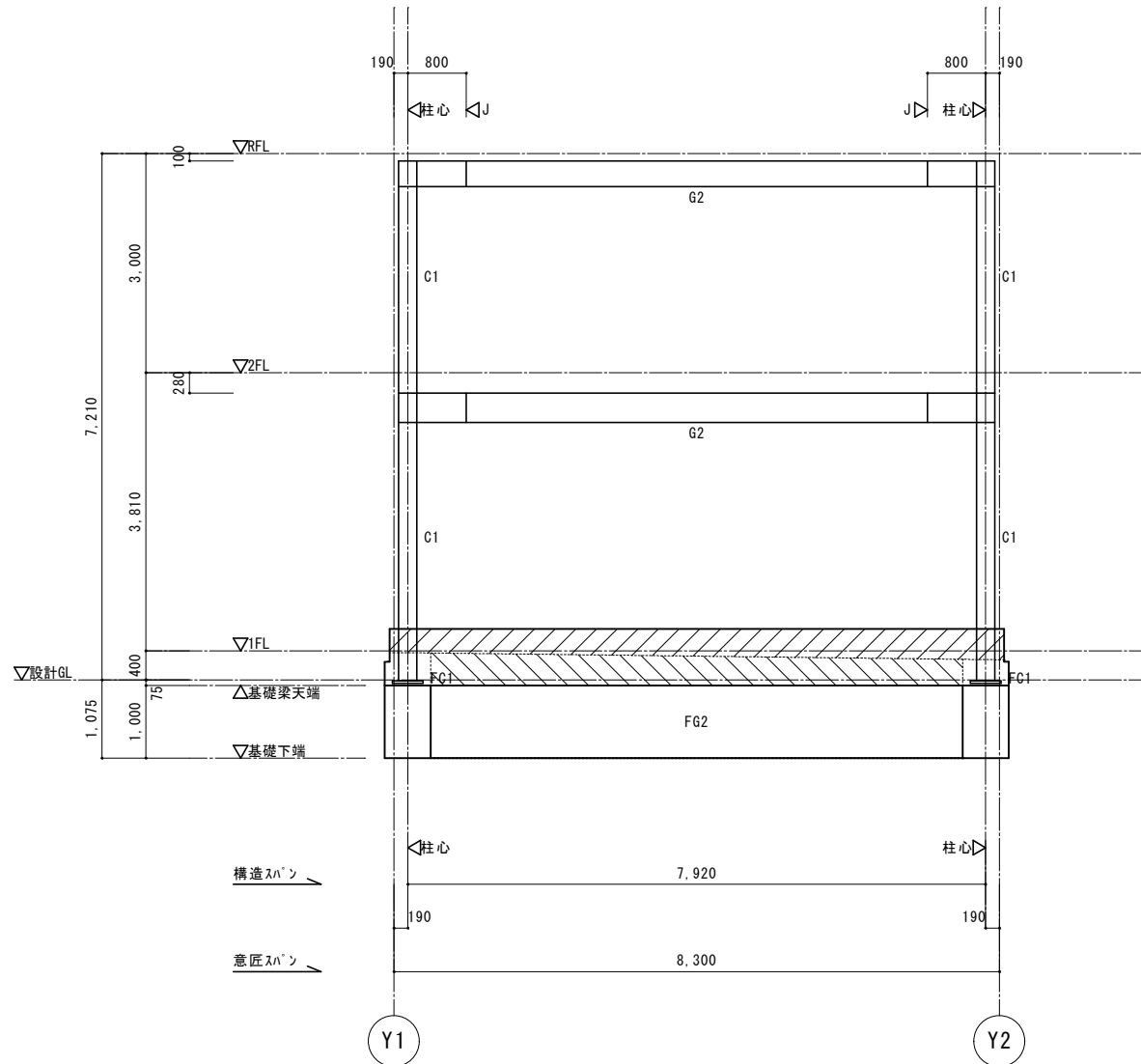
Y1通り軸組図、Y2通り軸組図

縮尺

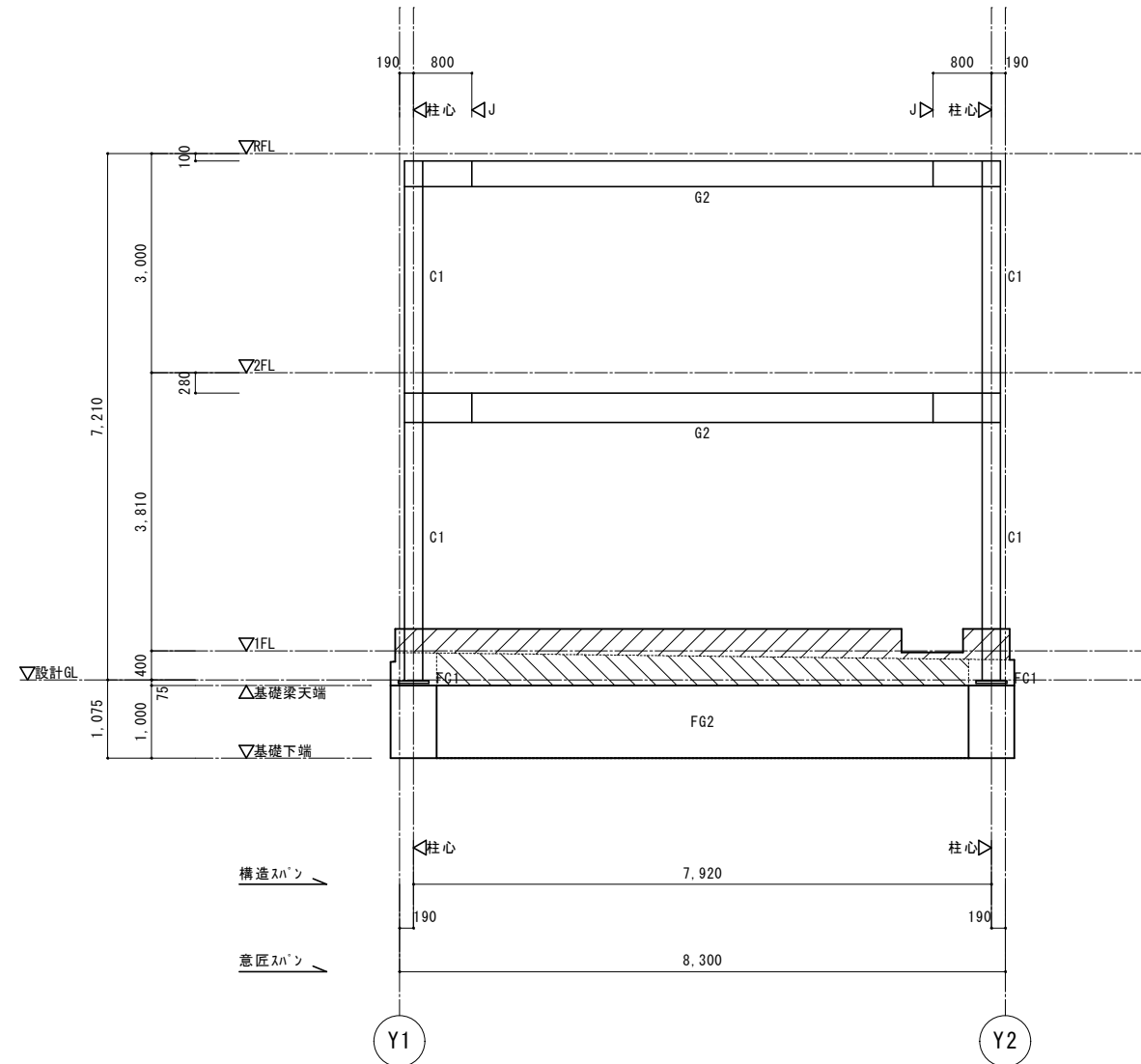
S=1:100

図面番号

S 0 9



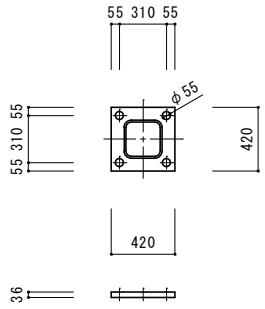
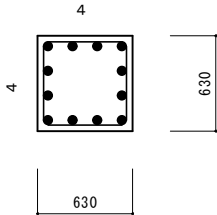
X1通り軸組図 1:100



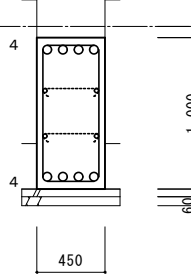
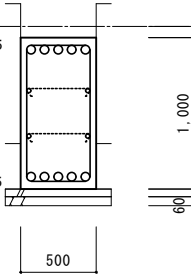
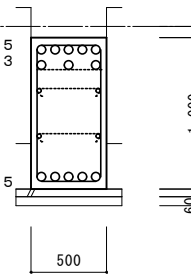
X2通り軸組図 1:100

- 共通事項（軸組図）
- 特記無き限り下記による。
- ・  はW12を示す。
 - ・  は基礎梁上部増打ちを示す。

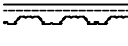
基礎柱リスト S=1:50

符 号	FC1
	ベースバック 25-12V
詳 細	
鉄 骨	□-250×250×12
B. PL	B. PL-36×420×420
A. BOLT	A. Bolt 4-M39
断 面	
断面寸法	630 × 630
主 筋	12 - D19
フ ー プ	□-D13-@100

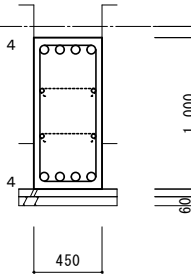
基礎梁リスト S=1:50

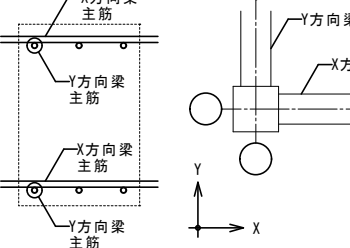
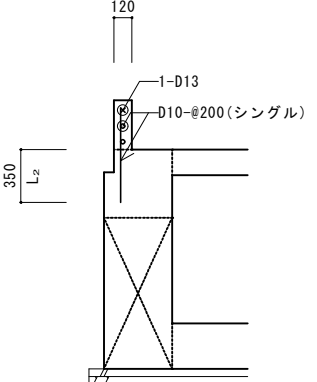
符 号	FG1	FG2	
	全断面	端 部	中 央
位 置			
▽1FL			
▽設計GL			
断 面			
B × D	450 × 1,000	500 × 1,000	
上 端 筋	4 - D22	5 - D22	8 - D22
下 端 筋	4 - D22	5 - D22	5 - D22
あばら筋	□-D13-@200	□-D13-@150	
腹 筋	4 - D10	4 - D10	

スラブリスト

符 号	板厚		短辺方向		長辺方向		備 考
			端部	中央	端部	中央	
S1	170	上端筋	D13-@200	D13-@200	D10-@200	D10-@200	捨てコン厚50mm (基礎柱下のみ捨てコン厚90mmとする) 砕石厚60mm
		下端筋	D13-@200	D13-@200	D10-@200	D10-@200	
FS1	300	上端筋	D13-@150	D13-@150	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D13-@150	D13-@150	D13-@200	D13-@200	
FCS1	300	上端筋	D13-@150	D13-@150	D13-@200	D13-@200	
		下端筋	D13-@150	D13-@150	D13-@200	D13-@200	
DS1	130						耐火補強筋：D13-@300

基礎小梁リスト S=1:50

符 号	FB1
	全断面
位 置	
▽1FL	
▽設計GL	
断 面	
BxD	450 × 1,000
上端筋	4 - D22
下端筋	4 - D22
肋 筋	□-D13-@200
腹 筋	4 - D10

基礎梁主筋位置図	W12 (RC立上り) 配筋要領 S=1:50
 ※梁の上端もしくは下端が同一レベルの場合に 配筋が干渉する場合の調整は、 上端筋・下端筋共にX方向梁主筋は上通しとし、 Y方向梁主筋は下通しとする。	

特記事項

使用材料リスト

1) 鉄筋

JIS G3112の規格品

SD295 (D16以下)、SD345 (D19以上)

記号	○	×	∅	●	○	⊙
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25

2) コンクリート

JIS A5308によるJIS表示許可工場で製造された普通コンクリート

躯体コンクリート(基礎・基礎柱・基礎梁)：品質基準強度=24 スランプ=15 粗骨材=25

躯体コンクリート(各階床)：24-15-25

躯体コンクリート(立上りコン)：24-18-25

※躯体コンクリートはS値補正分を品質基準強度に加算すること。

均しコンクリート：18-15-25

構造設計一級建築士 第5414号 / 一級建築士(大臣登録) 第307608号 竹田法男



山谷忍 一級建築士事務所

1 級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号
1 級建築士 第175682号 山 谷 忍

担当

年月日

2026 . 3 .

工事名

黒島分団センター新築工事(災害復旧)

図面名

RC部材リスト

縮尺

S=1:50

図面番号

S 1 1

構造仕様リスト

鉄 骨	SN400B	建築構造用圧延鋼材 (→)
	SN490B	建築構造用圧延鋼材 (内ダイアフラム)
	SN490C	建築構造用圧延鋼材 (通しダイアフラム)
	BCR295	建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 (柱)
	STK400	建築構造用炭素鋼鋼管 (→)
	STKR400	一般構造用角形鋼管 (開口補強、間柱)
	SS400	一般構造用圧延鋼材 (大梁、小梁、柱)
ボルト	H.T.B : S10T, F8T	大梁 (保有耐力接合)、小梁
	中継材 : 4T	
共通事項		
・溶接部の試験 : 超音波探傷検査 (第3者機関)		
・錆止め塗装 : K 5 6 7 4、工場2回塗り、現場搬入後タッチアップ2回塗り		
・ダイアフラム板厚 : 接続する板厚の2サイズ以上アップとする。		

柱リスト

階	C1	備考
2F	□-250×250×9 (BCR295)	
1F	□-250×250×12 (BCR295)	ベースバック 25-12V

大梁リスト

階	符号	位置	断面	継手符号
R	G1	全断面	H-350×175×7×11 (SS400)	JG1
	G2	全断面	H-350×175×7×11 (SS400)	JG1
2F	G1	全断面	H-400×200×8×13 (SS400)	JG2
	G2	全断面	H-400×200×8×13 (SS400)	JG2

小梁リスト

符号	位置	断面	継手符号
SB1	全断面	H-340×250×9×14 (SS400)	JSB1
SB2	全断面	H-350×175×7×11 (SS400)	JSB2
SB3	全断面	H-300×150×6.5×9 (SS400)	JSB3
T	全断面	H-100×100×6×8 (SS400)	JT

ブレースリスト

符号	断面	備考
V1	M20 (SNR400B) タンクナル (JIS A 5540) 付	

剛接合部リスト S=1:50

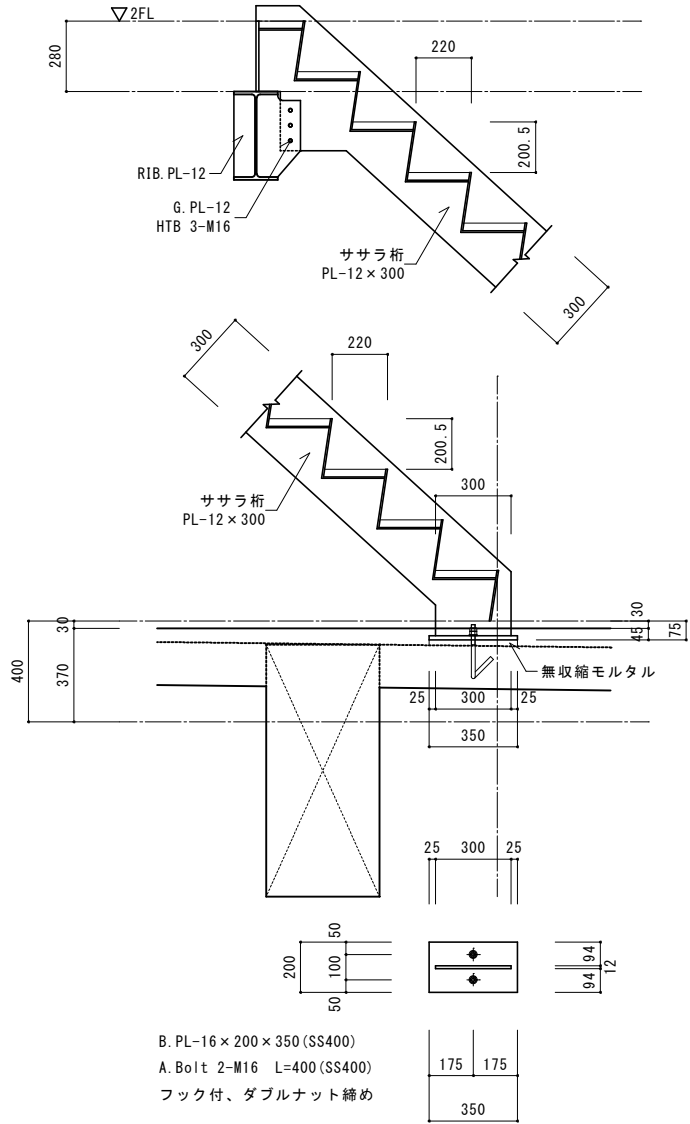
符 号	J G 1	J G 2
部 材	H-350x175x7x11	H-400x200x8x13
断 面		
FLG	2 SPL-9x175x290	トルシアHTB
	4 SPL-9x70x290	16-M20
WEB	2 SPL-6x260x170	6-M20
	2 SPL-9x200x410	トルシアHTB
	4 SPL-9x80x410	24-M20
	2 SPL-9x260x170	8-M20

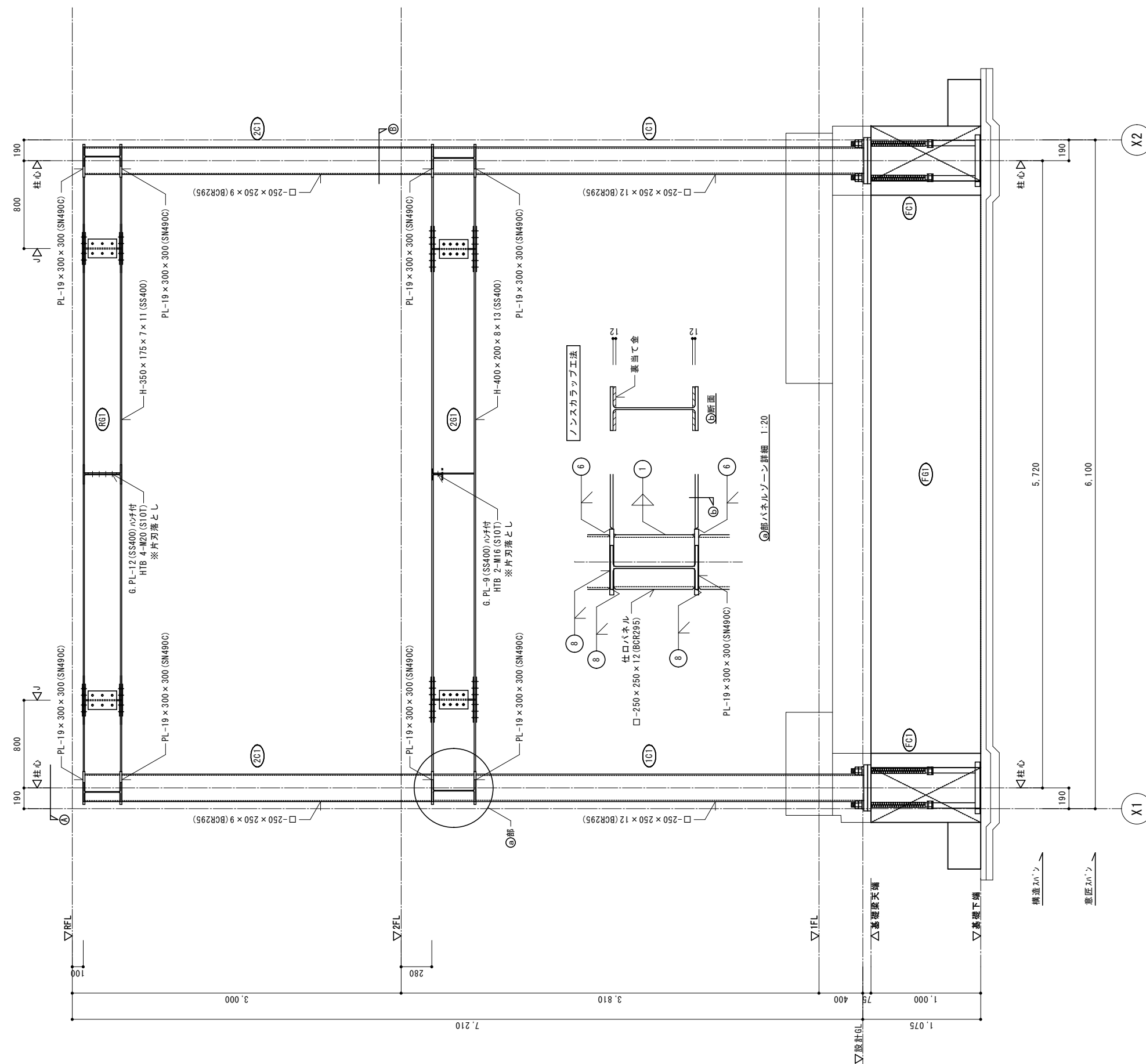
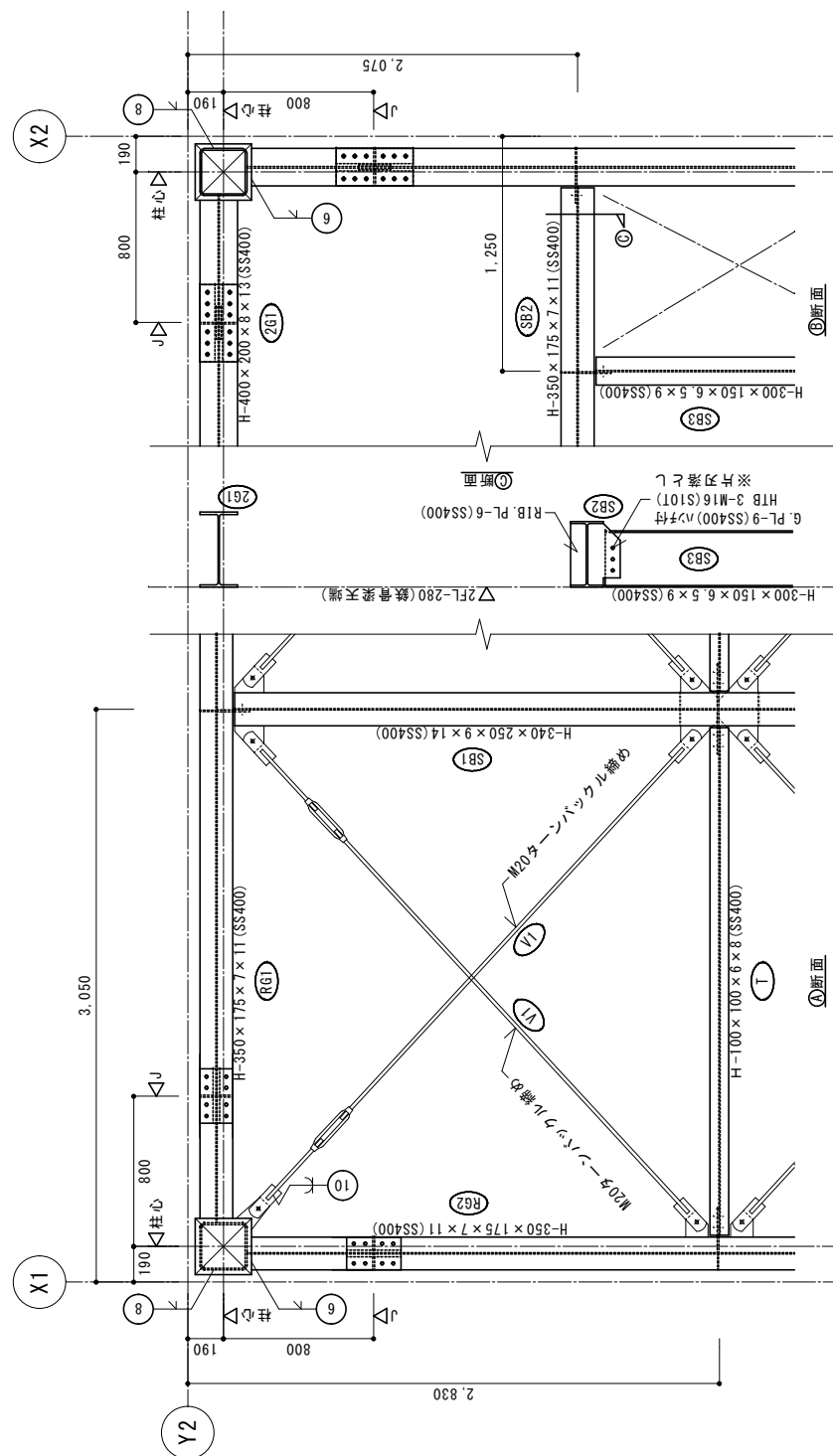
ピン接合部リスト S=1:50

符 号	JSB1	JSB2	JSB3
部 材	H-340×250×9×14	H-350×175×7×11	H-300×150×6.5×9
継 手			
	G. PL-12 (ハンチ付) HTB 4-M20 ※片刃落とし RIB. PL-9	G. PL-9 (ハンチ付) HTB 3-M16 ※片刃落とし RIB. PL-6	G. PL-9 (ハンチ付) HTB 3-M16 ※片刃落とし RIB. PL-6

符 号	JT	
部 材	H-100×100×6×8	
継 手	(一般 : G1, SB1, SB2側)	(補強 : G2側)
	10140 40 60 40 44 16 84 16 G. PL-9 (ハンチ付) HTB 2-M16 ※片刃落とし RIB. PL-6	10140 40 60 40 10 65 10 33 15 70 15 15 G. PL-9 HTB 2-M16 L-65×65 ×6×8.5×4 HTB 1-M16 RIB. PL-6

階段詳細図 S=1:30





構造設計一級建築士 第5414号 / 一級建築士（大臣登録）第307608号 竹田法男



山谷忍 一級建築士事務所

1級建築士事務所 石川県知事登録 第13581号
1級建築士 第175682号 山 谷 忍

担当

年 月 日
2026 . 3 .

工事名

黒島分団センター新築工事（災害復旧）

図面名	
-----	--

Y2通り架構詳細図

| 縮尺

S=1:20, 40

図面番号

S 1 3

Y2通り架構詳細図	1:40
-----------	------

工 事 仕 様 書 （電気設備）

I. 工事概要

1. 工 事 名 称 黒島分団センター新築工事（災害復旧）
-
2. 工 事 場 所 輪島市 門前町 黒島地内
-
3. 完 成 期 日 令和 年 月 日 （余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ○ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日） 対象部分（ ）
概成工期 ○ 無 ・ 有（令和 年 月 日）
（1. 2. 1 (6)）
4. 建 物 概 要

建築物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防令別表第一	備考
黒島分団センター	S造	2階建(地階 階.塔屋 階)	101.26	15項	

5. 別契約の関連工事
- | | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| ○建築工事 | ・電気設備工事 | ○給排水衛生設備工事 | ○空気調和設備工事 | ・構内交換設備工事 |
| ・昇降機設備工事 | ・自家発電設備工事 | ・厨房機器設備工事 | ・屋外付帯工事 | ・植栽工事 |
6. 工 事 内 容

黒島分団センター新築工事（災害復旧）に伴う電気設備工事を行う。

II. 工事仕様

- ## 1. 一般仕様
- 1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書を適用する。
- ## 2. 特記仕様
- 章は●印のものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
- 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項 目	特 記 事 項
● 一 般 共 通 事 項	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。(1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。(1.1.5(3))
	3 他工事との 取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表ー1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合せる。(1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、工事出面報告書、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。(1.2.4)
	5 施工条件	○ 新築工事 ・ 改修工事 (・ 執務並行改修 ・ 全館無人改修) (1.3.3) ・ 工事用車両の駐場所等は図示による。(改1.3.3) ・ ・ ・
	6 発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの (・) (1.3.9(2)) ・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器 ・ 廃石綿 ・) ・ 現場で再利用を図るもの (・) ・ 再資源化を図るもの (・ 蛍光ランプ ・ コンクリート ・ アスファルト ・ 木材 ・)
	7 再使用機材	・ 取外し後再使用するものは図示による。(改1.4.3)

●

一

般

共

通

事

項

8 事前調査

9 養生

10 撤去等

11 環境への配慮

12 機材の品質等

13 工事の創意工夫等

14 化学物質の濃度測定

15 中間検査

16 完成図

17 保全に関する資料

18 足場類

19 仮設間仕切・扉

20 仮設備

21 工事用電力等

22 監督員事務所等

P C B含有分析調査を
石綿含有分析調査を

・ 行う（図示 箇所）
・ 行う（図示 箇所）

○ 行わない
○ 行わない

(改1.5.2)

1) 既存部分の養生範囲は、図示による。
2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。

(改1.7.1)
(改1.7.2)

1) 回収を要する機器及び配管の内容物
2) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。

・ 燃料
・

(改1.8.1)
(改1.8.6)

1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。
・ 照明制御システム
・ 変圧器
・ 下塗用塗料（重防食）
・

(1.4.1(1))

2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。
① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS規格品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

(1.4.1(2))

1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。
ただし、仮設に使用する機材は、新品に限らない。
2) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
③ 安定的な供給が可能であること。
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

(1.4.2(1))

機 材 名 称	
L E D照明器具（一般屋内用に限る）	絶縁監視装置
照明制御装置	蓄電池
サージ防護デバイス（S P D）	交流無停電電源装置
可変速運転用インバータ装置	太陽光発電装置
盤類	監視カメラ装置
高圧機器	中央監視制御装置

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

(1.5.6)

建築物の室内空気中の濃度測定を
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。

・ 行う
○ 行わない

(1.5.7)

中間検査の実施

○ 無
・ 有（時期
・ 天井地下完了時
・ ）

(1.6.2)

原因及び製本（等倍 1 部、A 3 縮小 2 部）提出する。

(1.7.2)

保全に関する資料は次のとおり、 2 部提出する。
①建築物等の利用に関する説明書※
②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも）
③機器性能試験成績書（総合試運転報告書とも）
④官公署届出書類
※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き
手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.htm

(1.7.3)

内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。

(改2.2.2)

設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。

(改2.2.3)

仮設備を
・ 設ける（図示による）
○ 設けない

(改2.14.1)

・ 既存施設に電力量計等を設けて使用できる（有償）
○ 発電機又は北陸電力引込み等

(改2.2.4)

1) 監督員事務所を ※ 設けない
・ 設ける〔 ・ 1号（10㎡程度）
・ 2号（20㎡程度）〕
2) 監督員事務所に設ける備品等
・ 保護帽
・ 墜落制止用器具
・ 長靴
・ 合羽
・ 机
・ 椅子
・ 懐中電灯
・ 書棚
・ 黒板
・ 寒暖計
・
3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1 部、A 3 縮小 2 部）し、監督員事務所等に置く。

(2.1.1(4))

章	項 目	特 記 事 項																			
●	23 快適トイレ (快適トイレ実施要領に基づく)	・ 設置する ○ 設置しない(別途工事で設置等) ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。																			
	24 工事現場の表示板	工事現場には、下記表示板を設置する。 (記入例) 上段の地色は白色 文字は青色 下段の地色は青色 文字は白色 工 事 名 工 期 自 年 月 日 至 年 月 日 発注者 石川県土木部営繕課 設 計 (建築・設備委託業者名を記入) 監 理 (建築・設備委託業者名を記入) 施 工 建 築 (施工業者名を記入) 電 気 (施工業者名を記入) 機 械 (施工業者名を記入) この工事は、週休2日に取り組んでいます 60cm ～75cm 90cm 設計及び監理の欄は、実施設計及び工事監理が委託発注された場合。 工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は角ゴシック体とする。																			
一般	25 埋め戻し土	※ 根切り土の中の良質土(ただし、管の周囲は山砂) ・ 山砂 (2.2.1)																			
	26 建設発生土の処理	・ 現場内で処理 ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。) ※ 指定(想定)搬出先 受入場所: 受入時間帯: 時 分～ 時 分 仮置き等:																			
共	27 塗装	次の金属露出配管(亜鉛めっき面を含む)は、塗装を行う。 ○ 屋外 ○ 屋内 ○ 居室 ・ 機械室 ・) (2.7.1)																			
	28 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない(但し、鉄筋探査は行う。) (改2.11.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改2.11.3) 3) 溝はつり深さは、図示による。 (改2.11.4) 4) 防水箇所の貫通処理方法は図示による。 (改2.11.5)																			
通	29 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改2.12.3) 2) 施工後確認試験(引張試験)を ・ 行う (箇所) ・ 行わない																			
	30 県内産材料	石川県建設工事標準請負契約約款(以下「請負契約約款」という。)第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産するように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。																			
事	31 材料検査	請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・ 受変電機器 ・ 自家発電装置 ○ 照明器具類 ○ 配電盤類 ・ 避雷針 ・ 通信機器 ・ 構内交換機器 ○ 接地材料 ・																			
	32 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(令和3年改定)」による。 2) 請負契約約款第14条第3項に定める工事写真は次のとおり。 ○ 地中埋設配管部 ・ 機器の基礎及びアンカーボルト埋設部 ○ 塗装工程 ○ 接地極埋設部 ○ 天井、トレンチ内の隠ぺい箇所 ・ 躯体内隠ぺい部 3) 区分による規格、枚数、部数は次による。 <table><tr><th>区 分</th><th>大きさ(mm)</th><th>撮 影 枚 数</th><th>部数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>着工前</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1部</td><td>工事期間中は現場事務所に整理保管し、</td></tr><tr><td>工事中</td><td>85×115程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1部</td><td>工事完成時に提出する。</td></tr><tr><td>完成時</td><td>100×148程度</td><td>監督員の指示による</td><td>1部</td><td>A4用紙に整理したもの</td></tr></table> 4) 完成写真の撮影は、次による。 ・ 建築写真撮影業者 ※ 建築写真撮影業者以外 5) 写真はA4版用紙に順序よく貼付又は印刷し、説明事項を記入して提出する。 6) 中間検査又は監督員の指示により、手直しを命じられた工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し、報告書に添付し提出する。	区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考	着工前	100×148程度	監督員の指示による	1部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、	工事中	85×115程度	監督員の指示による	1部	工事完成時に提出する。	完成時	100×148程度	監督員の指示による	1部
区 分	大きさ(mm)	撮 影 枚 数	部数	備 考																	
着工前	100×148程度	監督員の指示による	1部	工事期間中は現場事務所に整理保管し、																	
工事中	85×115程度	監督員の指示による	1部	工事完成時に提出する。																	
完成時	100×148程度	監督員の指示による	1部	A4用紙に整理したもの																	
項	33 部分払いの対象工事材料	請負契約約款第37条第1項に定める部分払の対象とする工事材料は次のとおり。 ・ 機器 ・ 盤 ・ 配管、配線 ・																			
	34 火災保険等	請負契約約款第49条に定める火災保険等は次のとおり。(加入期間は着工日より引渡日まで) ※ 組立保険 ・ 建設工事保険																			

工事名 黒島分団センター新築工事（災害復旧）	番号 E 0 1
図面名 工事仕様書（電気設備） 3 枚組	縮尺 _____

石川県土木部営繕課

●

一般

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

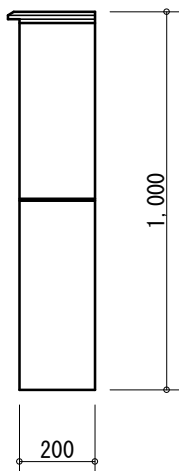
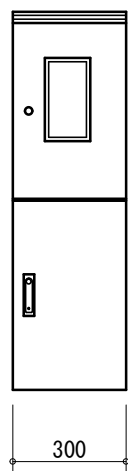
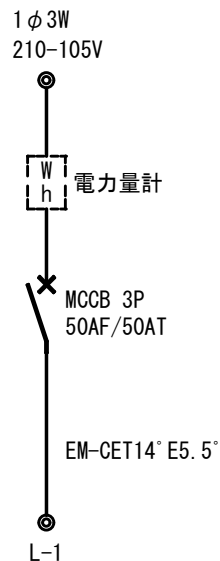
●

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項
●その他	1 いしかわ週休2日工事	工事現場において週休2日に取り組む「いしかわ週休2日工事」（以下、「週休2日工事」という。）の適用については、次のとおりとする。 なお、週休2日の工事の定義(様式)等については、石川県土木部監理課技術管理室ＨＰの「いしかわ週休2日工事 実施要領」を参照すること。 （１）当初設計において、月単位の週休2日（４週8休相当）にかかる補正係数を乗じている。 （２）受注者は、工事現場に週休2日に取り組むことを記載した工事看板を設置すること。 （３）受注者は、現場着手前に週休2日の計画工程を休日取得〔計画〕表を作成し、監督員に提出・共有すること。 （４）受注者は、工程に大幅な変更が生じた場合は休日取得〔計画〕表を修正し、監督員に提出・共有すること。 （５）受注者は、工期最終日までに、休日取得〔実績〕表を記入し、監督員に提出すること。 （６）分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態も「現場閉所」とみなす。 （７）発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、月単位の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、通期の週休2日（４週8休相当）の補正に減額するものとし、通期の週休2日（４週8休相当）に満たない場合は、補正分を減額するものとする。 なお、週休2日の確保が確認できなかった場合であっても、工事成績評定で減点評価は行わない。			
	2 余裕期間制度 試行工事	1）適用 ○ 対象 ※ 対象外 2）余裕期間制度対象工事の内容 （１）本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の着手及び完成日を設定することができる工事であり、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領に基づき実施するものとする。 （２）受注者は、契約締結日から着工日の期限までの間で、休日を除く任意の日を着工日として設定することができる。 （３）受注者は、完成日の期限までの間で、休日を除く任意の日を完成日として設定することができる。 （４）工期は受注者が任意で設定した着工及び完成日を記載する。 （５）受注者は、契約時に現場代理人及び主任技術者選任届を発注者に提出しなければならない。 （６）受注者は、着工日までの余裕期間内に工事（工場製作、測量、資材の搬入、仮設物や現場事務所の設置等の準備工を含む。）に着手してはならない。ただし、現場に搬入しない資機材の準備及び労働者の手配は、この限りでない。 （７）受注者は、余裕期間の間は、現場代理人及び主任（監理）技術者の配置を要しない。 （８）受注者は、着工日までに施工計画書を提出するものとする。 （９）余裕期間制度の適用により増加する費用は、受注者の負担とする。 （１０）その他、この特記仕様書に定めのないことについては、建設工事に係る余裕期間制度（フレックス方式）試行要領によるものとする。 （着工日の期限） 契約締結日から起算して○ヶ月以内			
	3 イメージアップ 看板	・ 設置する ・ 設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、設置することができる（設置費は受注者負担とする） 【参考図】 野立型（大） H1400×W1100 未来への夢 「石川をつくる」 未来への夢「石川をつくる」 みんなでつくろう石川 野立型（小） H1400×W550 未来への夢 「石川をつくる」 みんなで つくろう 石川 壁掛型 H750×W900 未来への夢「石川をつくる」 みんなでつくろう石川 （注）看板のデザインは監督員に確認すること			
	4 情報共有 システム	石川県建設工事情報共有システム実施要領（営繕工事編）に基づく。 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/kijun/kijun.html ・ 利用する（発注者指定型） ※ 現場着手前に発注者と協議し、利用することができる（施工者希望型）			

工事名 黒島分団センター新築工事（災害復旧）	番号 E 0 3
図面名 工事仕様書（電気設備）3 / 3	縮尺 _____
設 計 石川県土木部営繕課	

L-0

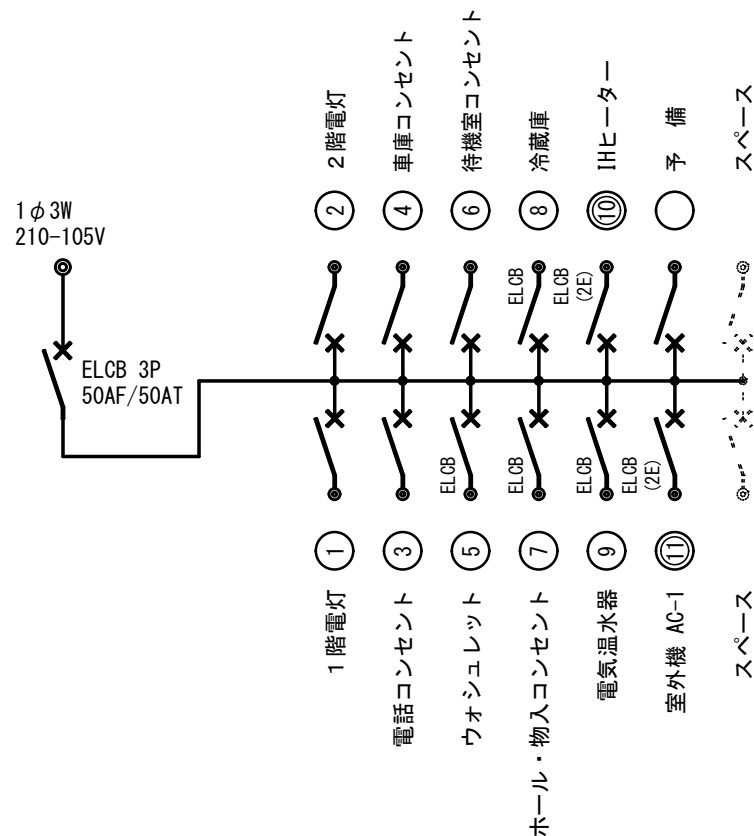
分電盤結線図, 参考姿図
屋外防水壁掛型SUS製
電話保安器スペース
(セパレータ取付)

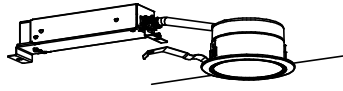
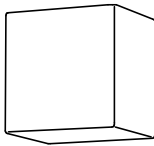
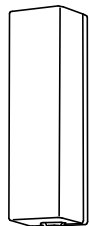
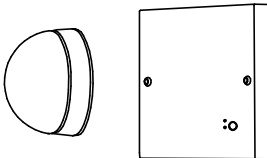


L-1

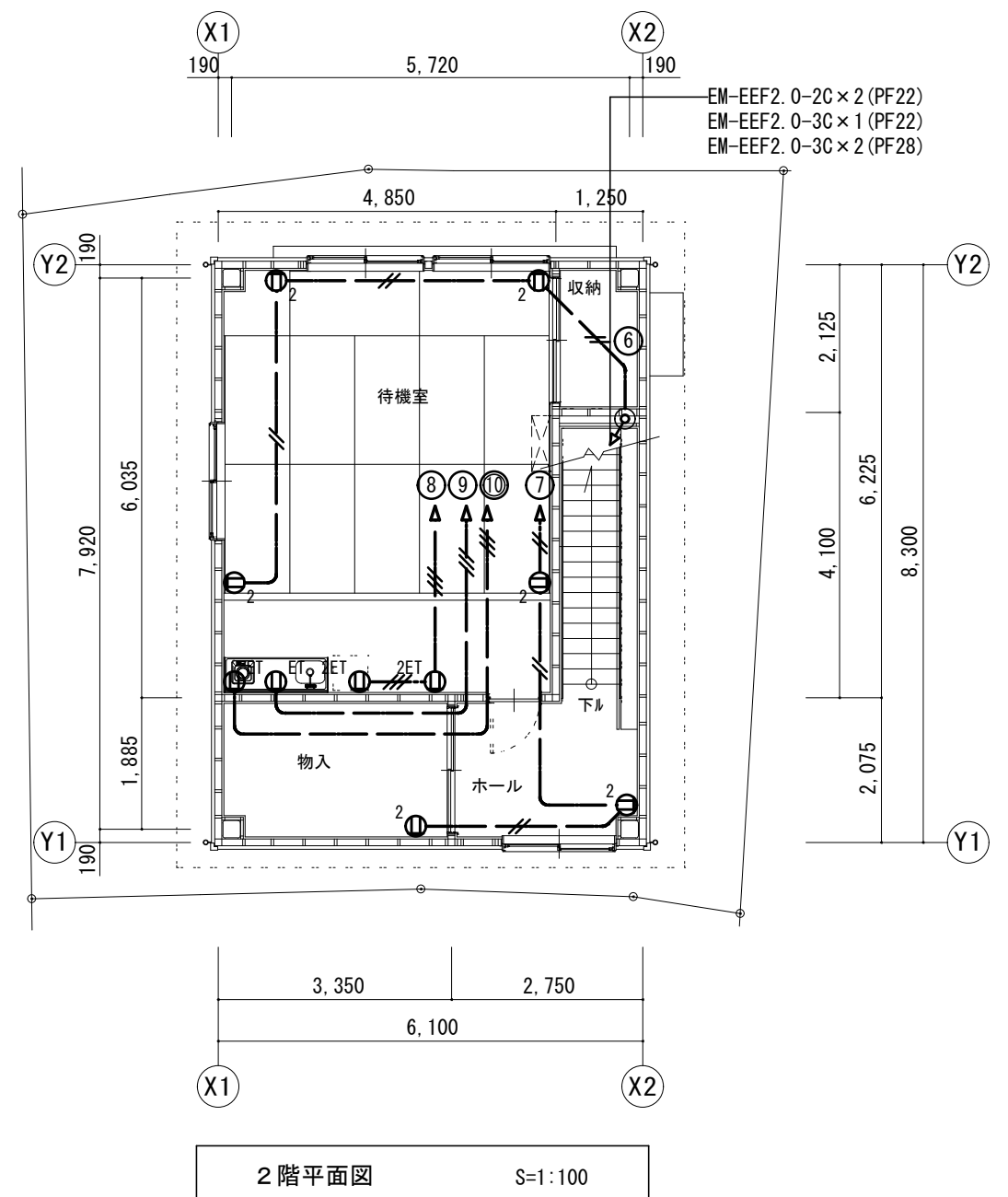
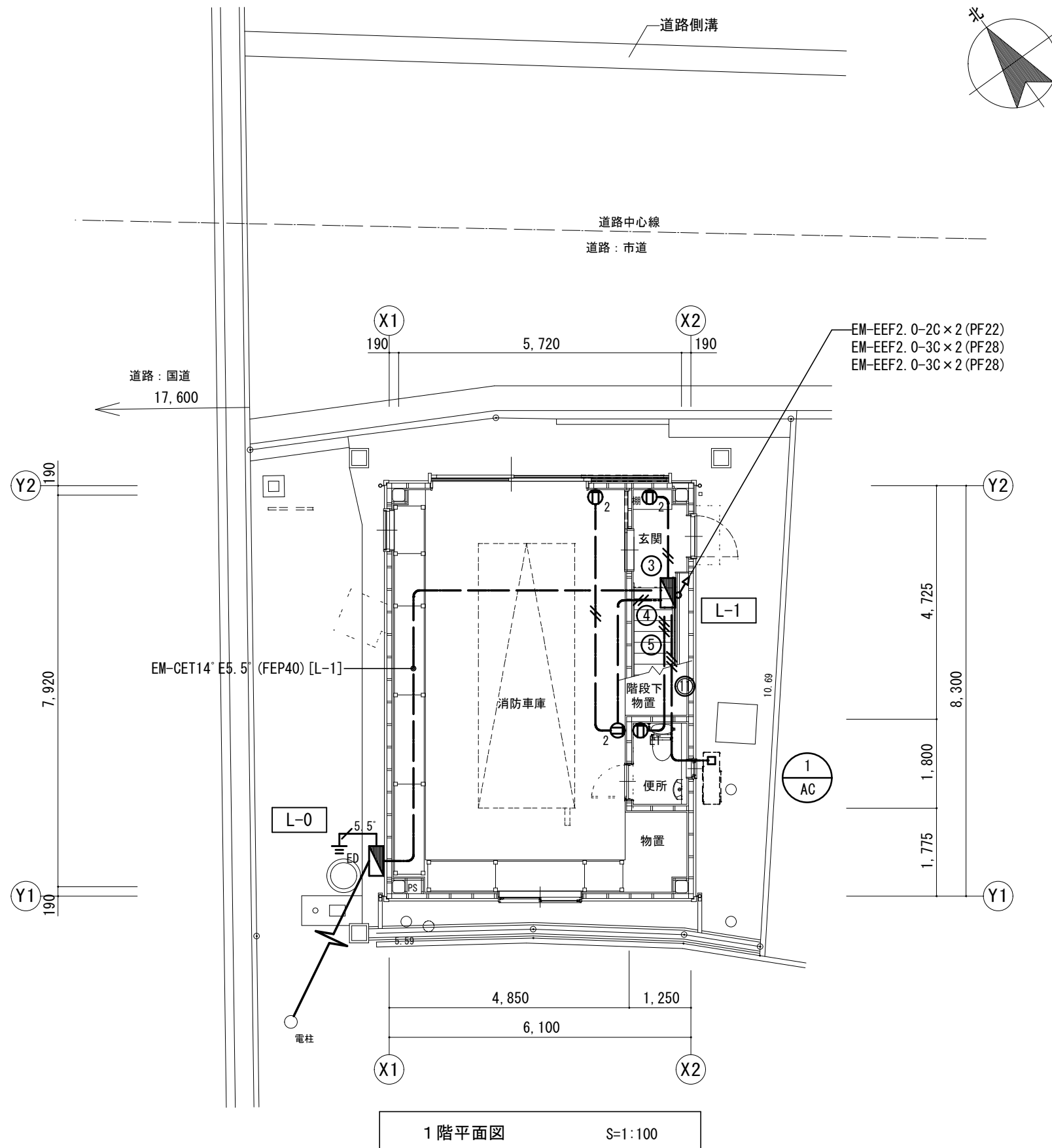
分電盤結線図, 参考姿図

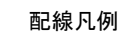
分電盤仕様		備 考
分電盤構成	露出・半埋込型、カバー付	
主幹ブレーカー	ELCB 3P 50AT	
分岐ブレーカー	SH 2P1E 20A	× 6
	SHE 2P1E 20A (ELCB)	× 4
	SHE 2P2E 20A (ELCB) (200V)	× 2
	分岐ブレーカースペース	× 2



A	LEDベースライト (5000K)	(約3200lm)	B	LEDベースライト (5000K)	(約6900lm)	C	LEDベースライト (5000K)	(約1600lm)
LSS9-4-30			LSS9-4-65			LSS9-2-15		
								
XFX430AEN LE9 (20.3W) (パナソニック)			XFX460AEN LE9 (43.1W) (パナソニック)			XFX210AEN LE9 (11.6W) (パナソニック)		
D	LEDダウンライト (5000K)	(約1640lm)	E	LEDシーリングライト (5000K)	(約580lm)	F	LEDブラケットライト (5000K)	(約400lm)
XND1539WNK LE9 (11.8W) (パナソニック)			LGB51653 LE1 (6.0W) (パナソニック)			XLGB81800 CE1 (4.9W) (パナソニック)		
								
G	LEDブラケットライト (5000K)	(約540lm)	H	LED赤色表示灯	(電源部分電池内蔵)			
LGWC80290 LE1 (7.1W) (パナソニック)			NNF20247Z (2.5W) (パナソニック)					
(人感センサー付・防雨型)			(防雨型)					
								
			交換電池:FK731					

※) 型式は全て参考とする。



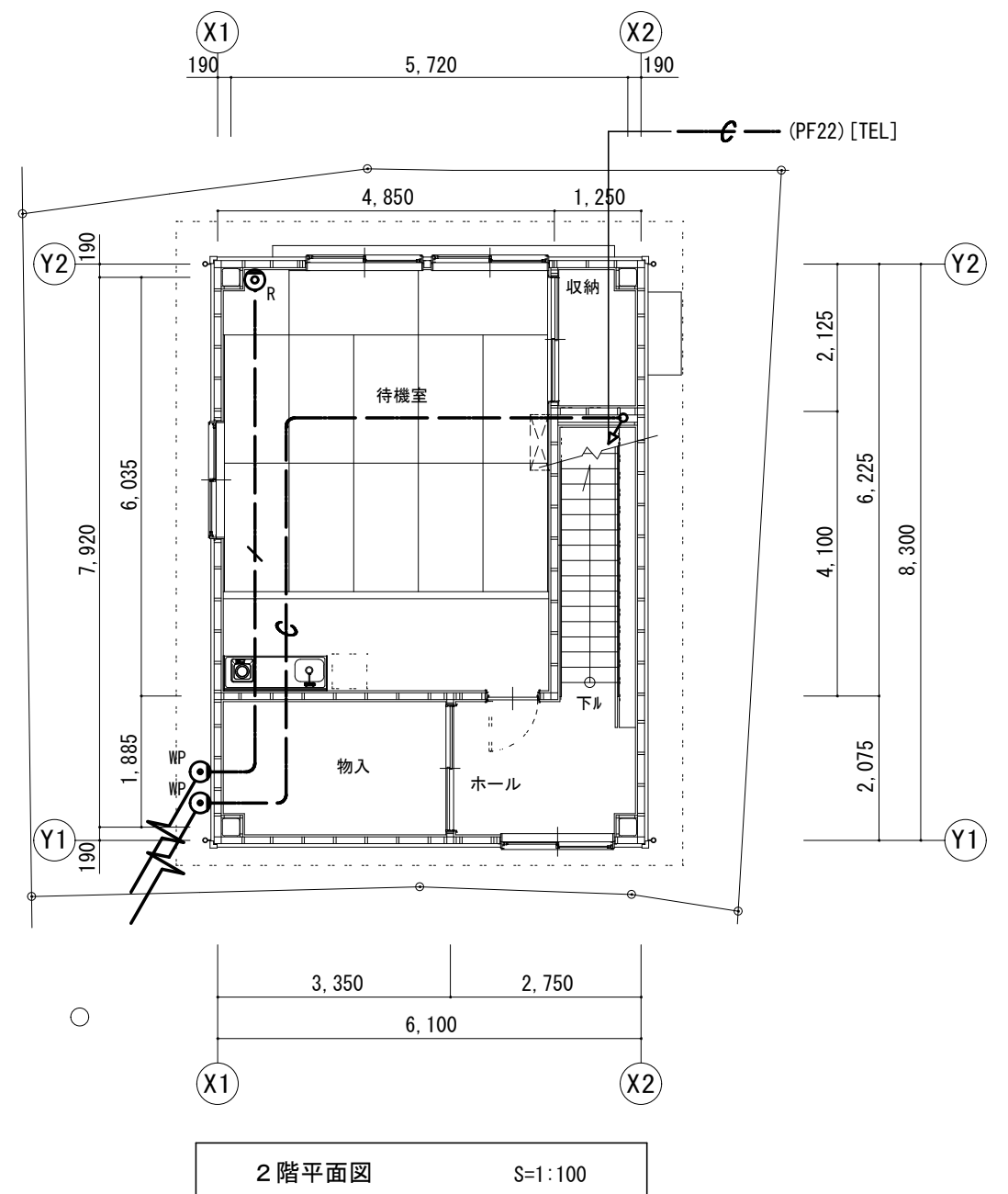


特記なき配管・配線は下記とする。

—— ㄏ ——	EM-S-5C-FB	(天井内ころがし)
—— ㄥ ——	導入線	(PF22)

- ・隠ぺい部分の立上り、立下げ配線は、PF配管にて保護する事。

記 号	名 称	備 考
◎	ノズルプレート	TEL
◎ _{WP}	防雨入線カバー	
◎ _R	直列ユニット	端末型



工事仕様書（機械設備）

I. 工事概要

1. 工事名称

黒島分団センター新築工事（災害復旧）

2. 工事場所

輪島市 門前町 黒島地内

3. 完成期日

令和 年 月 日（余裕期間制度試行工事適用の場合は、左記を完成日の期限とする。）
指定部分 ・ 無 ・ 有（指定期日：令和 年 月 日） 対象部分（ ）
概成工期 ・ 無 ・ 有（令和 年 月 日）
(1.2.1(6))

4. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備考
黒島分団センター	S造	2階建(地階 階・塔屋 階)	101.26	15項	

5. 別契約の関連工事

○建築工事

○電気設備工事

給排水衛生設備工事

空気調和設備工事

構内交換設備工事

昇降機設備工事

自家発電設備工事

厨房機器設備工事

屋外付帯工事

植栽工事

6. 工事内容

黒島分団センター新築工事（災害復旧）に伴う機械設備工事を行う。
給水設備 直圧方式にて各所に給水する。
排水設備 建物内分流、屋外排水柵にて合流し公共下水柵に放流する。
給湯設備 電気温水器にて2階待機室のキッチンに給湯する。
空調設備 空冷ヒートポンプにて待機室を空調する。
換気設備 個別換気扇にて換気する。
上記以外は図面による。

II. 工事仕様

1. 一般仕様

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書・改修標準仕様書・標準図（建築工事にあつては建築工事標準詳細図）を適用する。

2. 特記仕様

章は●印の付いたものを、特記事項で選択する項目は・印に○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
一般	1 工事実績情報	請負金額5,000千円以上の工事は工事実績情報登録を行う。 (1.1.4)
	2 施工体制台帳の作成等	下請負に付する場合は、施工体制台帳を作成し、現場に備え付ける。また、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げる。 (1.1.5(3))
	3 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れなど他工事との取り合いは、別表ー1によるものとし、施工に支障をきたさない時期までに、必要な位置、大きさ等を明示し、監督員と打ち合わせる。 (1.1.7)
	4 工事の記録等	工事総合進捗表、工事日誌、打合せ記録、工事箇所図及び現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末ごとに提出する。 (1.2.4)
	5 施工条件	・新築工事・改修工事（・執務並行改修・全館無人改修） ・工事用車両の駐車場所等は図示による。 (1.3.3) (改1.3.3)
	6 発生材の処理等	・引渡しを要するもの（・ ） ・特別管理産業廃棄物（・廃石綿（エルボ保温、パッキン）・ ） ・現場で再利用を図るもの（・ ） ・再資源化を図るもの（・コンクリート・アスファルト・木材・ ） (1.3.9(2))
	7 再使用機材	・取外し後再使用するものは図示による。 (改1.4.3)

章	項目	特記事項	
共通	8 事前調査	石綿含有分析調査を ・ 行う（図示 箇所） ・ 行わない (改1.5.1)	
	9 養生	1) 既存部分の養生範囲は、図示による。 (改3.1.1) 2) 養生の方法及び固定された備品・ロッカー等の移動は、図示による。 (改3.2.1)	
	10 撤去等	1) 回収を要する機器及び配管の内容物 ○ 冷媒 ・ 吸収液 ・ 廃油 (改4.1.1(3)) 2) 石綿の撤去は、図示による。 (改4.1.2(4)) 3) 機器の撤去跡の壁面等の補修は、図示による。 (改4.2.5)	
	11 環境への配慮	1) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品「公共工事」等は下記による。また、判断基準を満たすことを確認する。 (1.4.1(1)) ・吸収冷水機 ・氷蓄熱式空調機器 ・送風機 ・ポンプ ・ガスエンジンヒートポンプ式空調和機 ・下塗用塗料（重防食） ○大便器 ○自動洗浄装置及びその組込み小便器 ・自動水栓 2) 本工事の建物屋内で使用する揮発性有機化合物を放散する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のとおりとする。 (1.4.1(2)) ① JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	
	12 機材の品質等	1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。 ただし、仮設に使用する機材は新品に限らない。 (1.4.2(1)) 2) 機器類の能力、容量等は図示された数値以上とする。 3) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として図示された数値以下とする。 4) 下表に示す機材等の製造者等は次の①から⑥までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する評価の書面を提出して、監督員の承諾を受ける。ただし、製造者等が「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新年版）」（（一社）公共建築協会）等に記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 ②生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。	
	13 一般技能士の適用	○配管（建築配管） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け） (1.5.2(1)) ○熱絶縁施工（保温保冷工事） ・ 厨房設備施工（厨房機器据付け及び整備） ○冷凍空気調和機器施工（冷凍機、パッケージ形空気調和機据付け、整備及び冷媒配管） 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。 (1.5.9)	
	14 工事の創意工夫等	建築物の室内空気中の濃度測定を ・ 行う ・ 行わない (1.5.10)	
	15 化学物質の濃度測定	測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は図示による。	
	16 中間検査	中間検査の実施 ・ 無 ・ 有（時期 ・ 天井地下完了時 ・ ） (1.6.2)	
	17 完成図	原図及び製本（等倍 1部、A3縮小 2部）提出する。 (1.7.2)	
	18 保全に関する資料	保全に関する資料は次のとおり、 2部提出する。 (1.7.3) ①建築物等の利用に関する説明書※ ②機器取扱説明書（主要機器一覧表とも） ③機器性能試験成績書（総合試運転調整報告書とも） ④官公署届出書類 ※「建築物等の利用に関する説明書」作成の手引き 手引きのダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/kijun_kentikubuturiyou_tebiki.html	
	19 足場類	内部及び外部足場の種別は、図示による。防護シート等の養生は図示による。 (改2.2.1)	
	20 工事用水等	・既存施設に量水器等を設けて使用できる（有償） ・水道局引込み等 (改2.2.2)	
	21 仮設間仕切・扉	設置箇所、種別及び塗装仕上げは、図示による。 (改2.2.3)	
	● 共通事項	1 総合試運転調整	下記の項目の測定報告書（測定箇所は監督員の指示による）を提出する。 (1.5.6.3) ・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の高湿度の測定 ・室内気流及びじんあいの測定 ・騒音の測定 ・振動の測定 ○飲料水の水質測定（26項目 2箇所） ・雑用水の水質測定（建築物環境衛生管理基準による。）

章	項目	特記事項
共通	2 配管等	1) 仕切弁はJIS又はJV（・5K ○10K（水道直結等の図示部分））とする。 (2.2.1) 2) 絶縁継手の取付け箇所は、図示による。 (2.2.12) 3) 建物導入部の変位吸収方法は次による。ただし、排水及び通気配管を除く。 (2.4.1(5)) 標準図（○(a)フルキグ・ル・ジョイント ・(b)ホー・ル・ジョイント ・(c)スリ・クッション）による。 (2.5.7(1)) 4) 呼び径60Su以下のステンレス鋼管は、（・プレス ・ 拡張 ・ ）接合とする。 5) ポリエチレン管の接合方法は、（・電気融着 ・メカニカル）とする。 (2.5.10(3)) 6) 溶接部の非破壊検査を ・ 行う ・ 行わない (2.5.15.12(3)) 7) 地中埋設標の設置箇所は、図示による。 (2.7.1(8)) 8) 埋設表示用テープ（倍折）を土被り150mm程度の深さに埋設する。 (2.7.1(9)) 9) 埋設深さは、図示が無い場合、車両道路(○60cm ・)、 (2.7.2) その他(○30cm ・)以上とする。 屋外露出部（給水管、消火管、膨張管、冷水管、弁類を含む）は 防凍保温を行い、保温材の厚さは配管の呼び径25mm以下のものは50mm以上、それ以外は40mm以上とする。 (3.1.6) 下記の垂鉛めっきを施した露出ダクト及び露出配管は、塗装を行わない。 (3.2.1.1) ○機械室（エレベーター機械室） ○電気室（自家発電室） ○倉庫 ・ 多湿トレンチ内等の吊り金物、支持金物類は溶融亜鉛めっき処理又はステンレス鋼製とする。 (3.2.2.1)
	3 防凍保温	
	4 塗装	
	5 吊り及び支持金物の防錆	
	6 監督員事務所等	1) 監督員事務所を ※ 設けない ・ 設ける[・ 1号（10㎡程度） ・ 2号（20㎡程度）] (4.1.1(1)(4)) 2) 監督員事務所に設ける備品等 ・保護帽 ・墜落制止用器具 ・長靴 ・羽羽 ・机 ・椅子 ・懐中電灯 ・書棚 ・黒板 ・寒暖計 ・ 3) 設計図を工事監理用に製本（等倍 1部、A3縮小 2部）し、監督員事務所等に置く。 ・快適トイレを設置する ・ 快適トイレを設置しない（別途工事で設置等） ※ 監督員へ提案・協議し、快適トイレを設置することができる 快適トイレを設置した場合は、設計変更の対象とし、「快適トイレ実施要領」により費用を計上する。 工事現場には、下記表示板を設置する。（記入例） (4.1.1(1)(9))
	7 快適トイレ（快適トイレ実施要領に基づく）	
	8 工事現場の表示板	
	9 埋め戻し土	
	10 建設発生土の処理	・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・場外搬出適正処理（「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと。） ※ 指定（想定）搬出先 受入場所： 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等：
	11 はつり	1) 放射線透過検査を ・ 行う ※ 行わない（但し、鉄筋探査は行う。） (改5.1.2) 2) 配管貫通部の穴開けは、ダイヤモンドカッターとし、場所・口径は図示による。 (改5.1.3) 3) 既設基礎の解体、撤去後の床補修は、図示による。 (改5.1.5)
	12 あと施工アンカー	1) 埋込み配管等の探査の範囲及び方法は、図示による。 (改6.2.1) 2) 床スラブ上面の施工後確認試験（引張試験（短期許容引拔荷重））を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない (改6.2.3)
	13 県内産材料	3) 天井スラブ下面、壁面の施工後確認試験（引張試験（長期許容引拔荷重））を ・ 行う（ 箇所） ・ 行わない
	14 材料検査	石川県建設工事標準請負契約約款（以下「請負契約約款」という。）第6条の2第7項により、調達する工事材料は石川県産とするように努めることについて、工事着手前に使用材料確認願いを提出する。 請負契約約款第13条第2項に定める監督員の検査を受けて使用する工事材料は次のとおり。 ・熱源機器 ○空調機器 ・ポンプ類 ・ダクト及び付属品 ○衛生器具 ・タンク類 ・消火機器 ・合併処理槽 ・厨房機器 ・
	15 工事写真等の記録	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（令和5年改定）」による。

最終改訂 R 8 . 4 . 1

石川県土木部営繕課

機械1

<

章	項 目	特 記 事 項
●	25 公共事業労務費調査の協力	2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にＣＤ－Ｒ、ＤＶＤ－Ｒ又はＢＤ－Ｒで１部納品する。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力をしなければならない。工期経過後においても同様とする。 ① 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をする。 ② 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力する。 ③ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成すると共に賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行う。 ④ 下請負に付する場合には、当該下請工事受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が前各号と同様の義務を負う旨を定める。
●	26 事故の補償	受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む）
●	1 煙道	ばい煙濃度計取付座、ばい煙量測定口、伸縮継手及び捕除口は図示による。（1.1.2）
●	2 冷媒	パッケージ形空気調和機等の冷媒の種類は、図示による。（1.7.5.15）
●	3 ダクト	1) 低圧ダクト ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト （1.14.3.1～2） ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板フランジ ・ スライドオンフランジ ） 2) 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 3) 厨房用長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書の１ランク厚いものを使用する。（1.14.3.5）
●	4 チャンバー	消音内貼りを施すチャンバーは、図示による。（1.14.6.(11)）
●	5 風量測定口	取り付け位置は、図示による。（2.2.5.5）
●	6 基礎	防振基礎は、図示による。（2.1.1(3)）
●	7 配管材料	1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼管（白） ・ （2-2.1.2.1） 2) 冷却水管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管（PB） ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（※ VA ・ VB） 3) 蒸気管 給気管 ・ 圧力配管用炭素鋼管（黒） ※ 配管用炭素鋼管（黒） （2-2.1.2.2） 還管 ※ 圧力配管用炭素鋼管（黒） ・ 4) 油管 屋内 ・ 配管用炭素鋼管（黒） 地中 ・ ポリエチレン被覆鋼管（PLS(PE1H)） 屋外露出、暗渠 ・ 硬質塩化ビニル被覆鋼管（PLV） 5) 冷媒配管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 （2-2.1.2.4） 6) 空調用ドレン管 ・ 配管用炭素鋼管（白） （2-2.1.2.6） ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（屋内露出を除く）
●	8 伸縮管継手	7) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラーへの給水管は配管用炭素鋼管（白）とする。鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。（2-2.2.7.1）
●	9 瞬間流量計	・ 着脱形 ・ 固定形 を設ける。（2-2.3.8）
●	10 保温	1) 配管、ダクト及び機器の保温材料は（別表－２）による。（2-3.1.4） 2) 還りダクト（ＲＡダクト）の保温範囲は図示による。 3) 外気取入れダクト（ＯＡダクト）の保温範囲は図示による。 4) 外壁１ｍ以内のダクト及び多湿箇所（図示の範囲）のダクトは保温（25mm厚）を行う。 5) 膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は、温水管の項による。 6) 建物内の空気抜き管の保温は、温水管の項による。
●	11 冷媒（フロン類）の回収	1) 業務用冷凍空調機器等（エアコンディショナー、冷蔵機器、冷凍機器等）で「フロン排出抑制法」の対象となっている機器 （改2.4.3） ○ 「第一種フロン類充填回収業者登録通知書」の写しを提出する。 ○ 「フロン類引取証明書」を提出する。 2) 家庭用エアコン等で「家電リサイクル法」の対象となっている機器 ○ 「特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサクル券）」の写しを提出する。
○	1 システム構成	図示による。（1.1.1(2)）
○	2 電源装置	無停電電源装置は、図示による。（1.4.2.9） （1.5.1）(2.3.1)
○	3 電気計装用配線	原則、配線はＥＭケーブル等とし、天井隠ぺい部は、図示がなければケーブル配線とする。
●	1 水栓	水抜栓を使用する系統の水栓は、固定こま式とする。台所流し用水栓は泡沫式とする。（1.1.6）
●	2 量水器	1) ・ 親メーター（ ・ 貸与品 ・ 買取 ） ・ 子メーター（ ・ 買取 ・ ） （2-2.2.16） 2) 量水器掛 ・ 水道事業者指定品（ ・ 貸与品 ・ 買取 ） ・ 標準図 MC形 （1.8.4）
●	3 汚水用水中ポンプ	水中ケーブルの長さは、図示による。（1.2.7）

章	項 目	特 記 事 項			
給排水衛生設備	4 タンクの保温	ステンレス銅板製タンクの保温を ・ 行う ・ 行わない (1.4.2.4) (1.4.2.5)			
	5 緊急遮断弁装置	受水槽、高架水槽に設ける緊急遮断弁装置は、図示による。 (2-2.2.22)			
	6 配管材料	1) 給水管 一般 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PB) ・ ステンレス鋼鋼管 (2-2.1.2.5) ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(※ VA ・ VB) 厨房、浴 ・ ポリ粉体ライニング鋼管(PD) 室等のシンダー内 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD) 地中 ○ ポリ粉体ライニング鋼管(PD) ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(VD) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP) ・ 水道用ポリエチレン管 引込管(直結部分)は水道事業者指定のものとし、図示による。加入負担金は別途 2) 給湯管(膨張管及び補給水タンクよりボイラーなどへの補給水管を含む。) ○ 鋼管(壁又は床埋設は、被覆鋼管又は保温付被覆鋼管としてもよい。) ・ ステンレス鋼鋼管 ・ 耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 3) 消火管 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) 地中 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(VS) 4) 排水管 屋内 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) (2-2.1.2.6) ・ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP) 屋外 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 圧送 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 水配管用亜鉛めっき鋼管 5) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 耐火二層管(VP) ・ リサイクル発泡三層管(RF-VP) ・ 耐火二層管(RF-VP)			
	7 保温	配管及び機器の保温材料は(別表－2)による。 (2-3.1.5)			
	8 洗面器等の	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 (2-2.4.8)			
	9 満水試験継手	取付け位置は、図示による。 (2-2.9.4)			
	○ ガス	1) 配管材料			
	2) 2 メーター	・ 親メーター(・ 貸与品 ・) ・ 子メーター(・ 買取 ・) (2.1.7) (3.1.3.4)			
	3) 3 ガス漏れ 警報器	・ 本工事(図示による) ・ 別途工事 (2.1.3) (3.1.3.6)			
4) 4 その他	ガス遮断装置、漏洩検知装置、電気防食措置、ポンベの転倒防止措置は、図示による。				
(別表－1) 他工事との取り扱い					
工 事 内 容		機械 電気 建築 備 考			
開口部	はり、床、壁の貫通部 (RC造)	スリーブ、仮枠、穴埋共	●		S造は建築
		補 強 筋		●	建築図面に図示
	天井、壁の切り込み	ボ ー ド 類 切 込 み	●		
		下 地 補 強		●	建築図面に図示
外部取付ガラリ(ダクト、チャンバの接続用フランジを含む)				●	建築図面に図示
レンジフードファン、フード(取付枠共)及び流し台(排水トラップ共)				●	
洗面所、手洗所等の大型鏡、はめ込型洗面器用カウンター及び身障者用手すり				●	
下流し、足洗い場及び玄関の排水		●			
床、天井、壁の点検口及び床下水槽のマンホール蓋				●	建築図面に図示
屋内外設備(受水槽、ポンプ等)の基礎				●	建築図面に図示
屋上設備の基礎				●	建築図面に図示
地下油タンク室等のコンクリート工事				●	建築図面に図示
油サービスタンの防油堤				●	
ボイラーの煙突及びプロパンボンベ庫(既製のものは機械)				●	
実験台(陶器製流し、化学水栓、ガス栓及びコンセント共付属品を含む)				●	
実験台への配管及び配管接続		●			
電気配線	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地共)	●			二次側
	機器付属の制御盤への電源供給の配管配線		●		一次側
	制御盤と動力盤間の電源供給及び操作回路の渡り配管配線		●		
	機器と付属操作スイッチとの渡り配管配線		●		
工事名					番号
黒島分団センター新築工事(災害復旧)					M02
図面名					縮尺
工事仕様書(機械設備) 2/3					――
設 計					
石川県土木部営繕課					

衛生 機器表

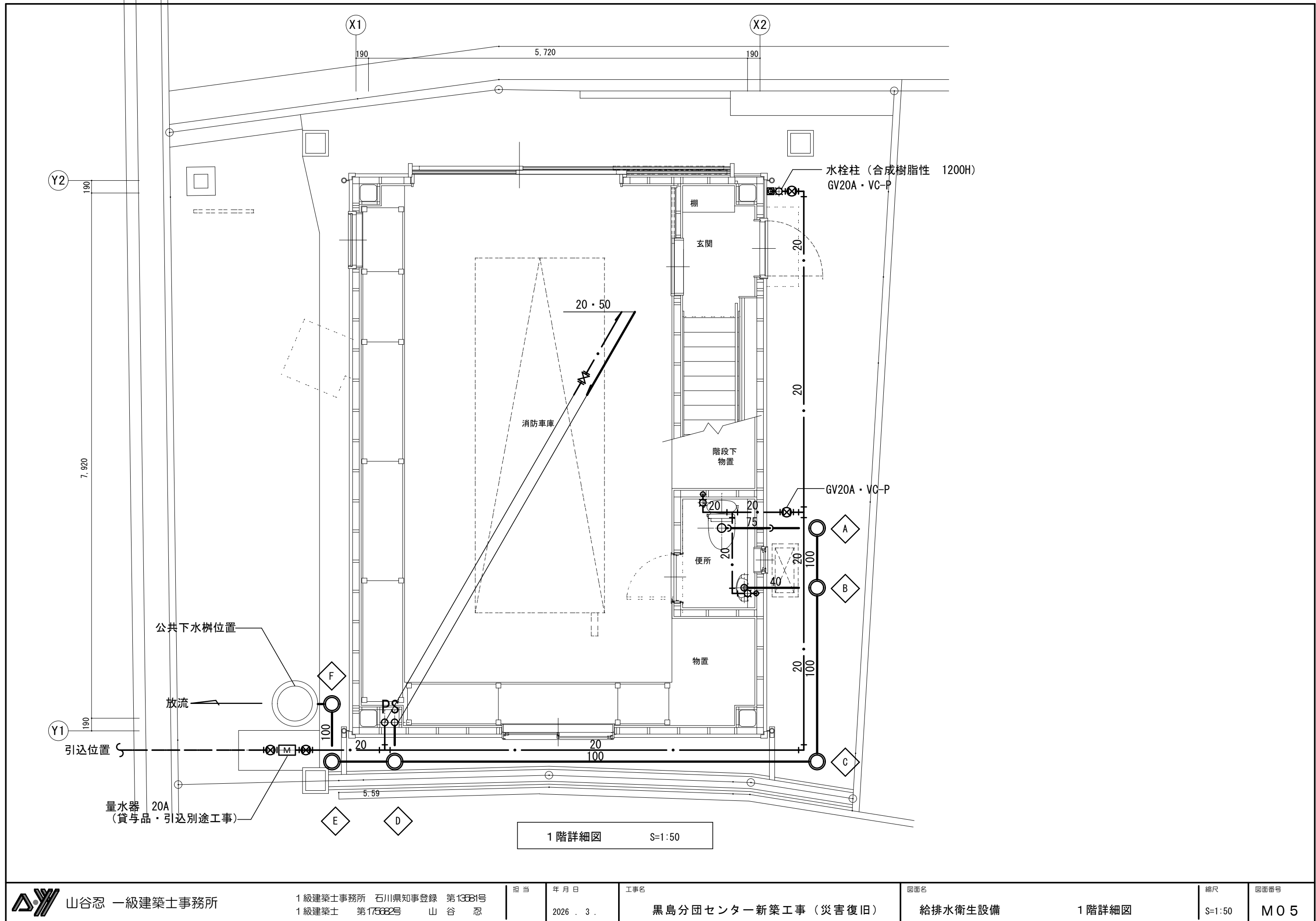
図示記号	機器名称	数量	仕様能力	電気仕様			設置場所	備考（参考型式）
				φ	V	kW		
EH-1	電 気 温 水 器	1	据置型 先止式 洗い物用 貯湯量 12L	1	100	1.1	事務室、休憩室	
			付属品：止水栓・ウィークリータイマー・転倒防止金具・その他付属品共					
			※ 固定方法はH12建告第1388号第5号に適合すること。（転倒防止の処置について）					

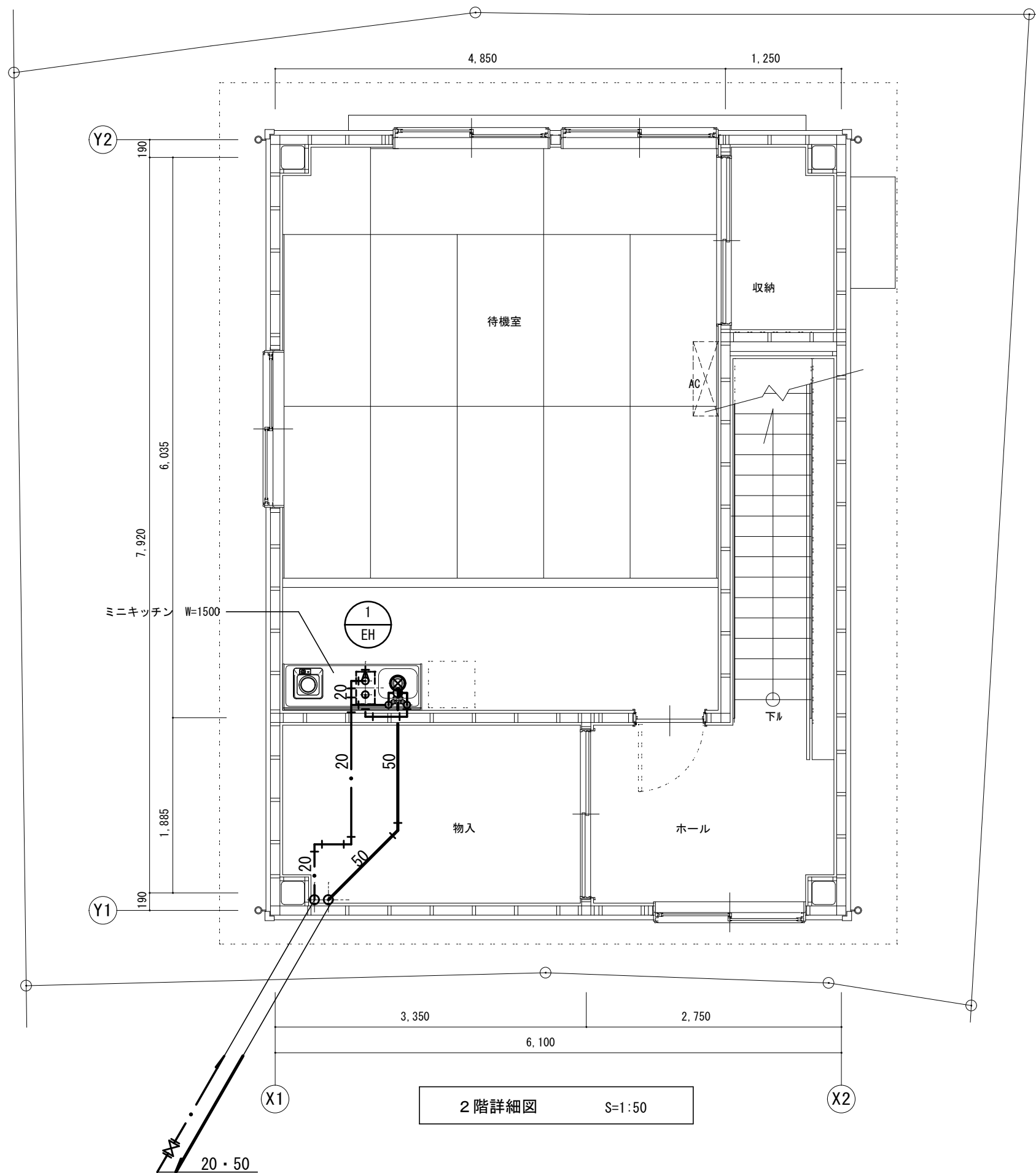
器具表

器 具 名	参 考 型 番	室 名	1 階		2 階		屋 外	合 計
			便 所		待 機 室			
洋風便器	CS400B・SH400BA・TCF4714AK・Y9207	(ロータンク ・洗浄便座 (AC100V 1267W) ・排水トラップ共)	1					1
紙巻器	YH600YFMR	(2連)	1					1
手洗器	LSL870APR	(ハドル式単水栓 ・排水トラップ共)	1					1
ミニキッチン	W=1500 ・1口IHヒーター、水栓共	(混合水栓 ・IHヒーター一口AC100V、排水トラップ共)			1			1
水栓柱	合成樹脂製 ・1200H ・T28AKUH13						1	1

枧一覧表

記号	枧リスト	内寸法 mm	枧の深さ	防臭蓋		主管路	勾配	備 考
	名 称			型 式	口 径			
A	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	300	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° L
B	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	340	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° T
C	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	450	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° L
D	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	710	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° T
E	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	750	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° L
F	小口径塩ビ枧（汚水）	200φ	790	樹脂製蓋	200φ	100A	1/50	90° L





空調換気 機器表(1)

[illegible]

※ 特記事項

型番の  は24時間換気対象機器を示す。

